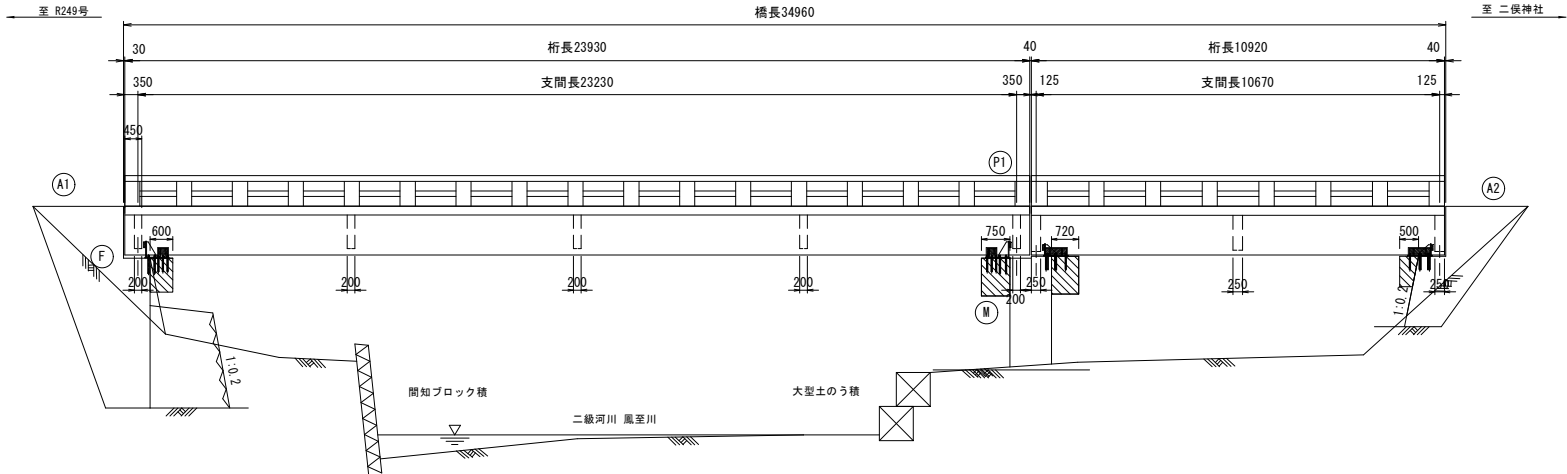


鍛冶屋橋 現況全体一般図

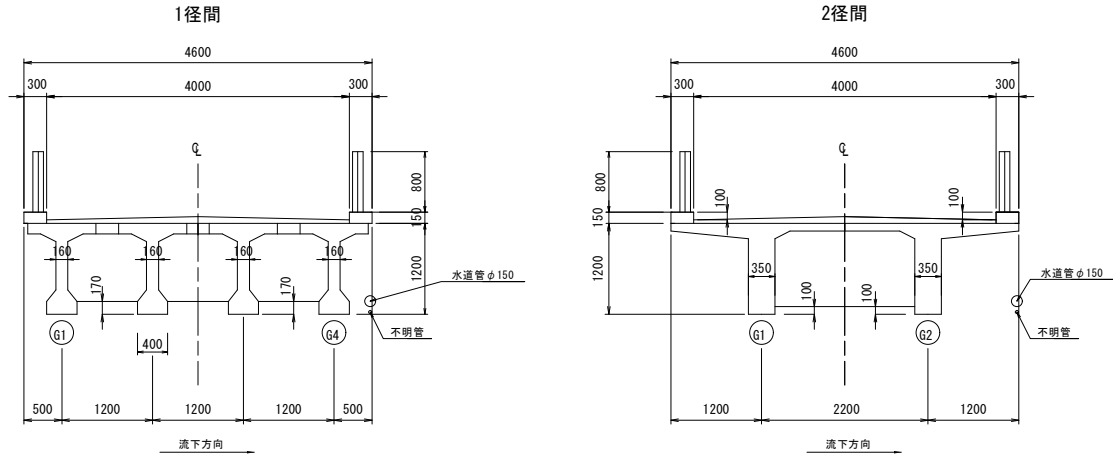
側面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



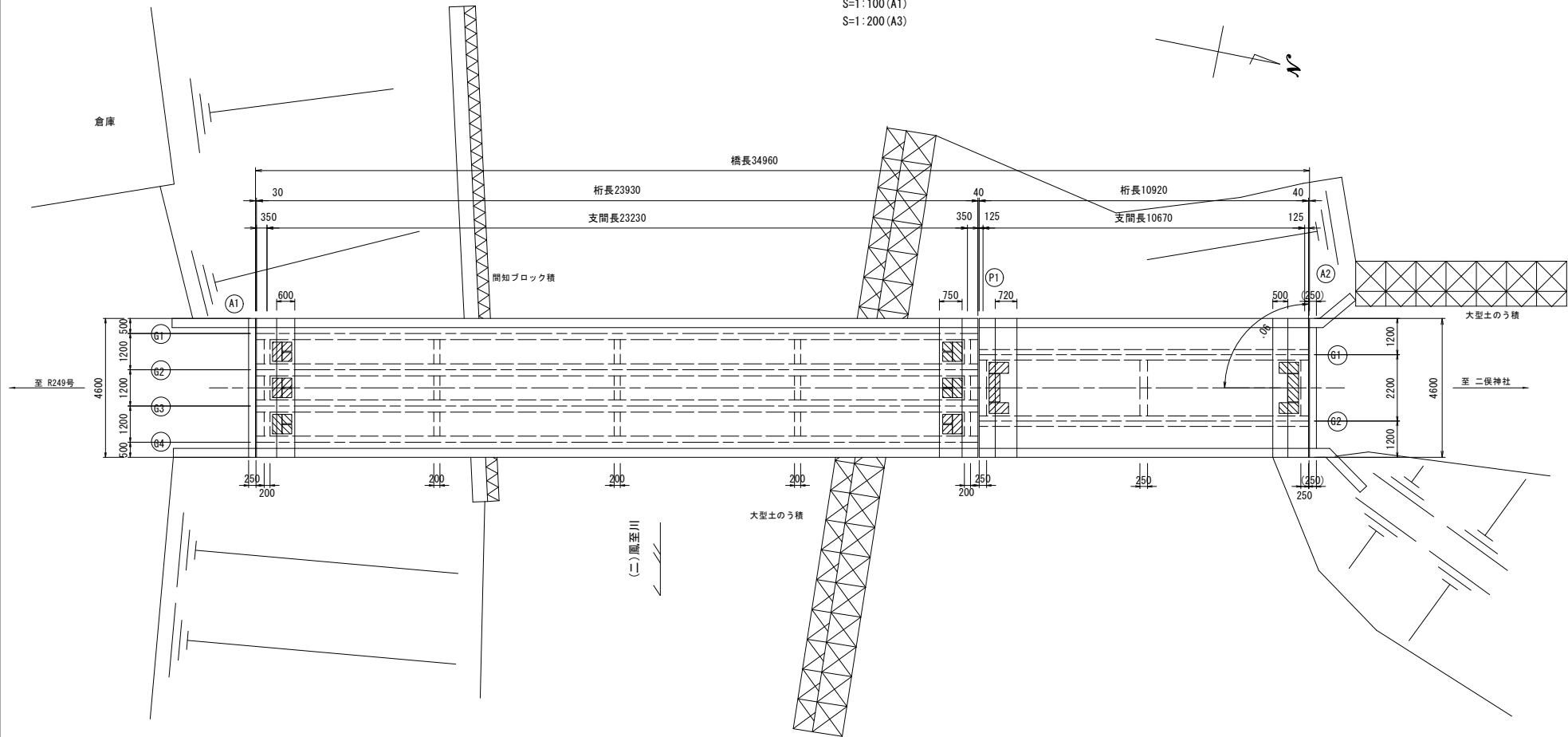
断面図

S=1: 50 (A1)
S=1:100 (A3)



平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



設計条件表

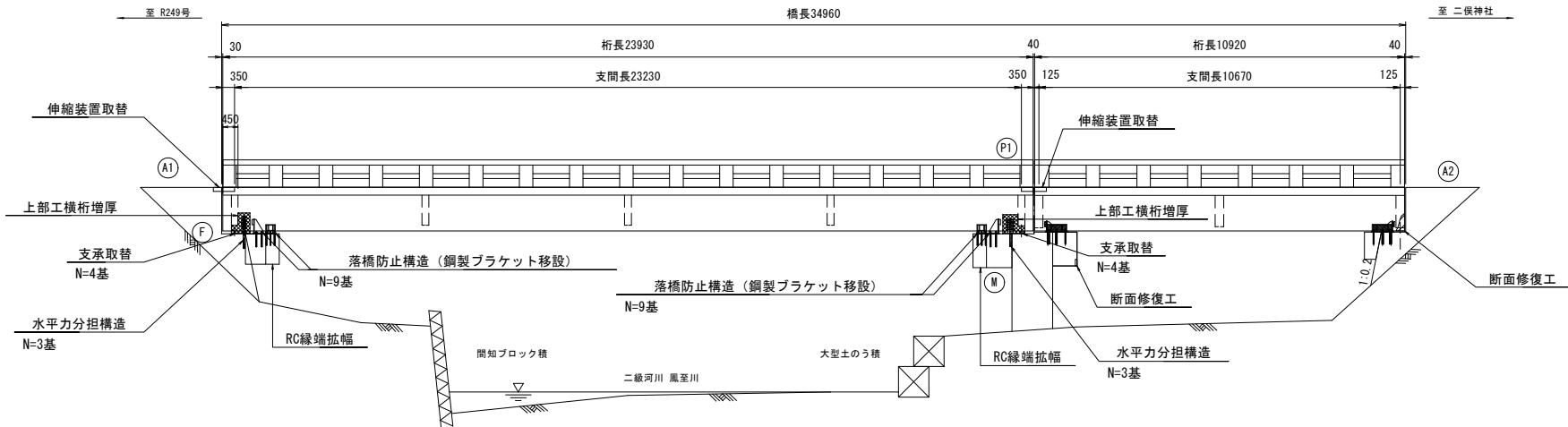
項 目	竣工時	耐震補強時
路 線 名	二俣1号線	
橋 名	鍛冶屋橋	
竣 工 時	昭和36年3月 (1961年3月)	
道 路 規 格	不明	
設 計 速 度	不明	
橋 長	L=34.960m	
桁 長	1径間: L=23.930m, 2径間: L=10.920m	
支 間 長	1径間: L=23.230m, 2径間: L=10.670m	
幅員構成	総 幅 員	4.600m
	有 効 幅 員	4.000m
線形条件	平 面 線 形	直線
	縦 断 線 形	不明
	横 断 勾 配	不明
	斜 角	θ=90° 00' 00"
設 計 活 荷 重	一等橋 TL-20	
交 差 条 件	二級河川 風室川	
添 架 物 件	水道管	
耐震設計条件	重要度区分	不明
	地域別補正係数	不明
	地盤種別	不明
	設計水平震度	不明
上部構造条件	形 式	1径間: PC単純T桁、2径間: RC単純T桁
	材 料	主 要 鋼 材 不明 コンクリート 不明 鉄 筋 不明
下部構造条件	形 式	橋 台 重力式橋台 橋 脚 壁式橋脚 (RC) 基 礎 直接基礎
	材 料	橋 台 躯体 コンクリート系 基 礎 コンクリート系
付 属 物	支 承 形 式	線支承
	高 欄	コンクリート
	伸 縮 継 手	端部鋼板 目地
	落橋防止システム	H25設計 変位制限構造: 鋼製ブラケット突起工 (H24道路橋示方書) 落橋防止構造: 縁端拡幅工 1.5Se (H24道路橋示方書)
維持管理条件	点 検 方 法	徒歩、梯子、橋梁点検車
	検 査 路	無し
適 用 基 準 等		S31コンクリート橋準示方書 S31鋼道路橋設計示方書案

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 現況全体一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	1 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 補修全体一般図

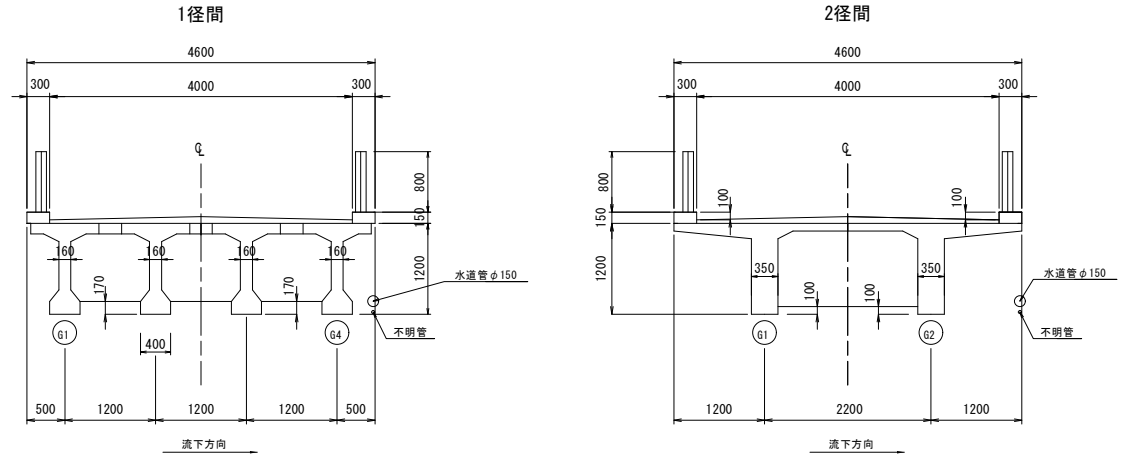
側面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



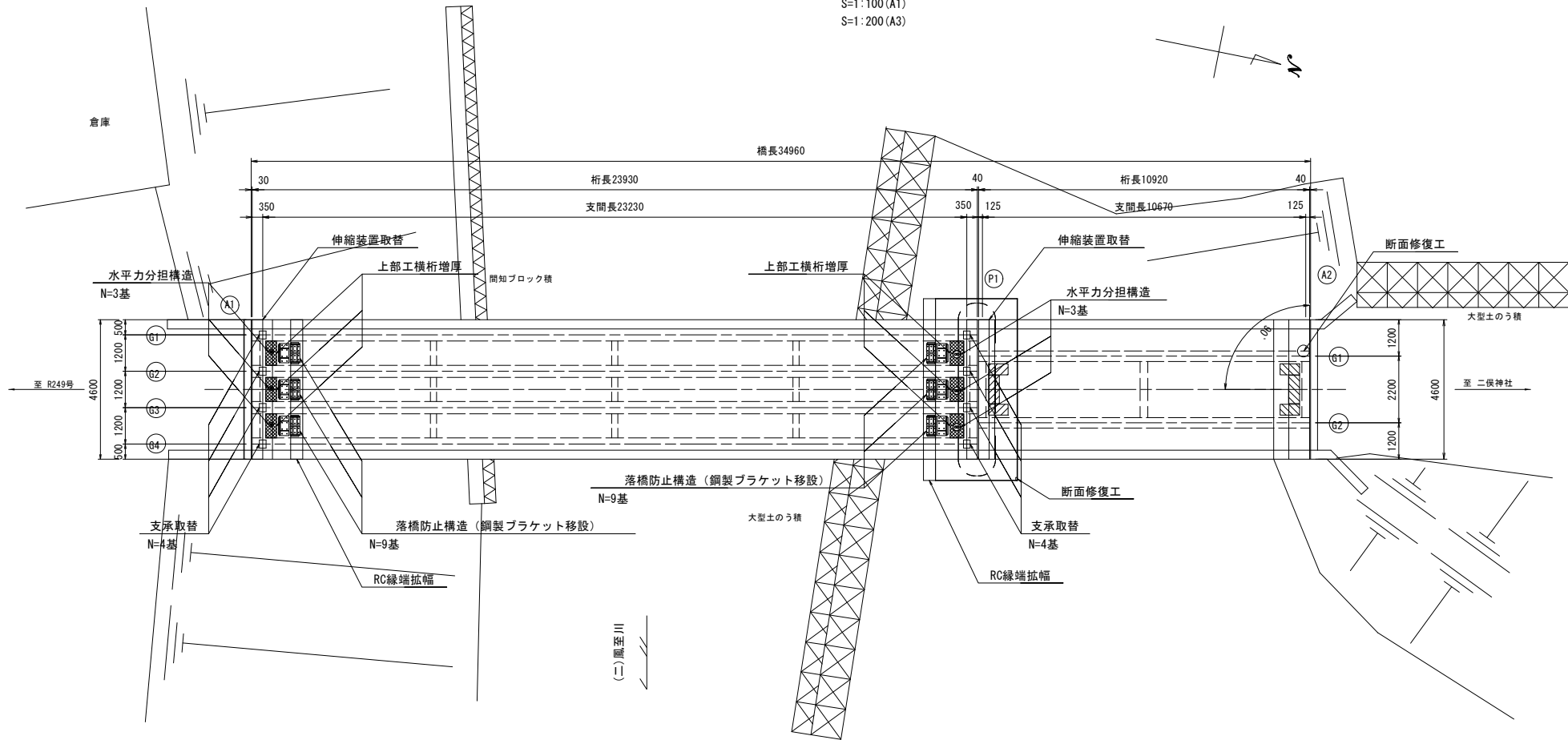
断面図

S=1: 50 (A1)
S=1:100 (A3)



平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



設計条件表

項 目	竣工時	耐震補強時
路 線 名	二俣1号線	
橋 名	鍛冶屋橋	
竣 工 時	昭和36年3月 (1961年3月)	
道 路 規 格	不明	
設 計 速 度	不明	
橋 長	L=34.960m	
桁 長	1径間: L=23.930m, 2径間: L=10.920m	
支 間 長	1径間: L=23.230m, 2径間: L=10.670m	
幅員構成	総 幅 員	4.600m
	有 効 幅 員	4.000m
線形条件	平 面 線 形	直線
	縦 断 線 形	不明
	横 断 勾 配	不明
	斜 角	θ=90° 00' 00"
設 計 活 荷 重	一等橋 TL-20	
交 差 条 件	二級河川 風室川	
添 架 物 件	水道管	
耐震設計条件	重要度区分	不明
	地域別補正係数	不明
	地盤種別	不明
	設計水平震度	不明
上部構造条件	形 式	1径間: PC単純T桁、2径間: RC単純T桁
	材 料	主 要 鋼 材 不明 コンクリート 不明 鉄 筋 不明
下部構造条件	形 式	橋 台 重力式橋台 橋 脚 壁式橋脚 (RC) 基 礎 直接基礎
	材 料	橋 台 躯体 コンクリート系 基 礎 コンクリート系
付 属 物	支 承 形 式	線支承
	高 欄	コンクリート
	伸 縮 継 手	端部鋼板 目地
	落橋防止システム	H25設計 変位制震構造: 鋼製ブラケット突起工 (H24道路橋示方書) 落橋防止構造: 縁端拡幅工 1.5Se (H24道路橋示方書)
維持管理条件	点 検 方 法	徒歩、梯子、橋梁点検車
	検 査 路	無し
適 用 基 準 等		S31コンクリート標準示方書 S31鋼道路橋設計示方書案

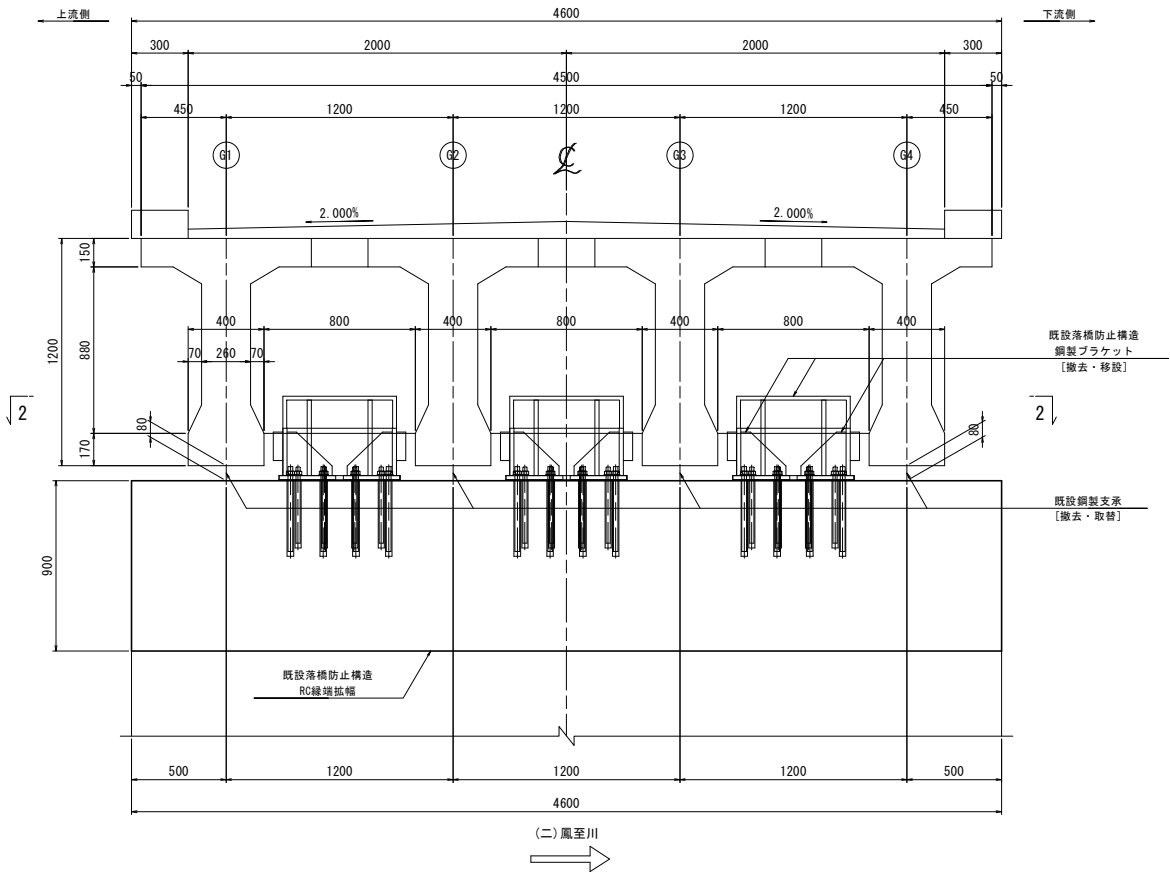
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 補修全体一般図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	2 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その1）

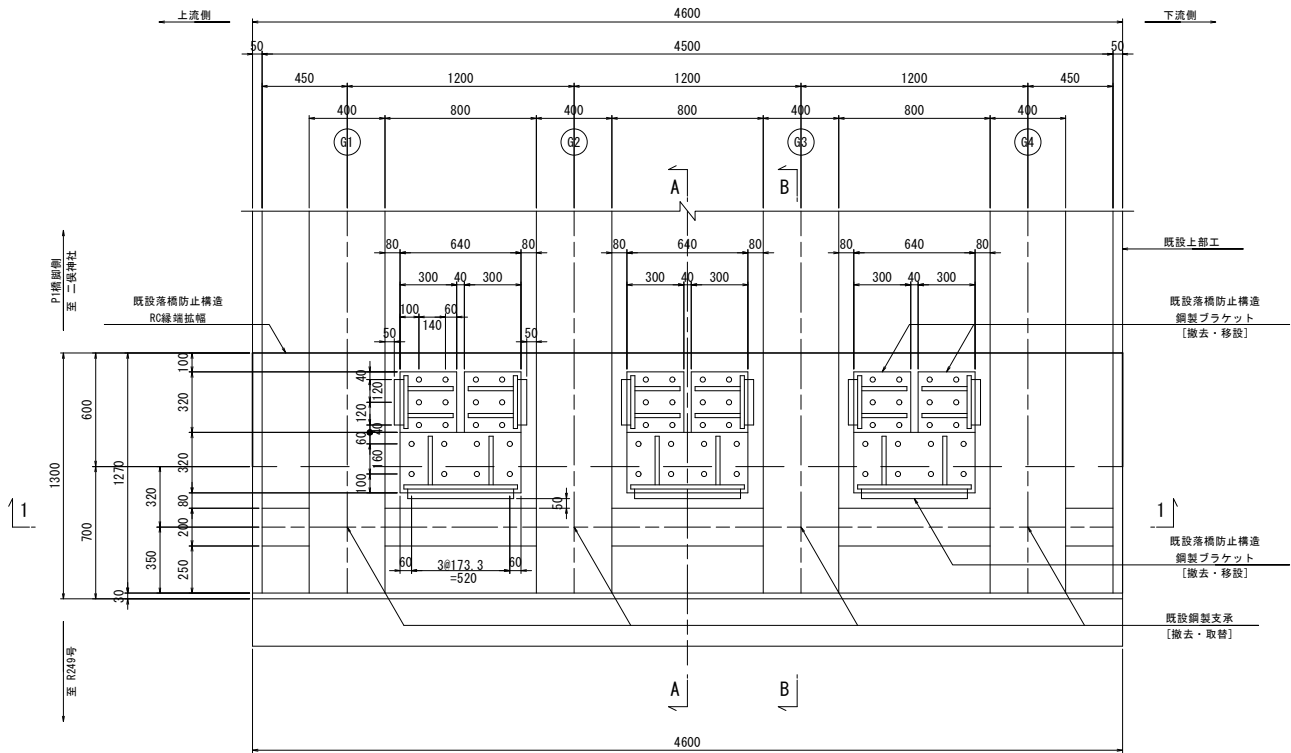
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

（現況構造図）

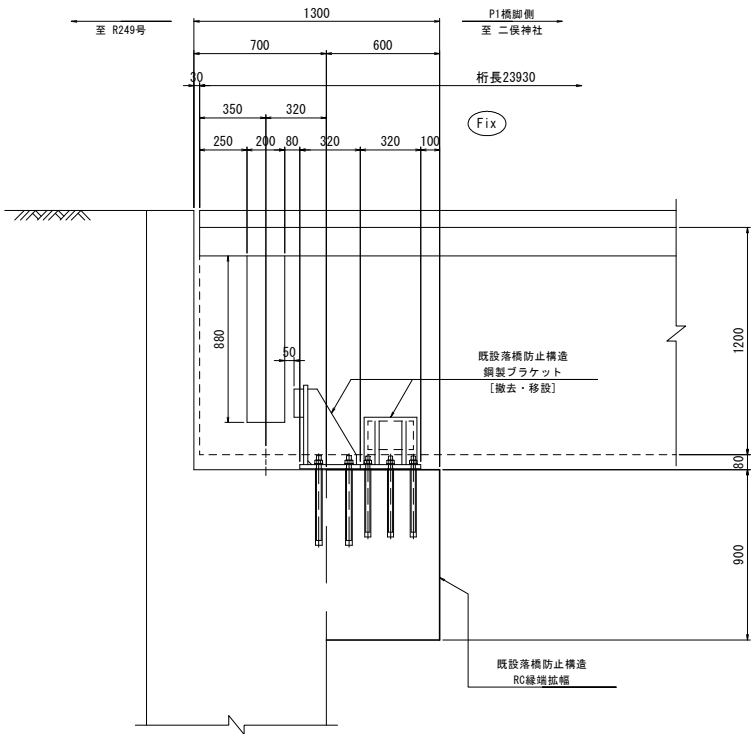
正面図（1 - 1）



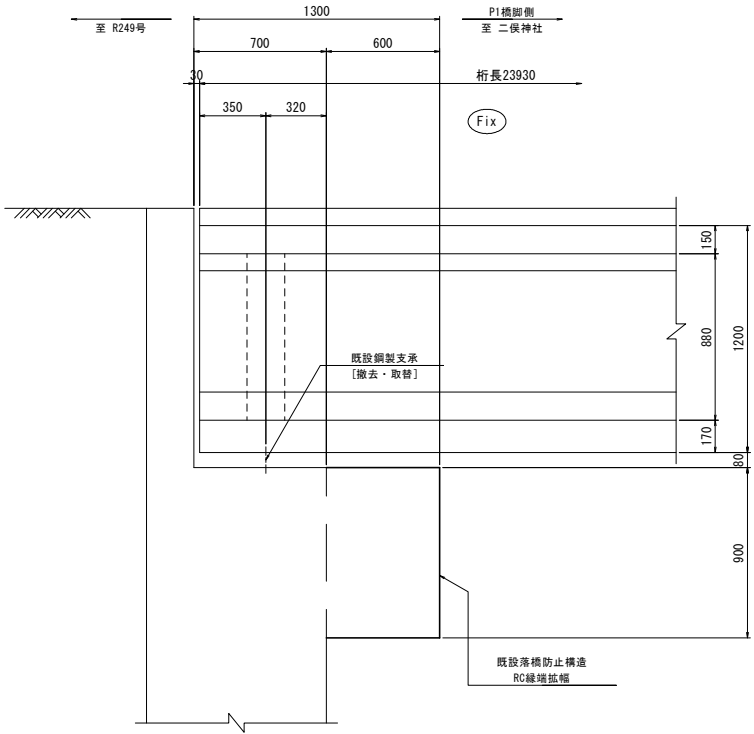
平面図（2 - 2）



断面図（A - A）



断面図（B - B）



- 注記）
- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
 - ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - ・既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その1）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	3 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

(復旧構造図-1)

[illegible]

Technical drawing of a bridge cross-section showing the deck, girders, and supports. The drawing includes dimensions for the deck width (4600mm), girder spacing (1200mm), and support dimensions. It also shows the location of the main girders (G1, G2, G3, G4) and the placement of the main girders (G1, G2, G3, G4). The drawing is labeled with '上流側' (Upstream) and '下流側' (Downstream).

This architectural drawing illustrates the cross-section of a bridge deck, detailing its structural components and dimensions. The drawing is oriented with '上流側' (Upstream) on the left and '下流側' (Downstream) on the right. The total width of the deck is 4600 units, and the total height is 1300 units.

Dimensions:

- Horizontal Dimensions:** The deck width is 4600 units. The main span width is 4500 units. The distance between the centerlines of the three main spans is 1200 units. The distance from the centerline to the edge of the deck is 450 units. The distance between the centerlines of the three main spans is 1200 units. The distance from the centerline to the edge of the deck is 450 units.
- Vertical Dimensions:** The total height is 1300 units. The height of the main span is 600 units. The height of the deck slab is 400 units. The height of the bridge pier is 700 units. The height of the deck slab is 400 units.

Structural Details and Annotations:

- Deck Slab:** The deck slab is shown with a cross-hatched pattern, indicating a reinforced concrete structure. The thickness of the slab is 400 units.
- Bridge Pier:** The bridge pier is shown with a cross-hatched pattern, indicating a reinforced concrete structure. The height of the pier is 700 units.
- Reinforcement:** The drawing shows the reinforcement layout for the deck slab and bridge pier. The reinforcement is labeled with 'RC縁端拡幅' (RC Edge Widening) and 'RC縁端拡幅' (RC Edge Widening).
- Annotations:** The drawing includes several annotations, including '既設上部工' (Existing Superstructure), '落橋防止構造' (Anti-collapse structure), '鋼製ブラケット' (Steel bracket), '既設落橋防止構造' (Existing anti-collapse structure), '水平力分担構造' (Horizontal force sharing structure), '防熱アンカー F420' (Heat-resistant anchor F420), '伸縮装置' (Expansion joint), '取替' (Replacement), '上部工機能増強' (Superstructure functional enhancement), and 'ゴム支承' (Rubber support).

	上部工橋桁増厚	縁端拡張
コンクリート	30-12-25N (W/C ≦ 50%)	24-12-25BB (W/C ≦ 55%)
鉄筋	S0345	S0345

当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。

施工に際しては、現地測量より、形状寸法・添付管位置を確認後、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。

既設コンクリートと新設コンクリートの打継ぎ面はテッピングを行うこと。

既設コンクリートには所孔の隅には、鉄線検査管を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

②は、RC縦端幅補正を示す。

③は、上部工横断増厚を示す。

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 AI橋台補修構造図（その2）
縮 尺	図 示
図面番号	4 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その3）

(復旧構造図-2)

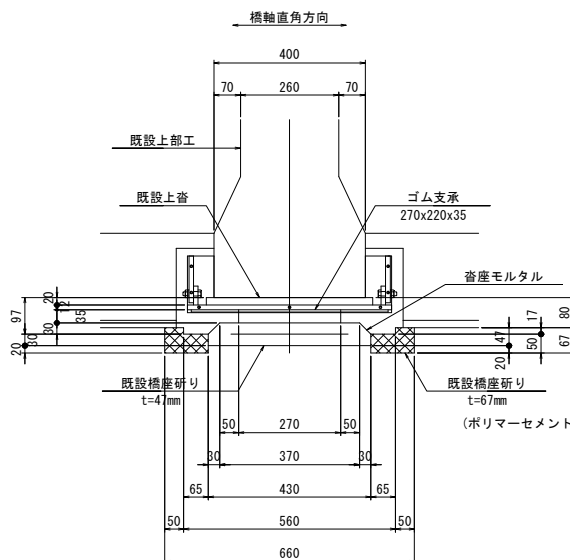
沓座モルタル詳細図

S=1:10 (A1)

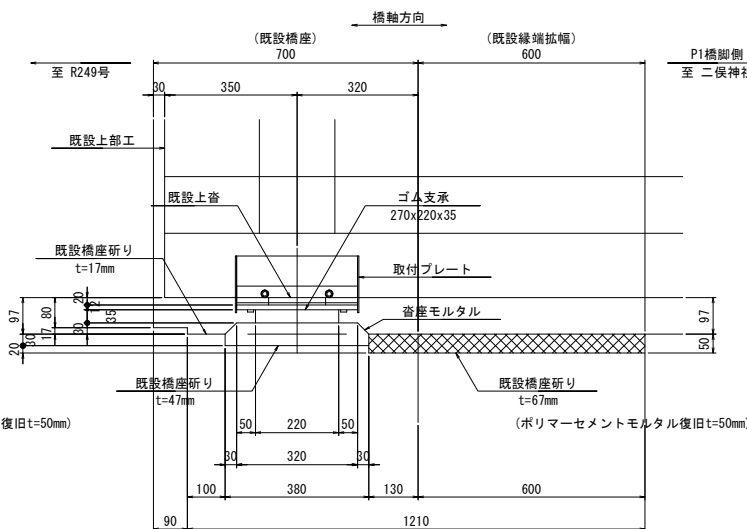
S=1:20 (A3)

※ 既設支承の撤去・取替に関しては、別途資料を確認すること。

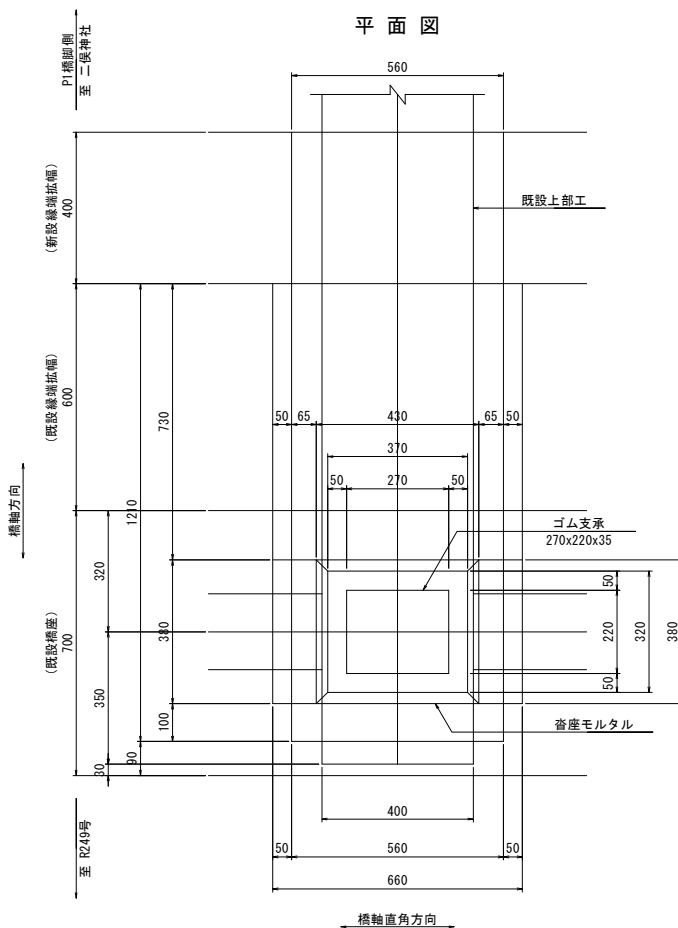
正面图



側面図



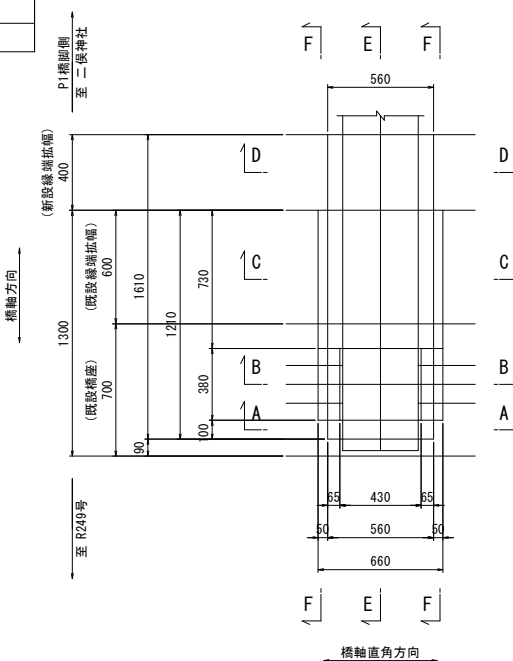
平面図



脊座モルタル寸法表

		Fix			
		G1	G2	G3	G4
桁下～既設橋座 間隔	H	80	80	80	80
既設上寄厚	-	20	20	20	20
取付プレート厚	-	12	12	12	12
ゴム支承高	-	35	35	35	35
寄座モルタル厚	h	30	30	30	30
寄座なじみ厚	t	30	30	30	30
橋座新り厚(支承位置)	△t	47	47	47	47

平面图



注記:

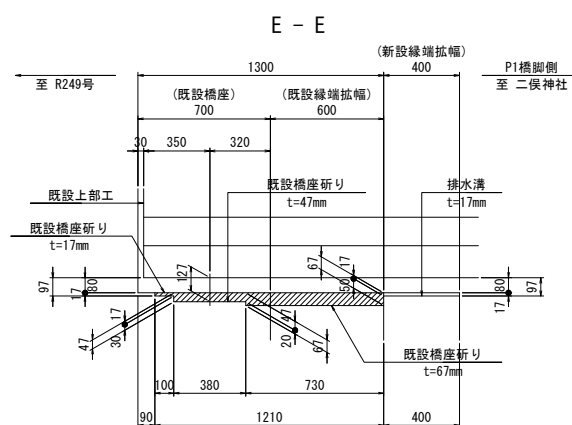
- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- ・既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチッピング工を行うこと。
- ・既設コンクリートに対する穿孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

既設橋座斫り詳細図

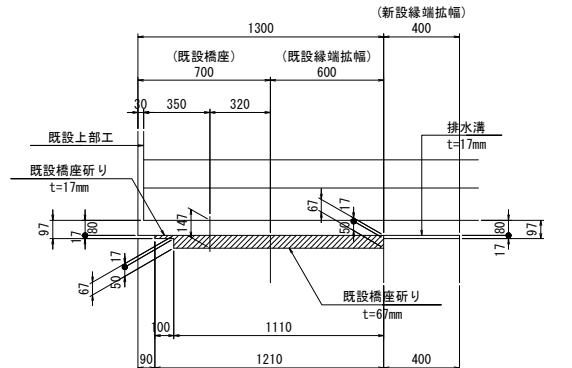
 $S=1:20(A:$

S=1:40 (A3)

橋軸方向



F - F



令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋突災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その3）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	5 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

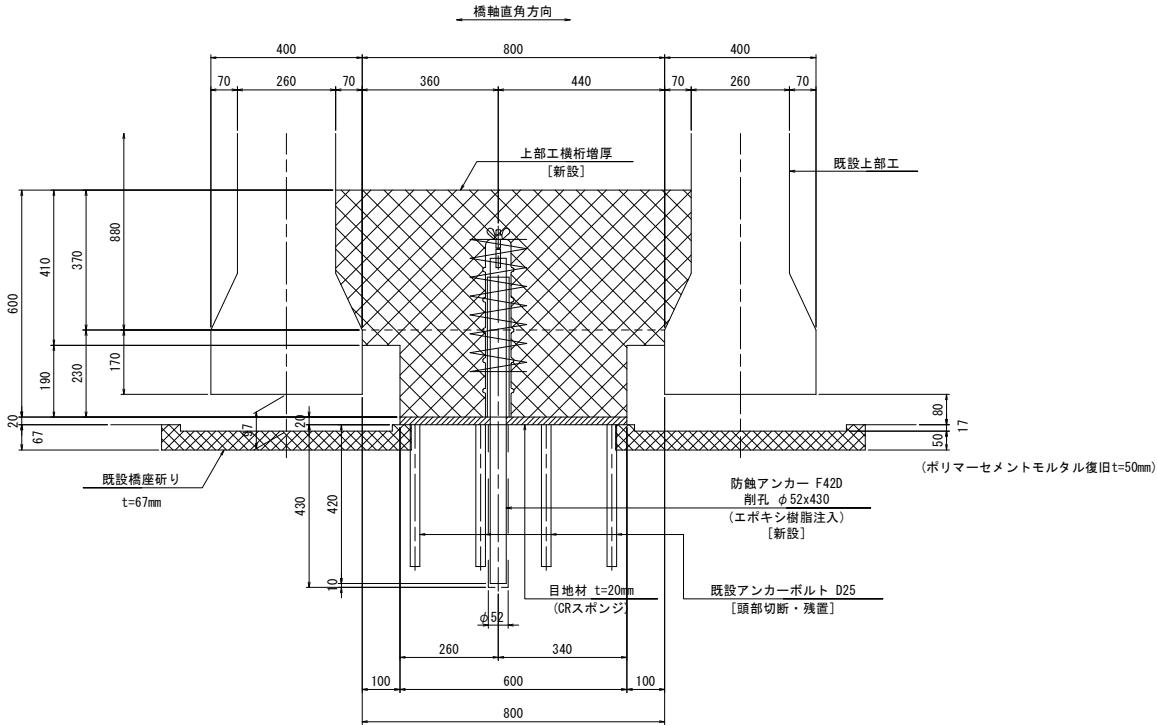
鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その4）

（復旧構造図-3）

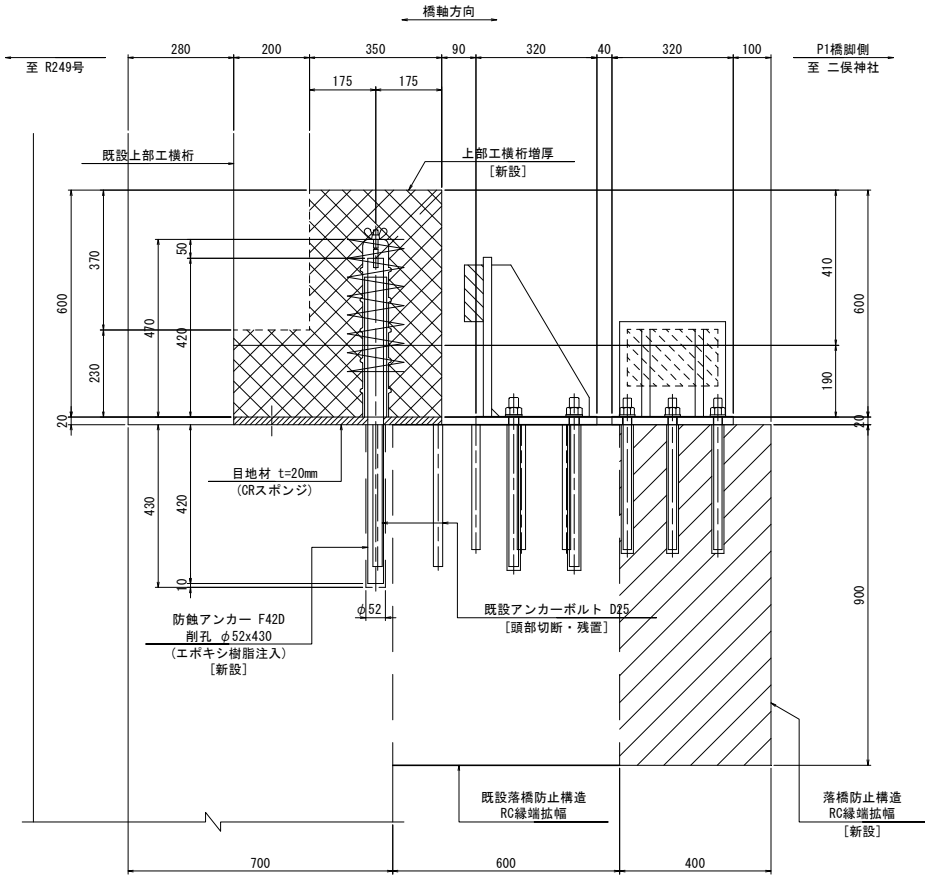
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

上部工増厚詳細図

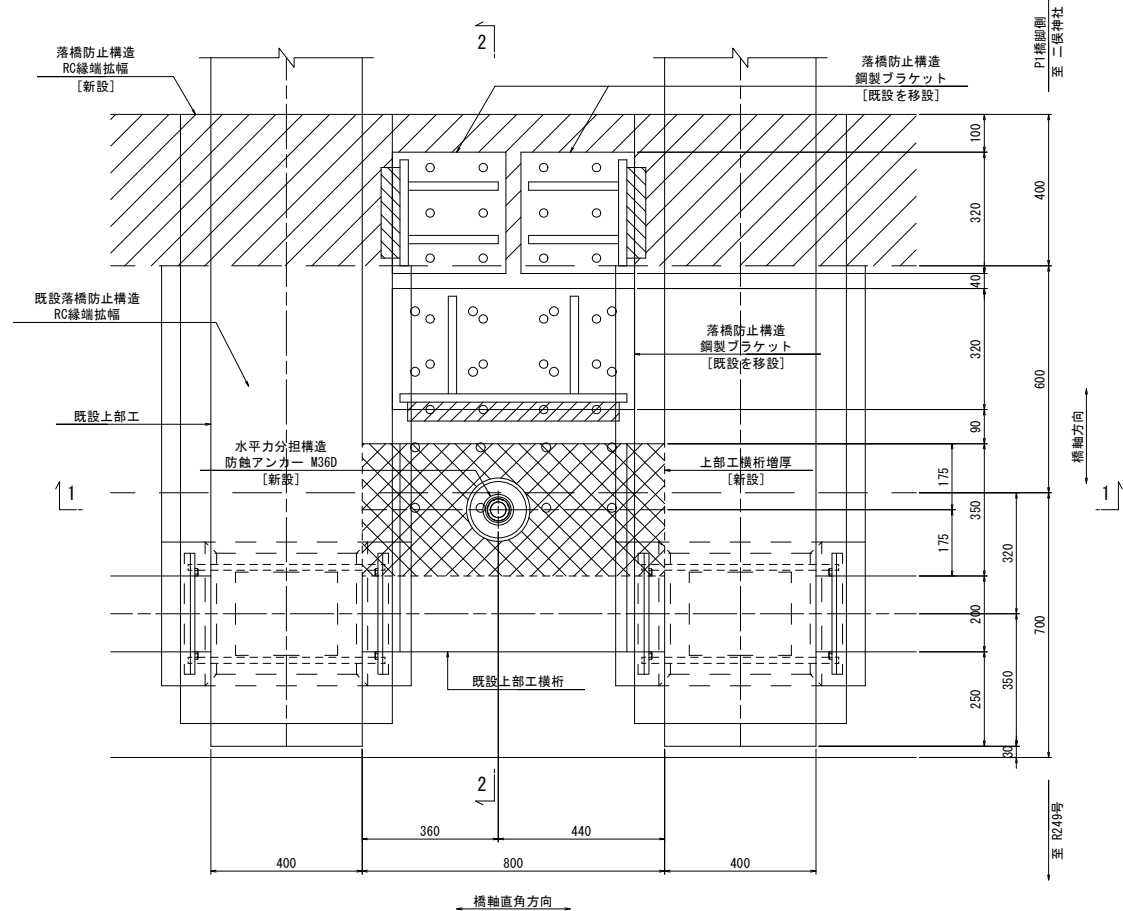
正面図 (1 - 1)



側面図 (2 - 2)

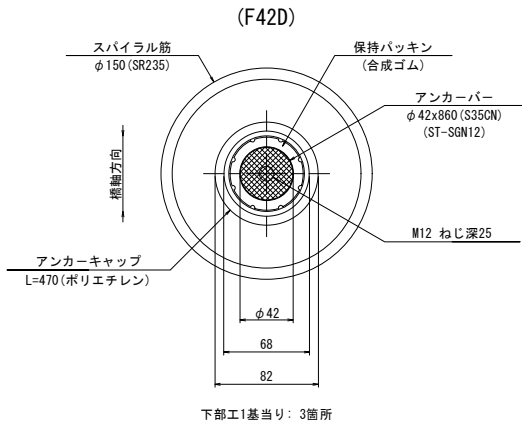


平面図



防蝕アンカー装置平面図

S=1:3 (A1)
S=1:6 (A3)



- 注記)
- 当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
 - 施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添削管位置を確認後、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - 既設コンクリートと新設コンクリートの打継ぎ面はチッピング工を行うこと。
 - 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して、既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その4）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	6 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その5）

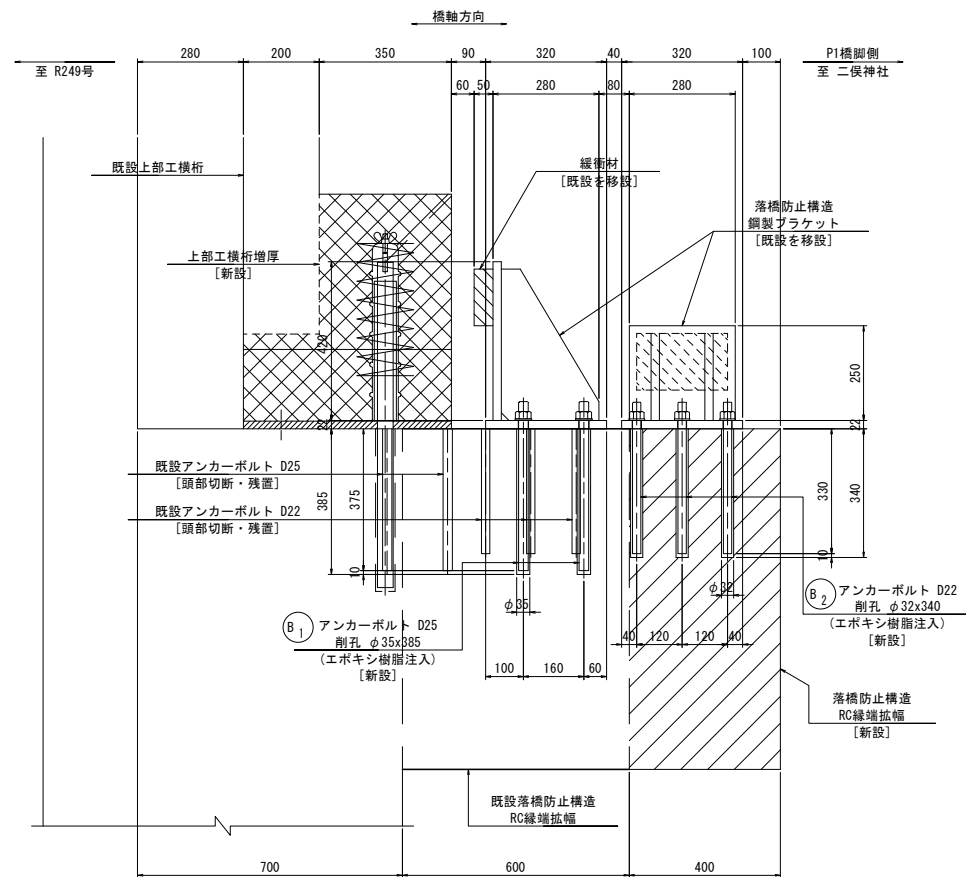
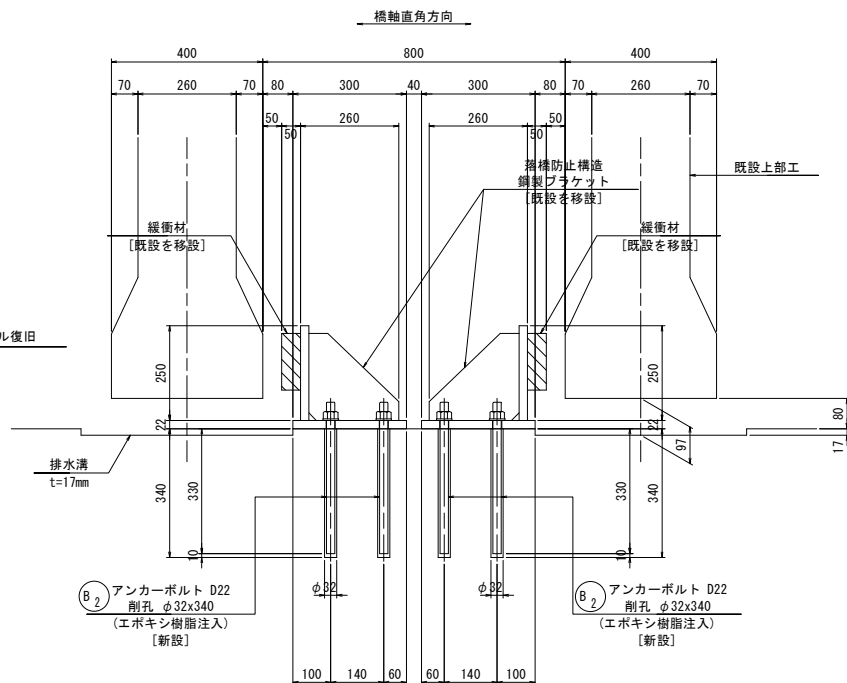
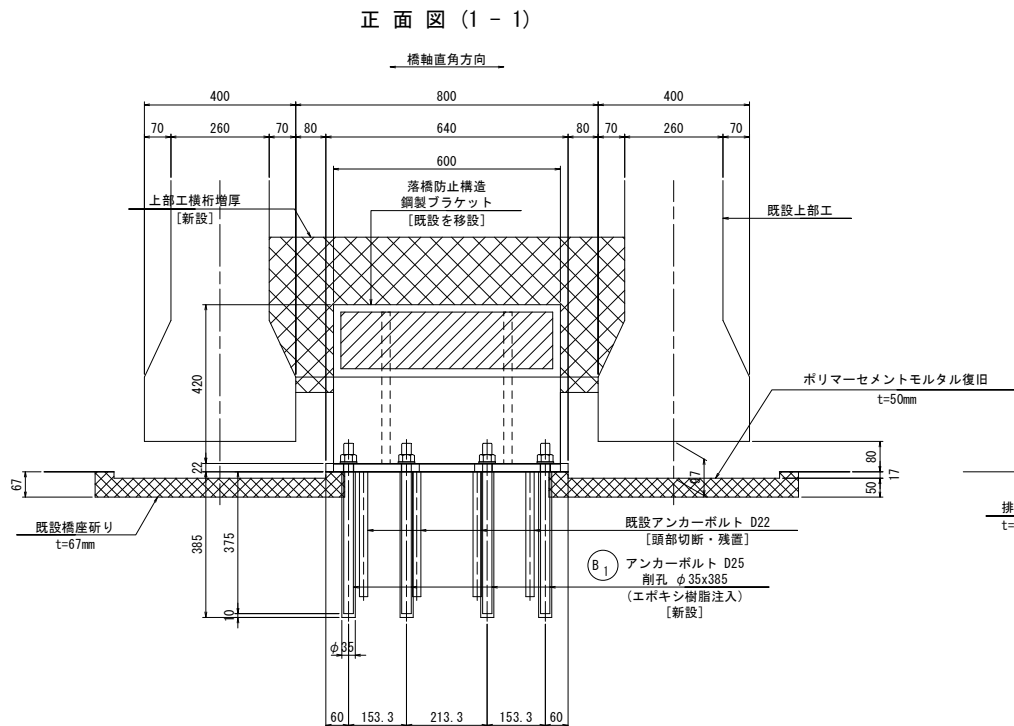
S=1 : 20 (A3)

(復旧構造図-4)

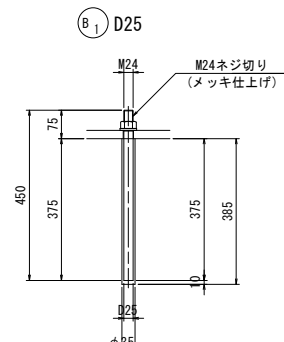
鋼製ブラケット詳細図

正 面 图 (2 - 2)

側面図 (3 - 3)



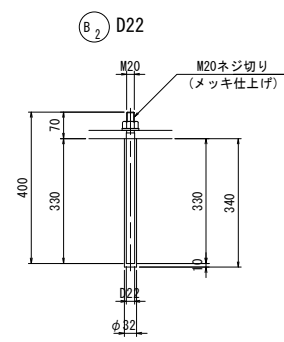
アンカーボルト詳細図



鋼製ブラケット1箇所当り数量(製作3基)

- 8-アンカーボルト D25x450(SD345)
- 8-弛み止めナット M24用
- 8-ワッシャー M24用

※ 鋼製ブラケットおよび緩衝材は既設を使用する。



鋼製ブラケット1箇所当り数量(製作6基)

- 6-アンカーボルト D22x400 (SD345)
- 6-弛み止めナット M20用
- 6-ワッシャー M20用

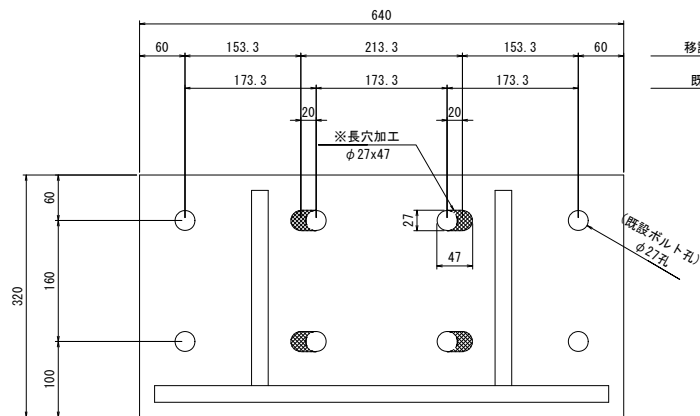
※ 鋼製ブラケットおよび緩衝材は既設を使用する。

既設鋼製ブラケット改修図

S=1:10 (A3)

S=1:10 (A3)

平面图



※ 既設鋼製ブラケット(橋軸方向用)のアンカーボルト孔は、長穴加工しアンカーボルトをずらして設置すること。

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	備 考
(縁端拡幅)							
B ₁	D25	450	24	3.98	1.79	43	—
B ₂	D22	400	36	3.04	1.21	44	—
						87 kg	
合 計 D25				43 kg			
D22				44 kg			
総質量				87 kg			
(既設下部工躯体 削孔箇所数)							
φ35 (D25) , L=450mm/箇所				24 箇所 (水平方向)			
φ32 (D22) , L=400mm/箇所				36 箇所 (水平方向)			

注記)

- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- ・既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチッピング工を行うこと。
- ・既設コンクリートに対する削削の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

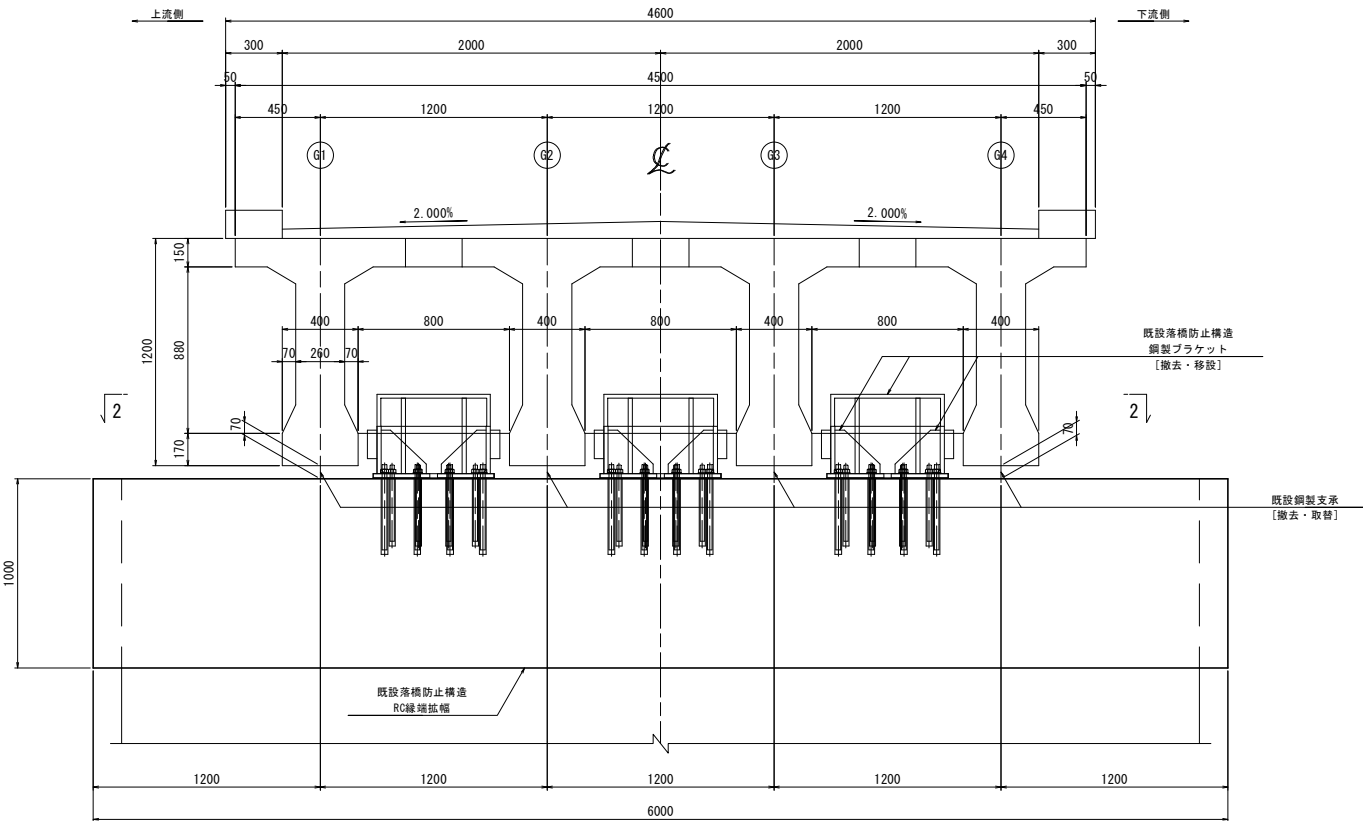
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修構造図（その5）
縮 尺	図 示
図面番号	7 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その1）

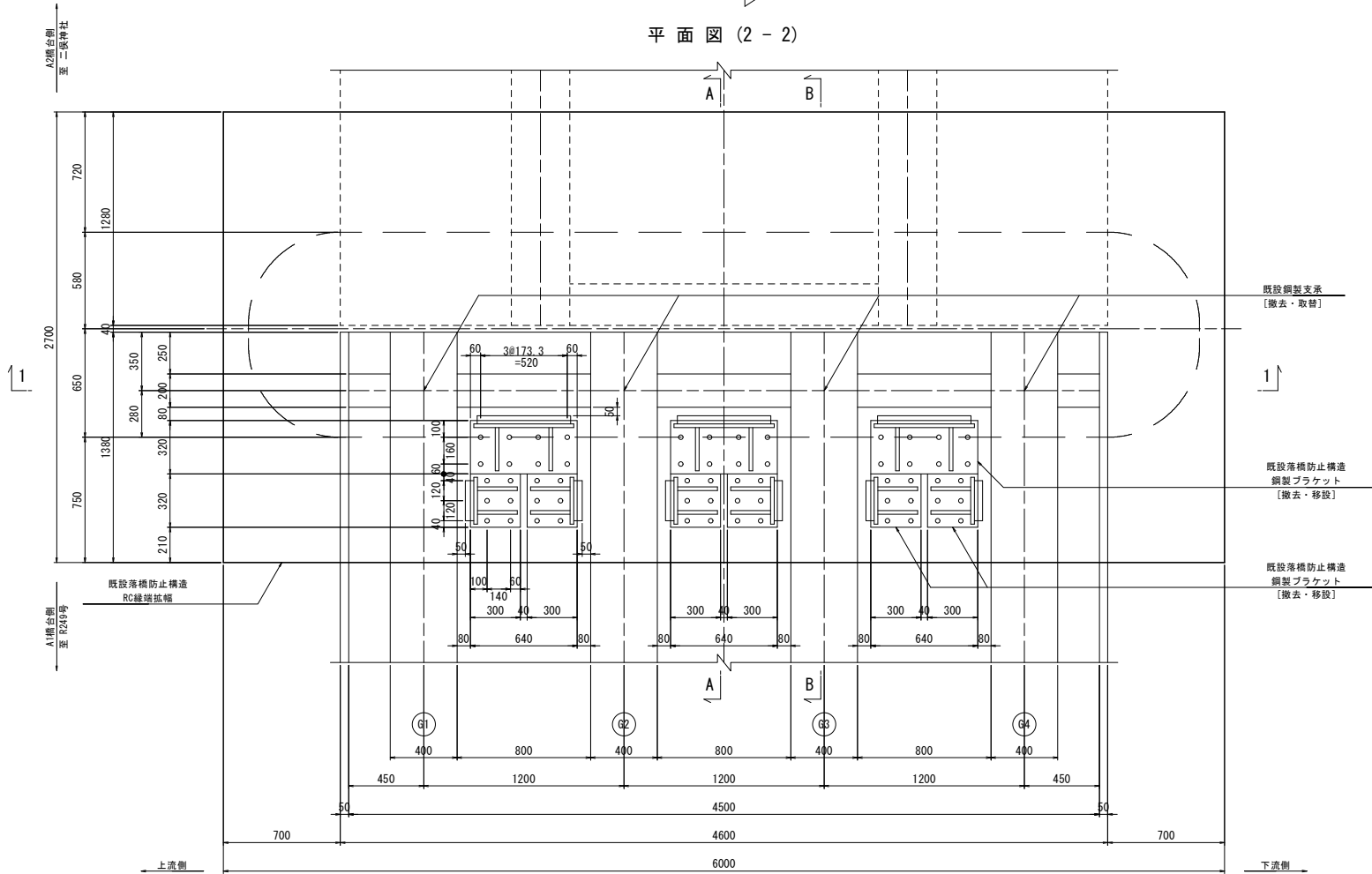
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

（現況構造図）

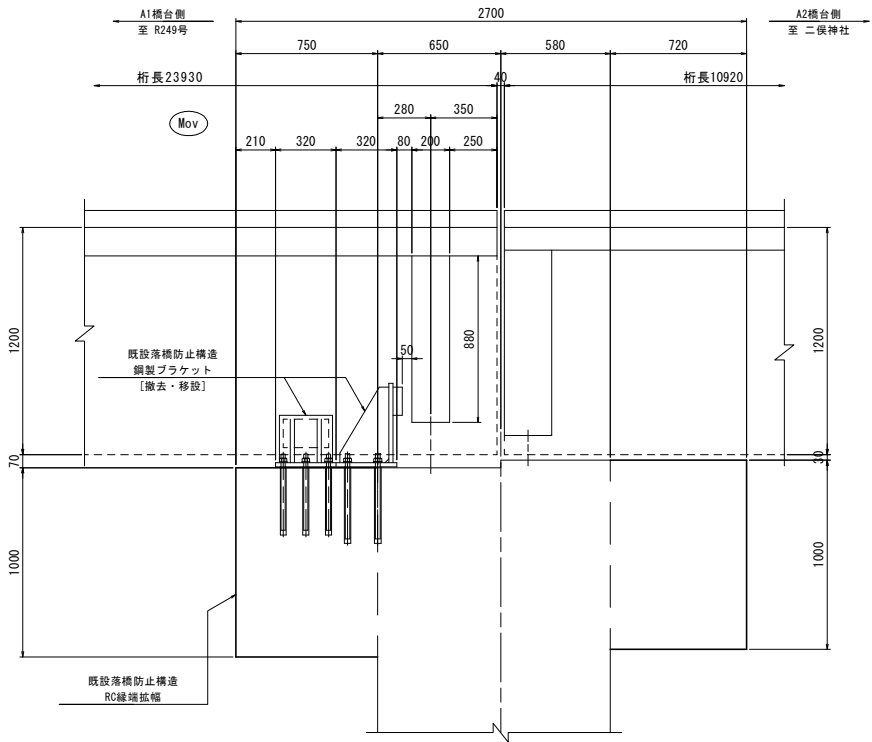
正面図（1 - 1）



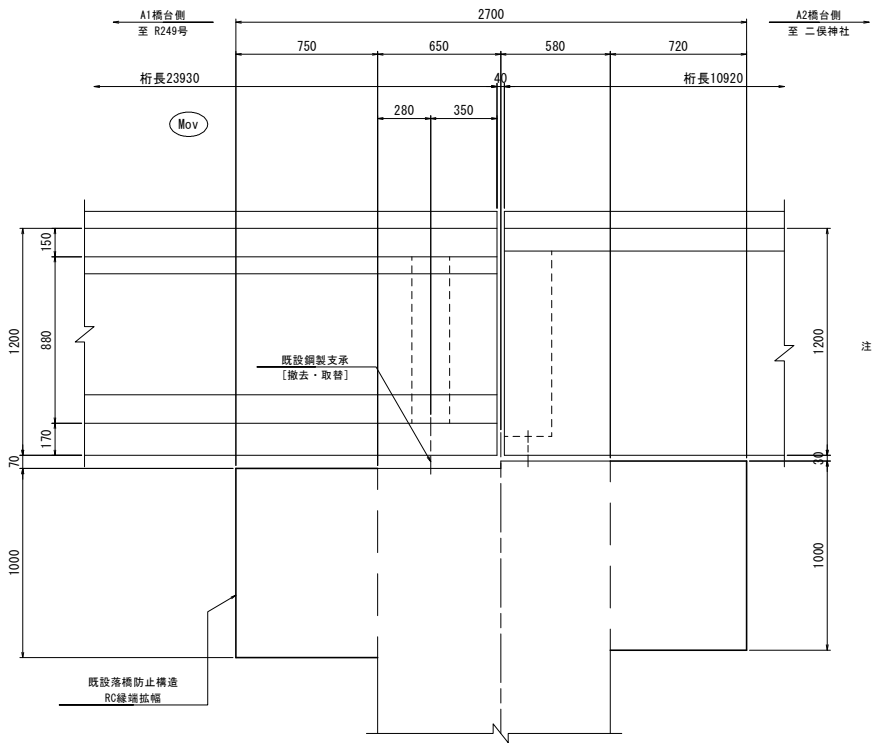
平面図（2 - 2）



断面図（A - A）



断面図（B - B）



- 注記）
- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
 - ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - ・既設コンクリートと新設コンクリートの打継ぎ面はチッピングエを行うこと。
 - ・既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

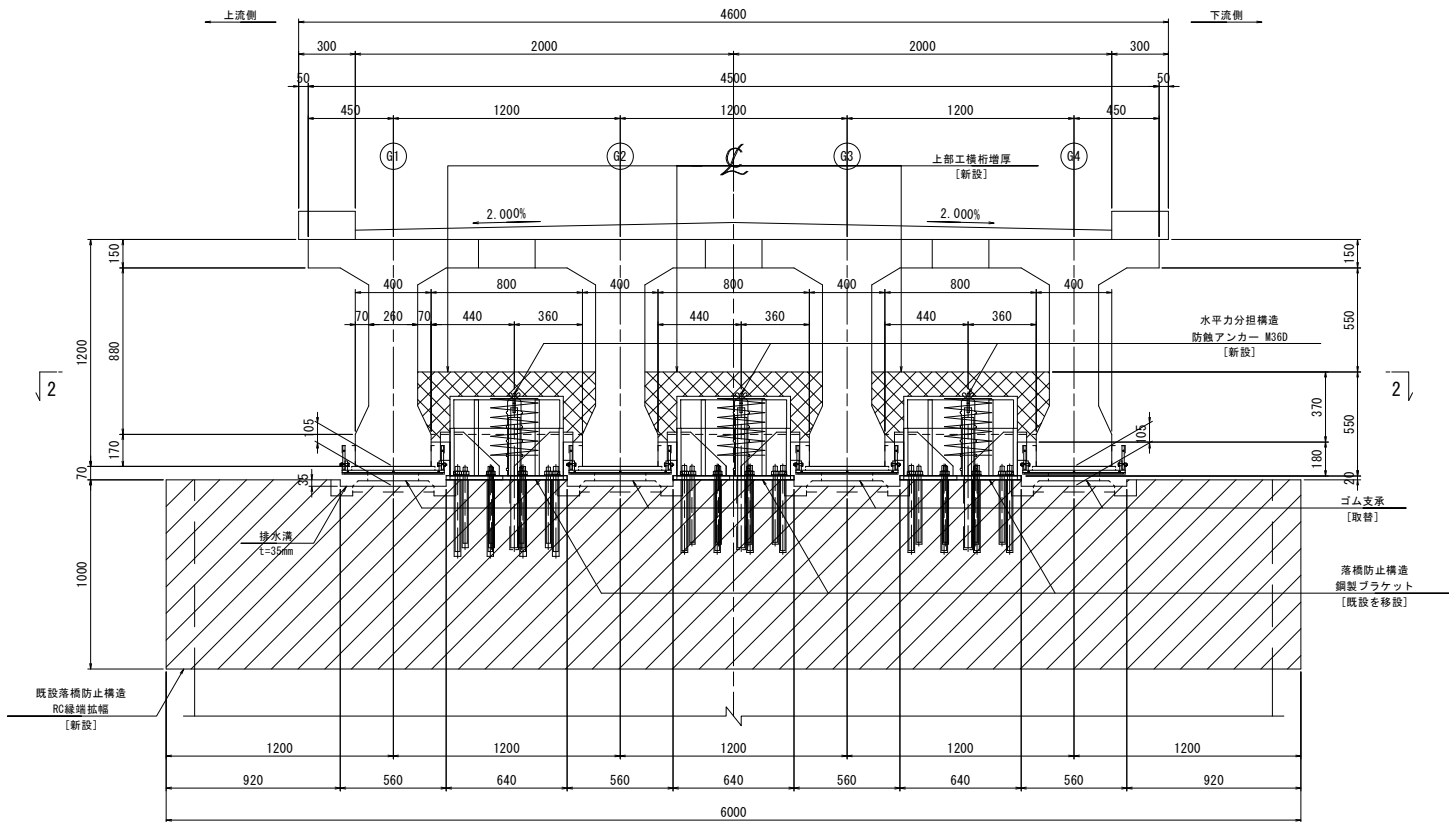
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その1）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	8 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その2）

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

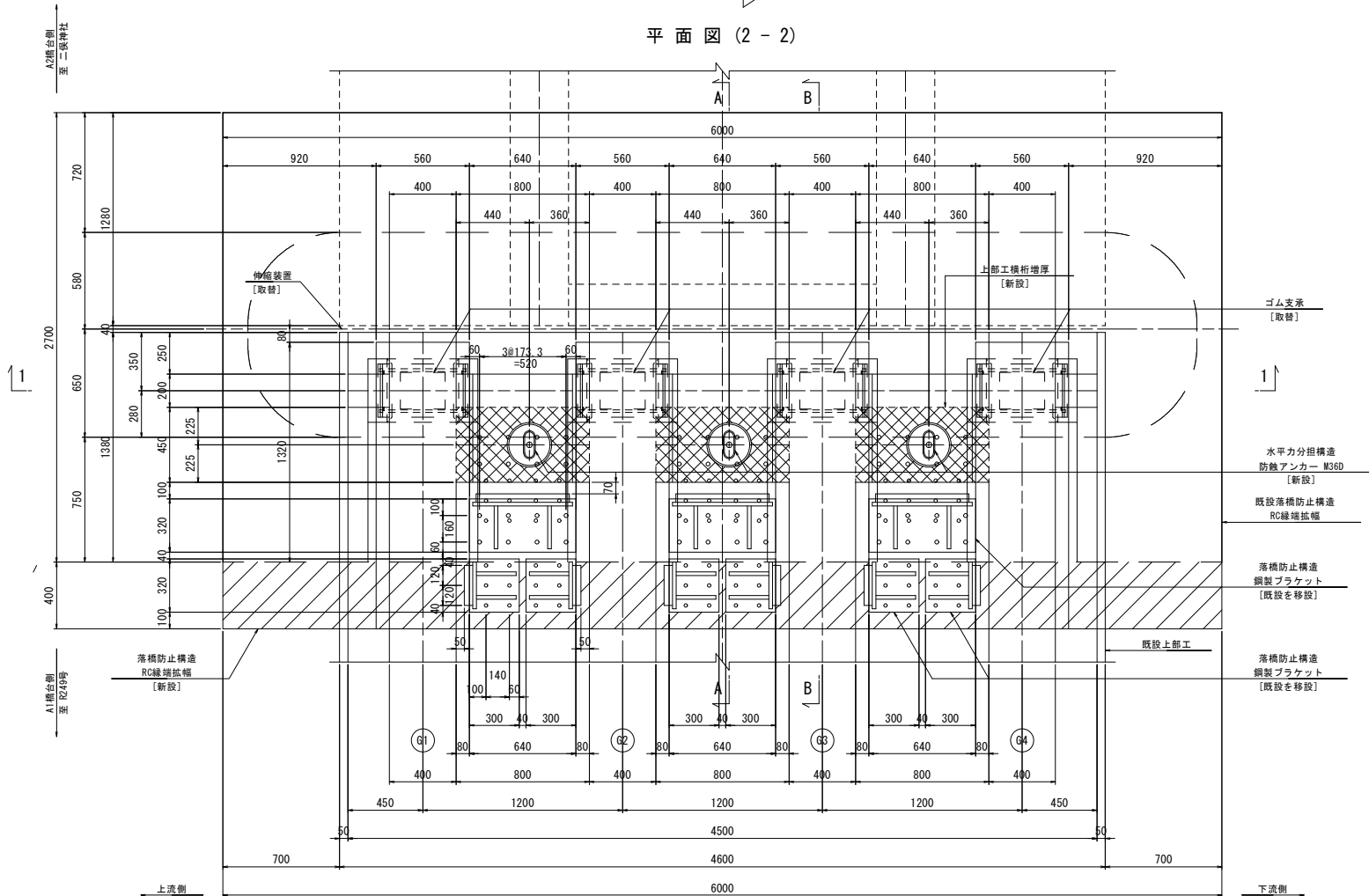
(復旧構造図-1)

正面図 (1 - 1)

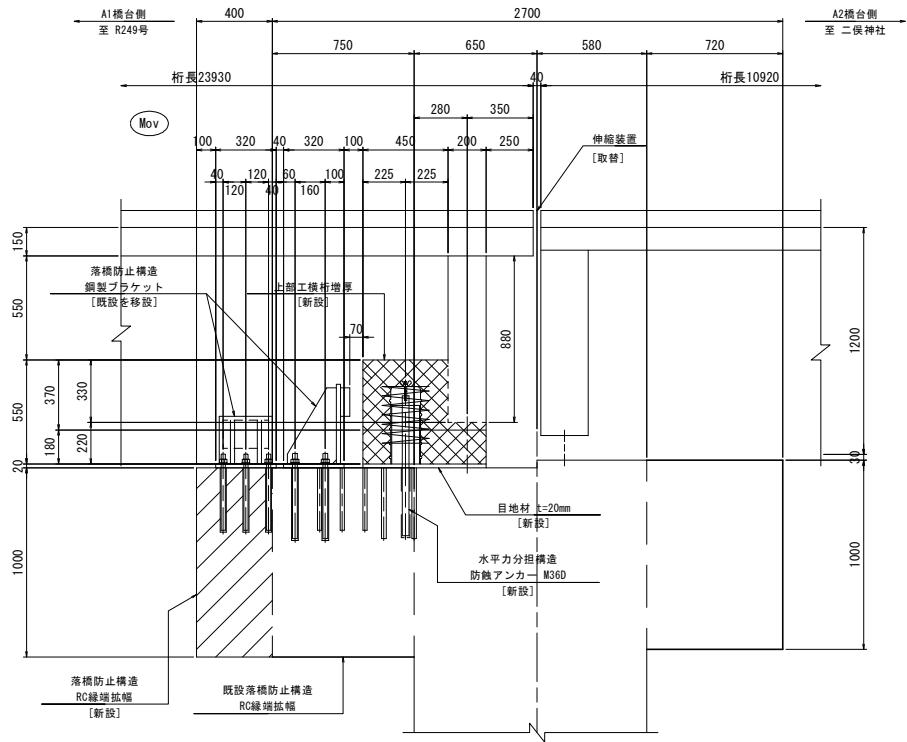


(二) 風室川
→

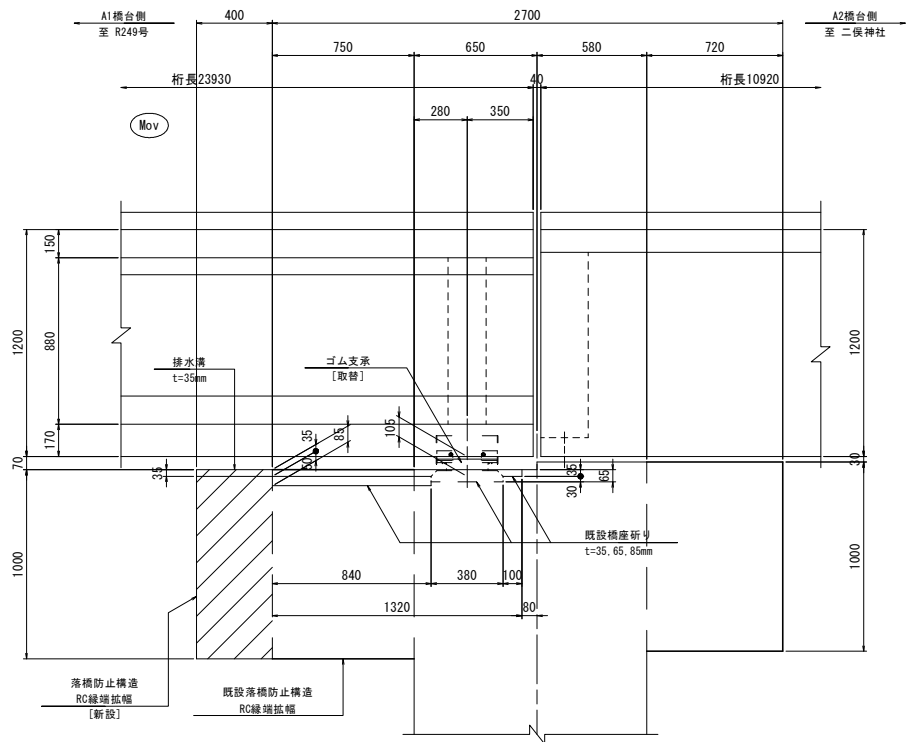
平面図 (2 - 2)



断面図 (A - A)



断面図 (B - B)



使用材料一覧表

	上部工橋桁増厚	端端拡幅
コンクリート	30-12-25N (W/C≤50%)	24-12-25B8 (W/C≤55%)
鉄筋	S0345	S0345

注記)

- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- ・既設コンクリートと新設コンクリートの打継ぎ面はチッピング工を行うこと。
- ・既設コンクリートに対する剛孔の際には、鉄筋探索等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。
- ・ は、RC端端拡幅を示す。
- ・ は、上部工橋桁増厚を示す。

令和8年度	
工事名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路線名	市道 二俣1号線
箇所	輪島市二俣町 地先
図名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その2）
縮尺	図示
図面番号	9 / 23 枚の内
輪島市	

鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その3）

(復旧構造図-2)

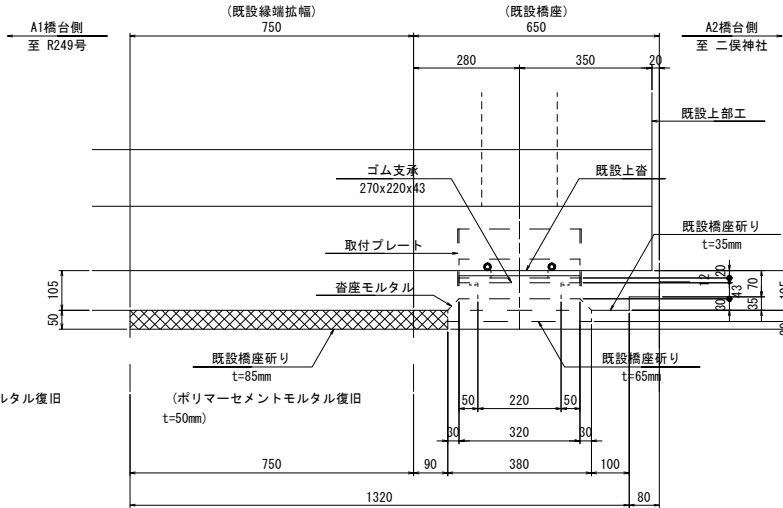
沓座モルタル詳細図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

※ 既設支承の撤去・取替に関しては、別途資料を確認すること。

側面図

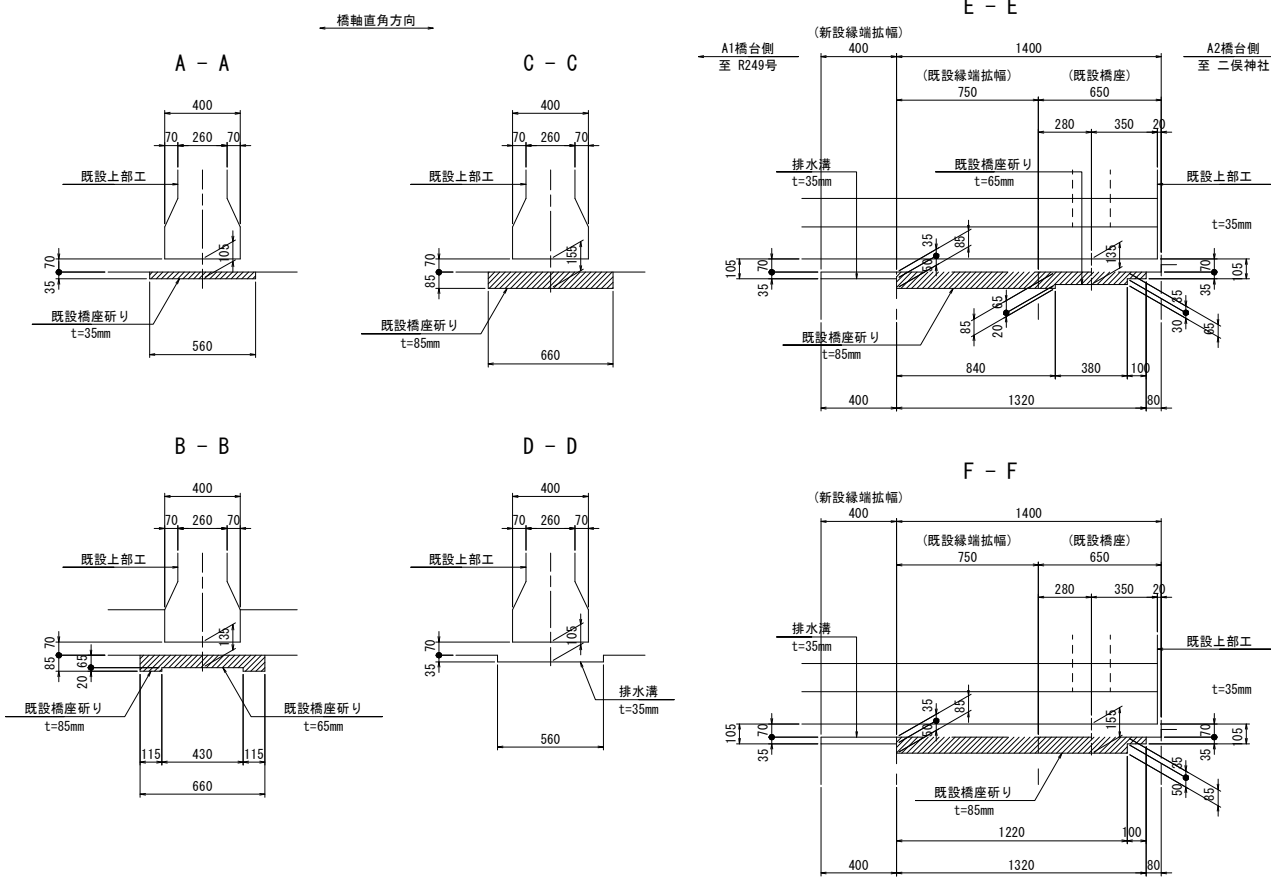
橋軸方向



既設橋座削り詳細図

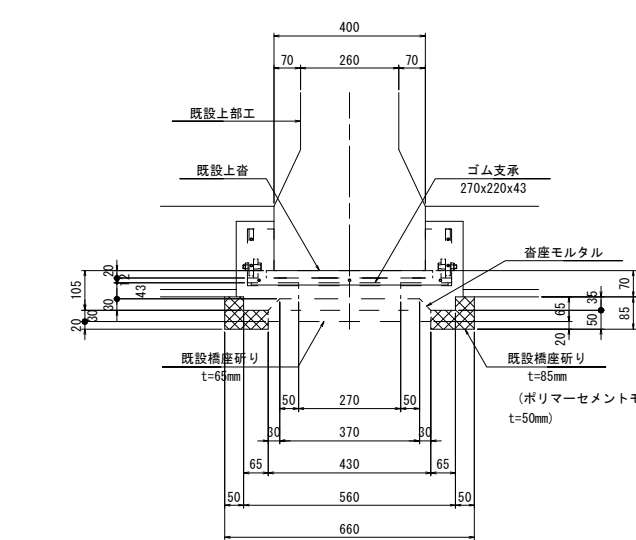
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

橋軸方向

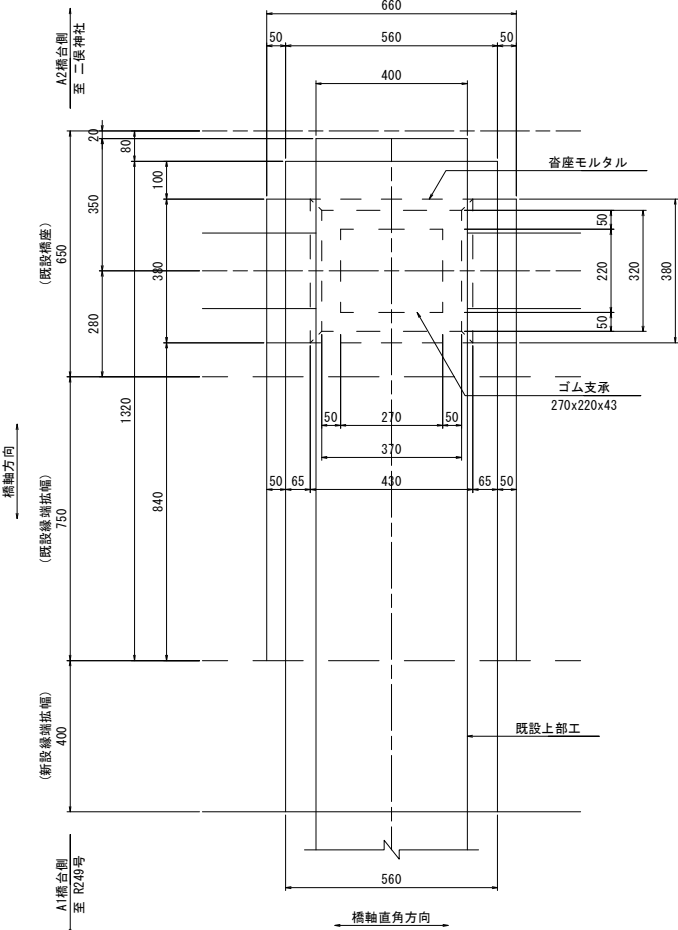


正面図

橋軸直角方向



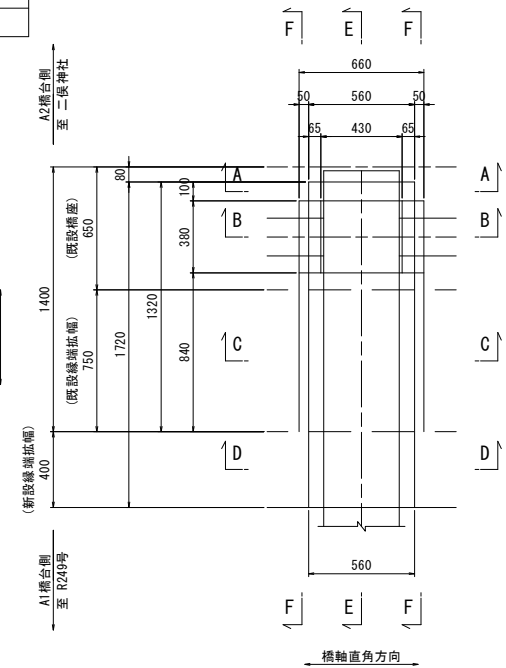
平面図



沓座モルタル寸法表

		A1橋台側(至 R249号) Mov			
		①	②	③	④
桁下～橋座 間隔	H	70	70	70	70
既設上沓厚	-	20	20	20	20
取付プレート厚	-	12	12	12	12
ゴム支承高	-	43	43	43	43
沓座モルタル厚	h	30	30	30	30
沓座なじみ厚	t	30	30	30	30
橋座削り厚(支承位置)	△t	65	65	65	65

平面図



注記)

- 当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- 施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- 既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチッピング工を行うこと。
- 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して、既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

令和8年度	
工事名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路線名	市道 二俣1号線
箇所	輪島市二俣町 地先
図名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その3）
縮尺	図示
図面番号	10 / 23 枚の内
輪島市	

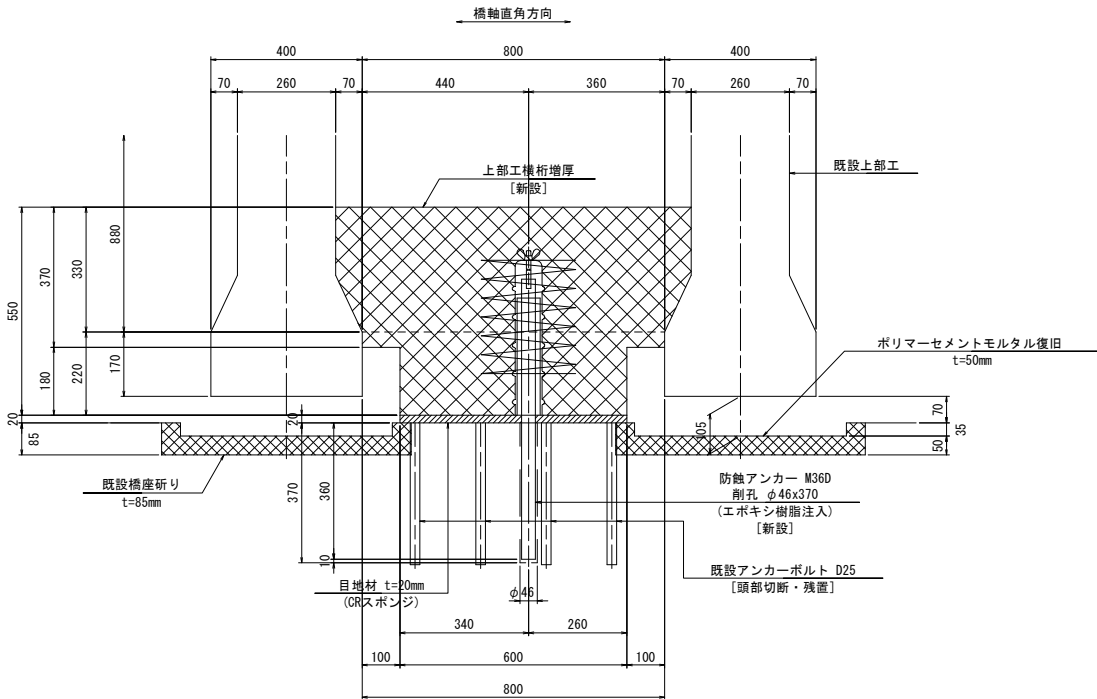
鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その4）

（復旧構造図-3）

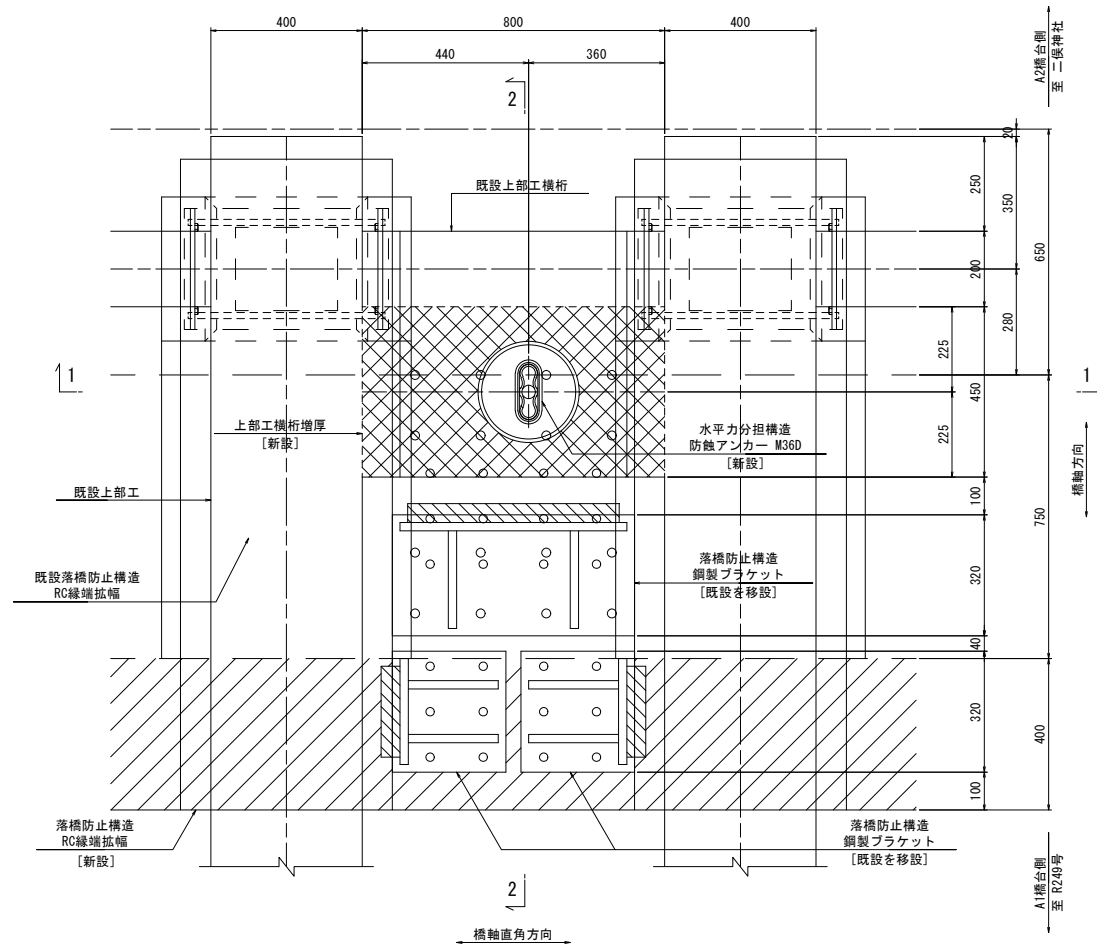
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

上部工増厚詳細図

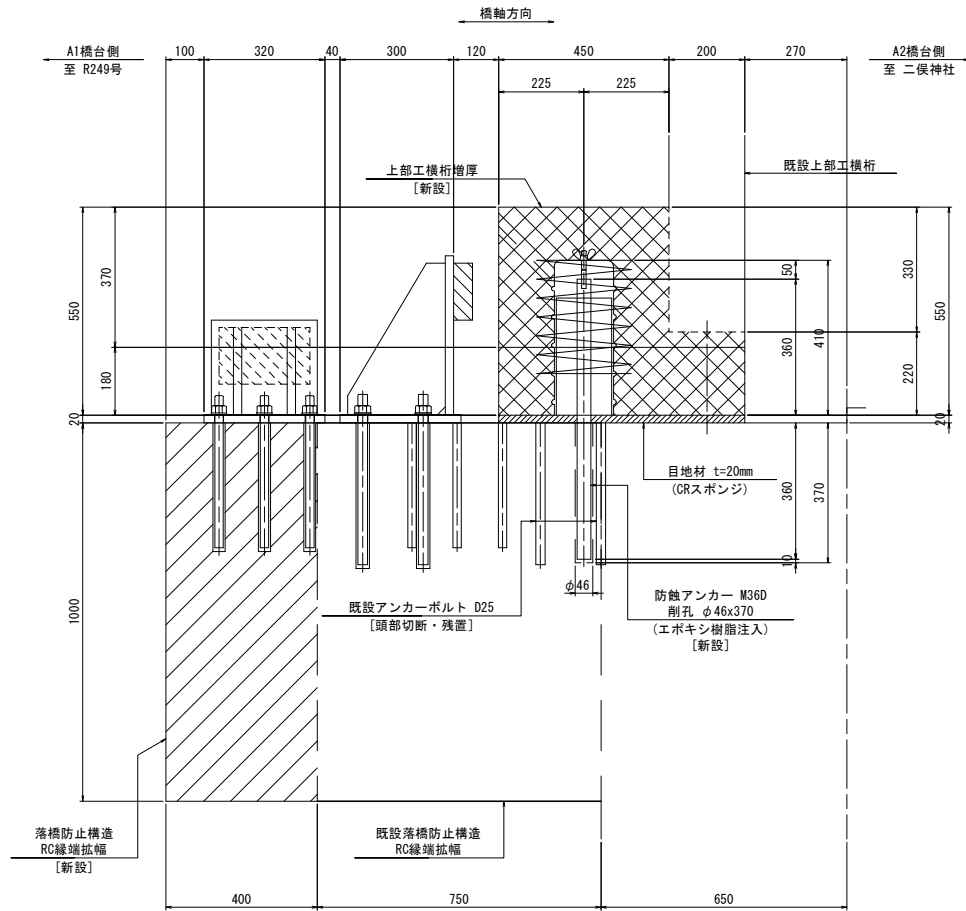
正面図 (1 - 1)



平面図

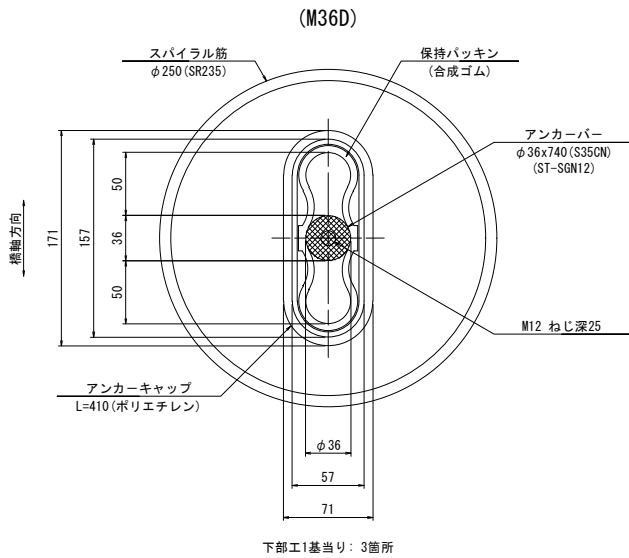


側面図 (2 - 2)



防蝕アンカー装置平面図

S=1:3 (A1)
S=1:6 (A3)



- 注記)
- 当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
 - 施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - 既設コンクリートと新設コンクリートの打継ぎ面はチッピング工を行うこと。
 - 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

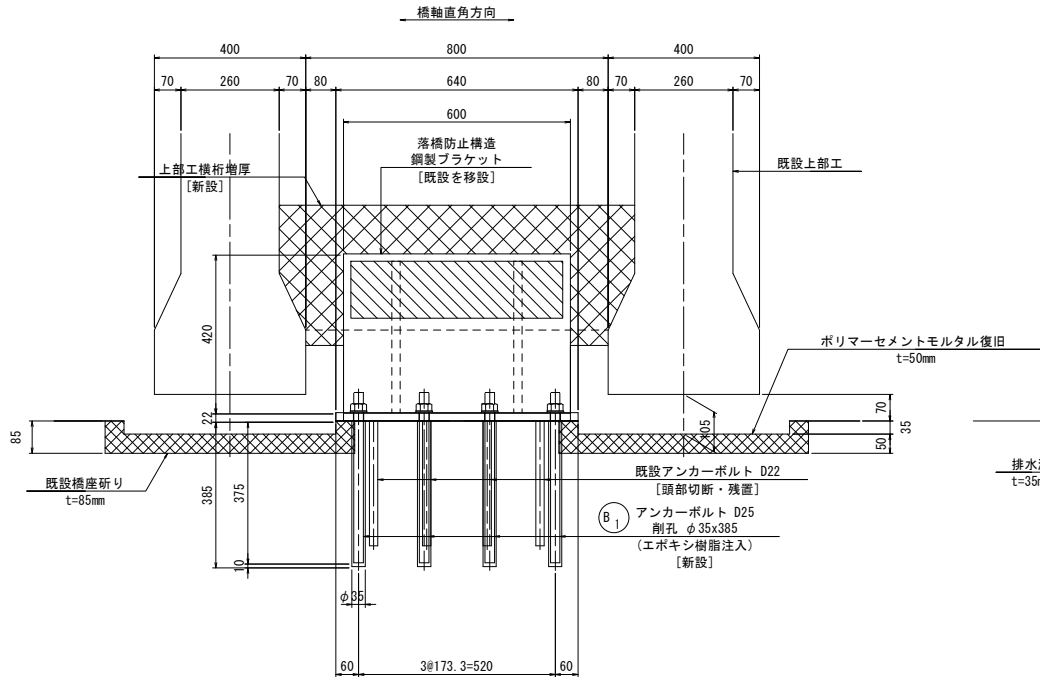
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図（その4）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	11 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

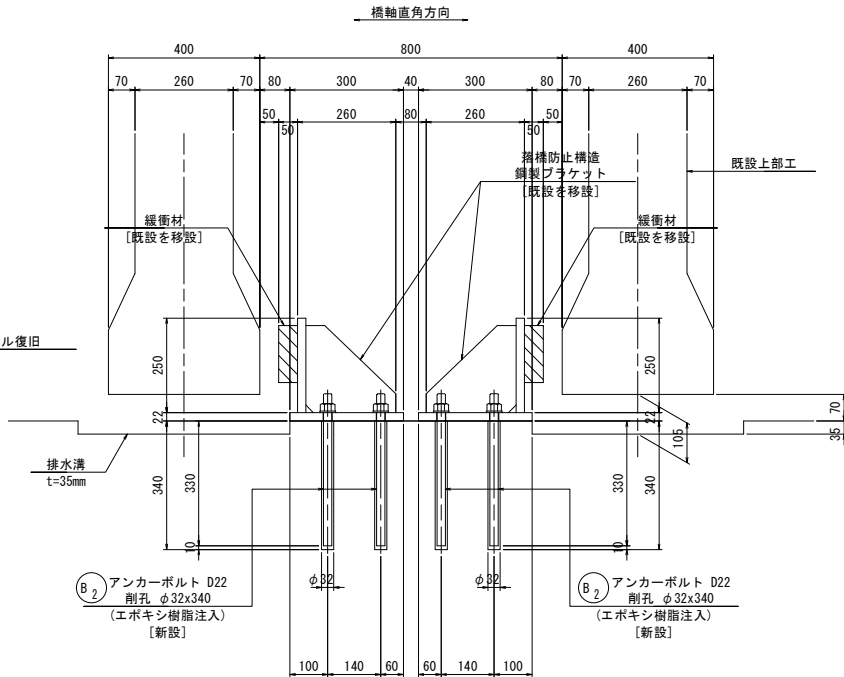
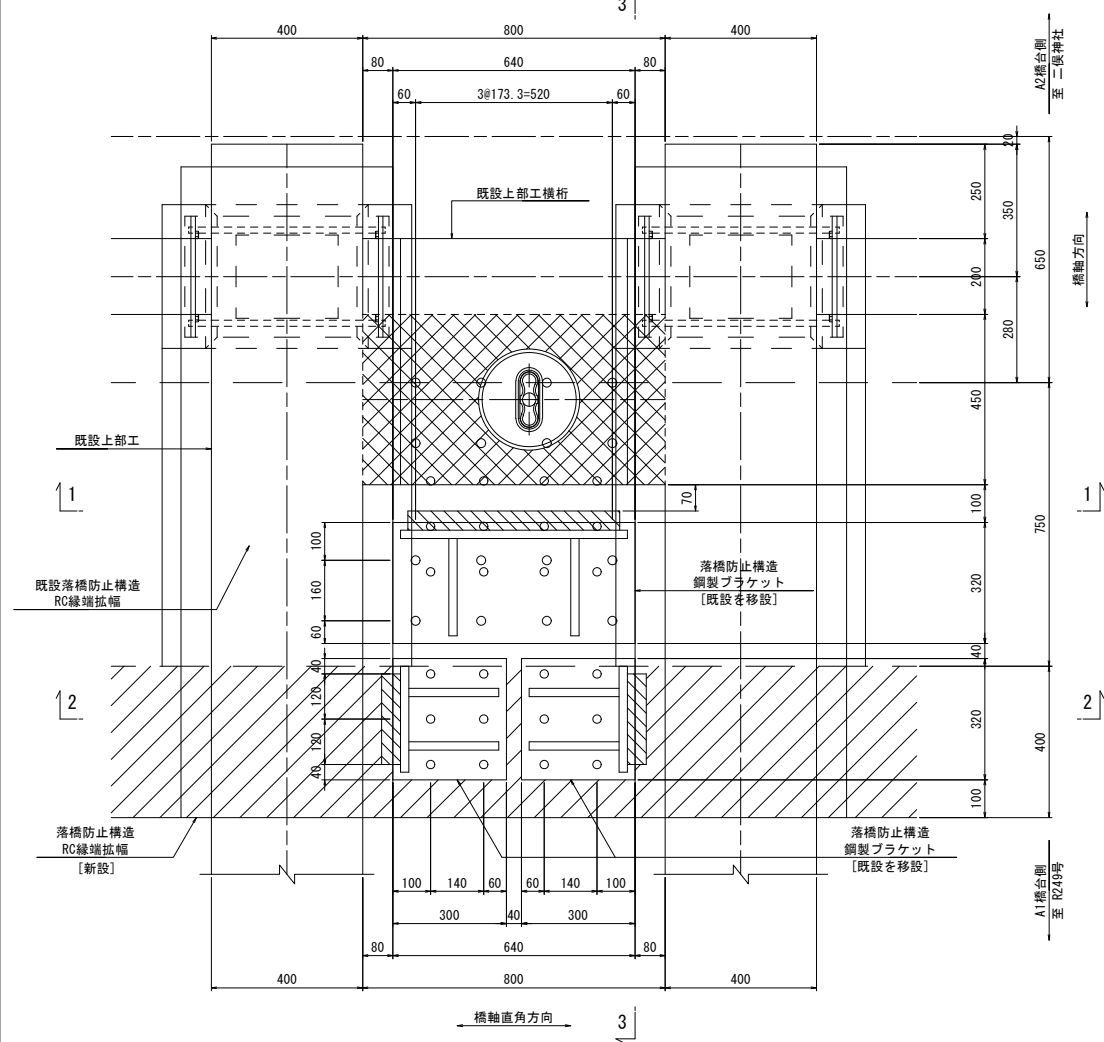
鋼製ブラケット詳細図

橋軸直角方向

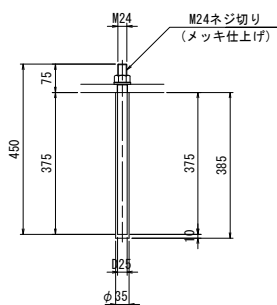
橋軸直角方向



2



(B₁) D.

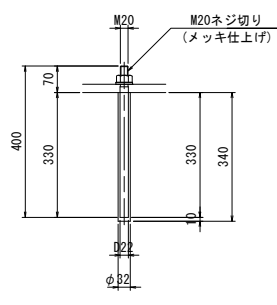


鋼製ブラケット1箇所当り数量(製作3基)

- 8-アンカーボルト D25x450(SD345)
- 8-弛み止めナット M24用
- 8-ワッシャー M24用

※ 鋼製ブラケットおよび緩衝材は既設を使用する。

(B, D) 22



鋼製ブラケット1箇所当り数量(製作6基)

- 6-アンカーボルト D22x400 (SD345)
- 6-弛み止めナット M20用
- 6-ワッシャー M20用

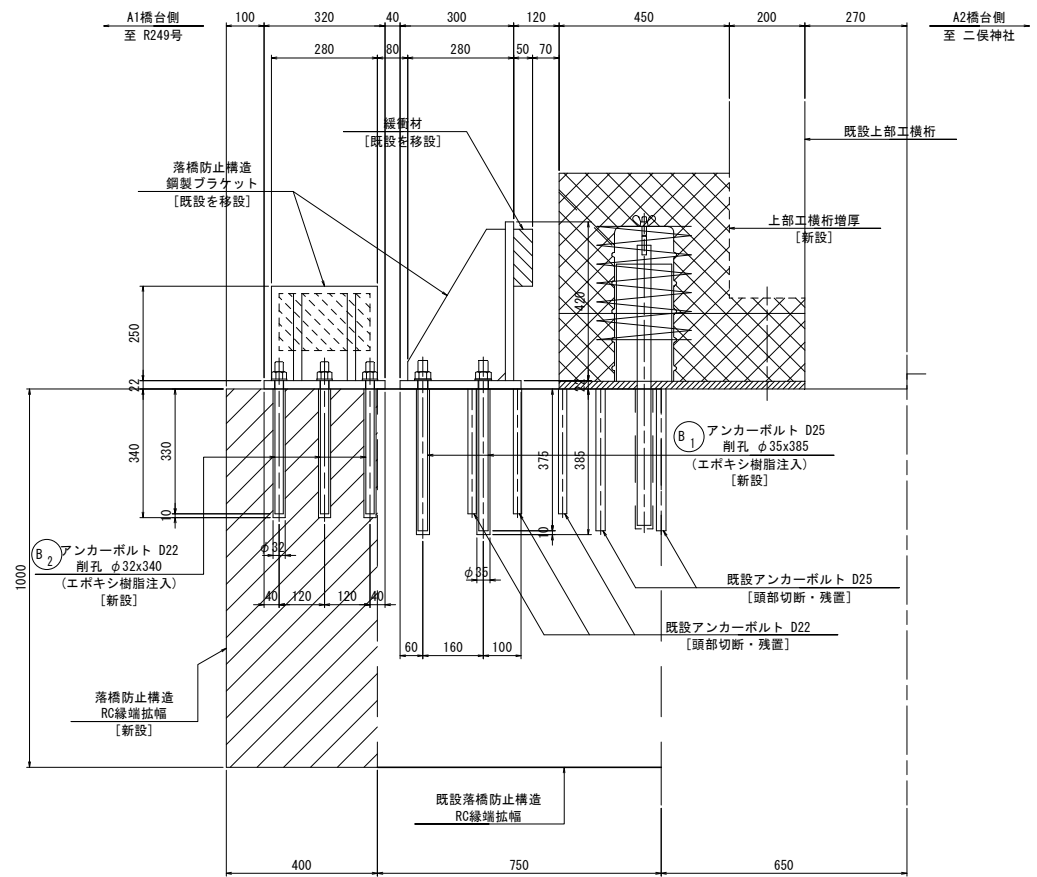
※ 鋼製ブラケットおよび緩衝材は既設を使用する。

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
(線端拉幅)							
B ₁	D25	450	24	3.98	1.79	43	——
B ₂	D22	400	36	3.04	1.21	44	——
						87 kg	
合 計 D25				43 kg			
D22				44 kg			
総質量				87 kg			
(既設下部工躯体 削孔箇所数)							
φ 35 (D25). L=450mm/箇所				24 箇所(水平方向)			
φ 32 (D22). L=400mm/箇所				36 箇所(水平方向)			

注記)

- ・当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- ・施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- ・既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチッピング工を行うこと。
- ・既設コンクリートに対する剛孔の際には、鉄筋探查等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないよう注意すること。

橋軸方向



令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害修復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修構造図 (その5)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	12 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

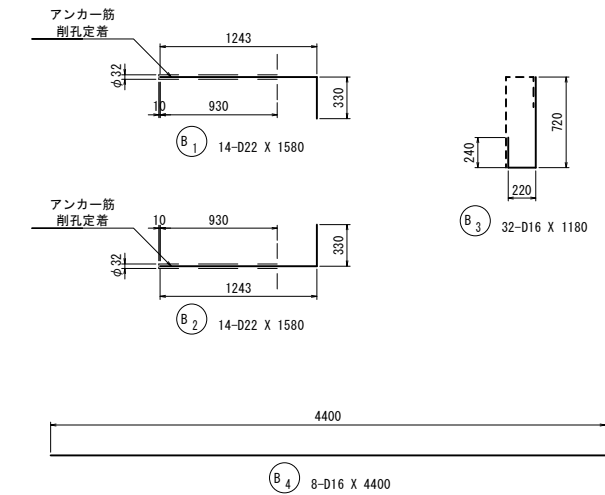
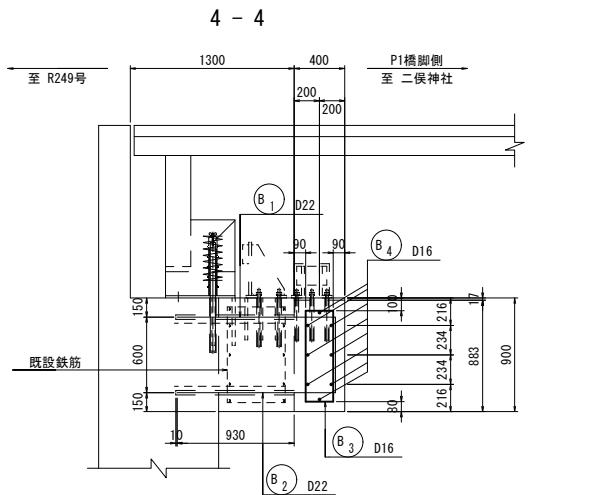
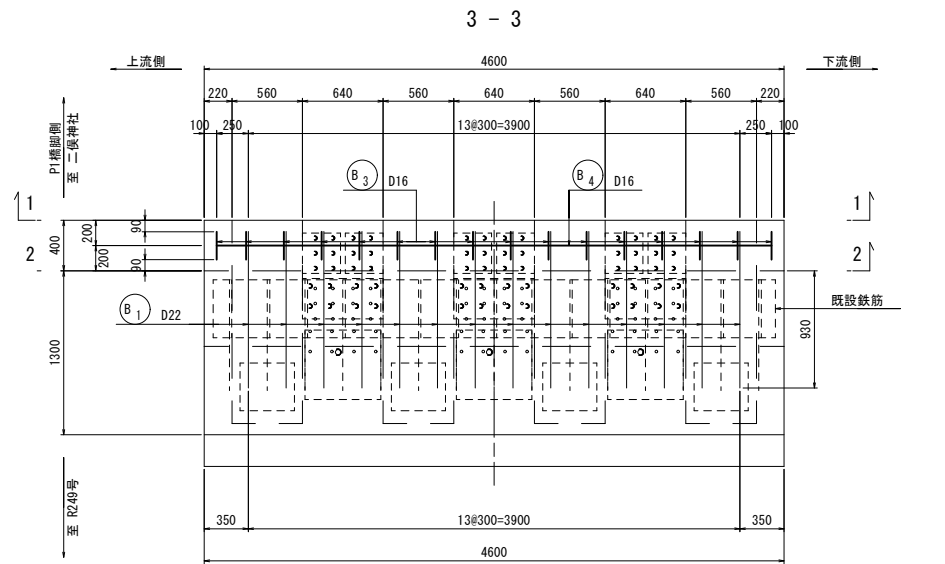
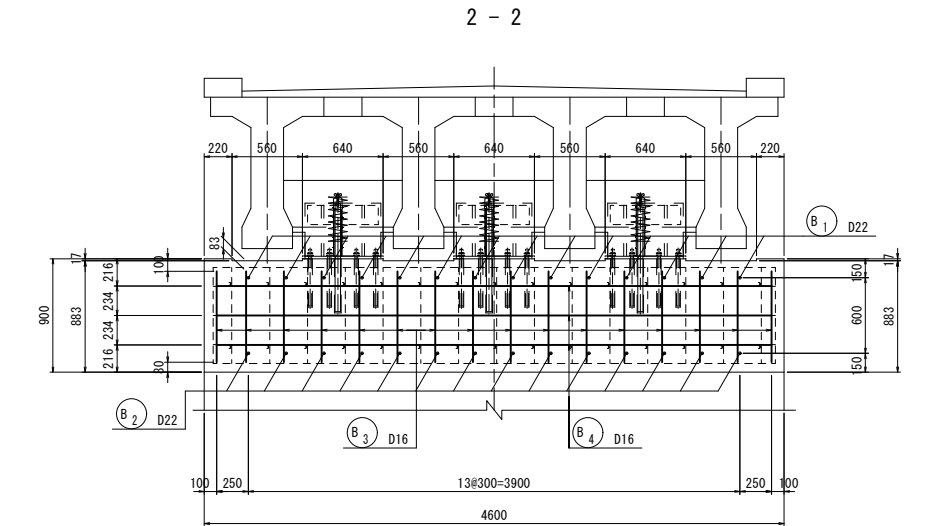
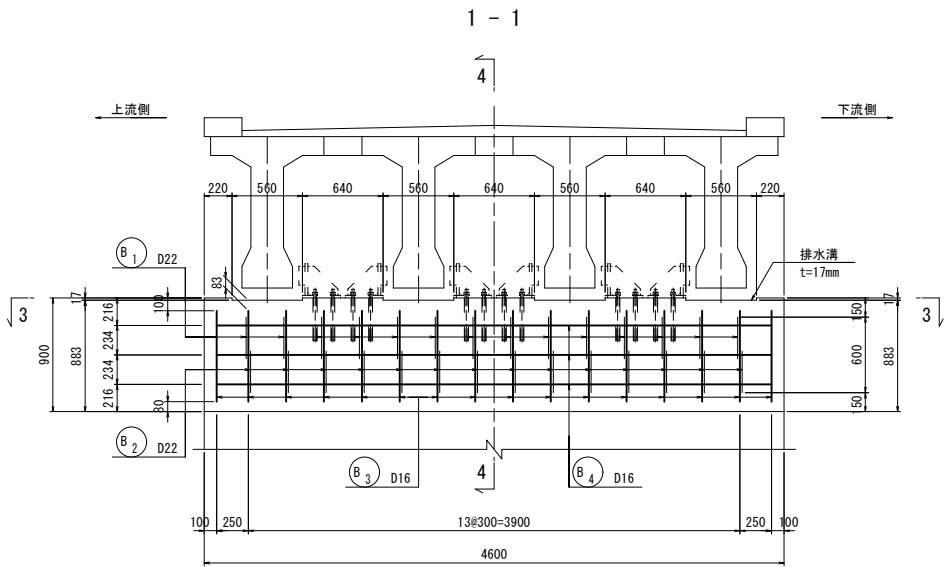
鍛冶屋橋 A1橋台補修配筋図（その1）

（縁端拡幅）

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

縁端拡幅かぶり詳細図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
(縁端拡幅)							
B ₁	D22	1580	14	3.04	4.80	67	
B ₂	"	1580	14	"	4.80	67	
B ₃	D16	1180	32	1.56	1.84	59	↓
B ₄	"	4400	8	"	6.86	55	—
						248 kg	
合 計				D22	134 kg		
				D16	114 kg		
総質量					248 kg		
(既設下部工躯体 削孔箇所数)							
φ 32 (D22), L=940mm/箇所					28 箇所 (水平方向)		

使用材料一覧表

	縁端拡幅
コンクリート	24-12-25BB (W/C≦55%)
鉄 筋	SD345

注記)

- 当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
- 施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- 既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチッピング工を行うこと。
- 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

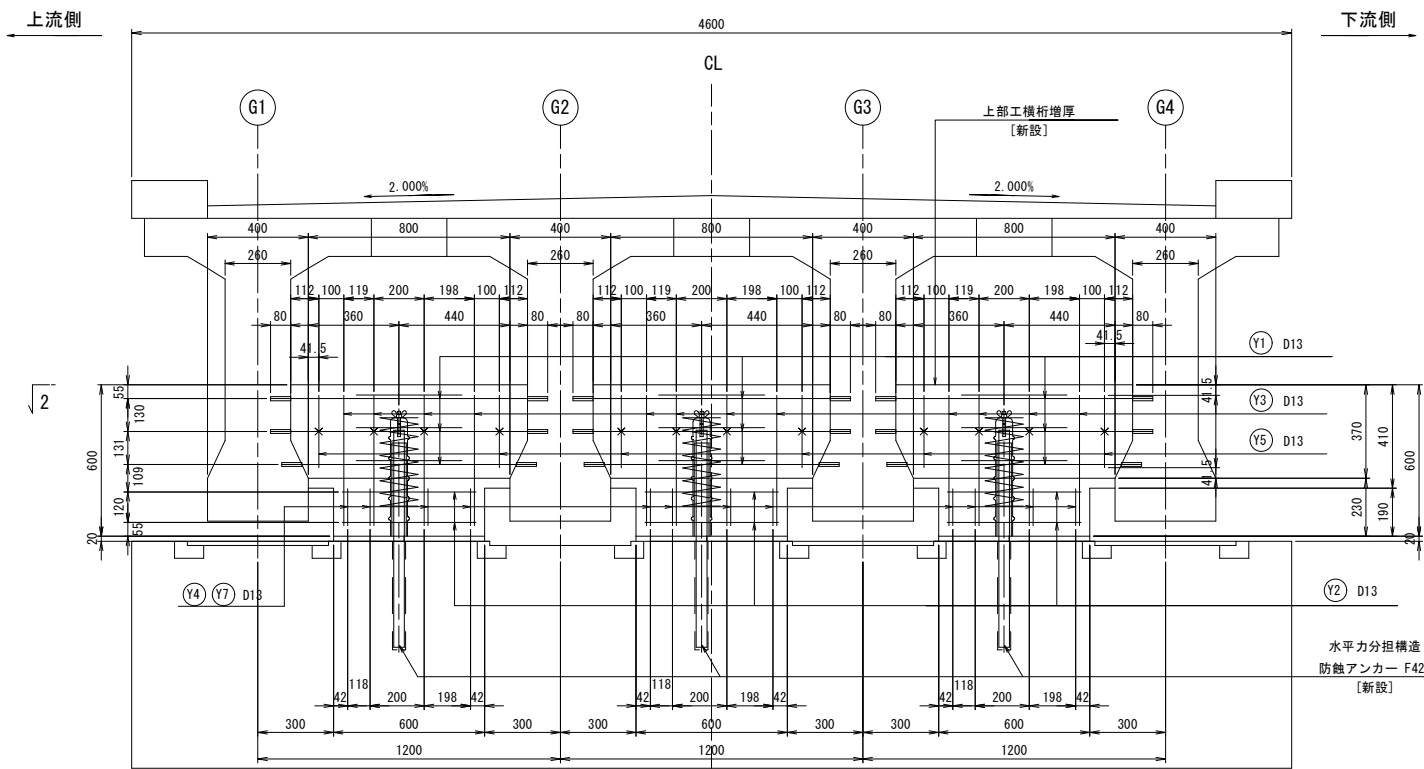
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修配筋図（その1）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	13 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 A1橋台補修配筋図（その2）

S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)

断面図 (1 - 1)

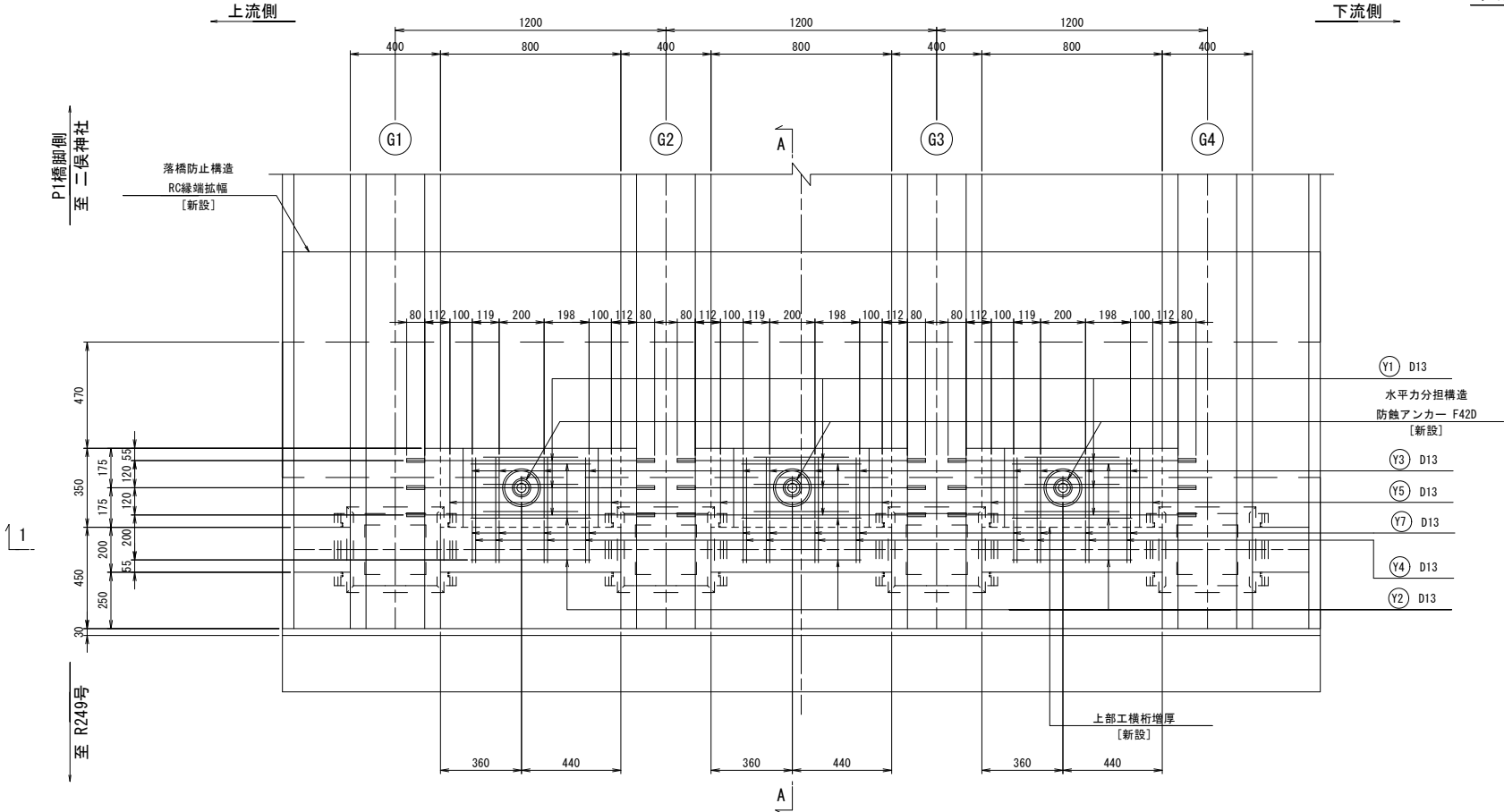
(横桁増厚)



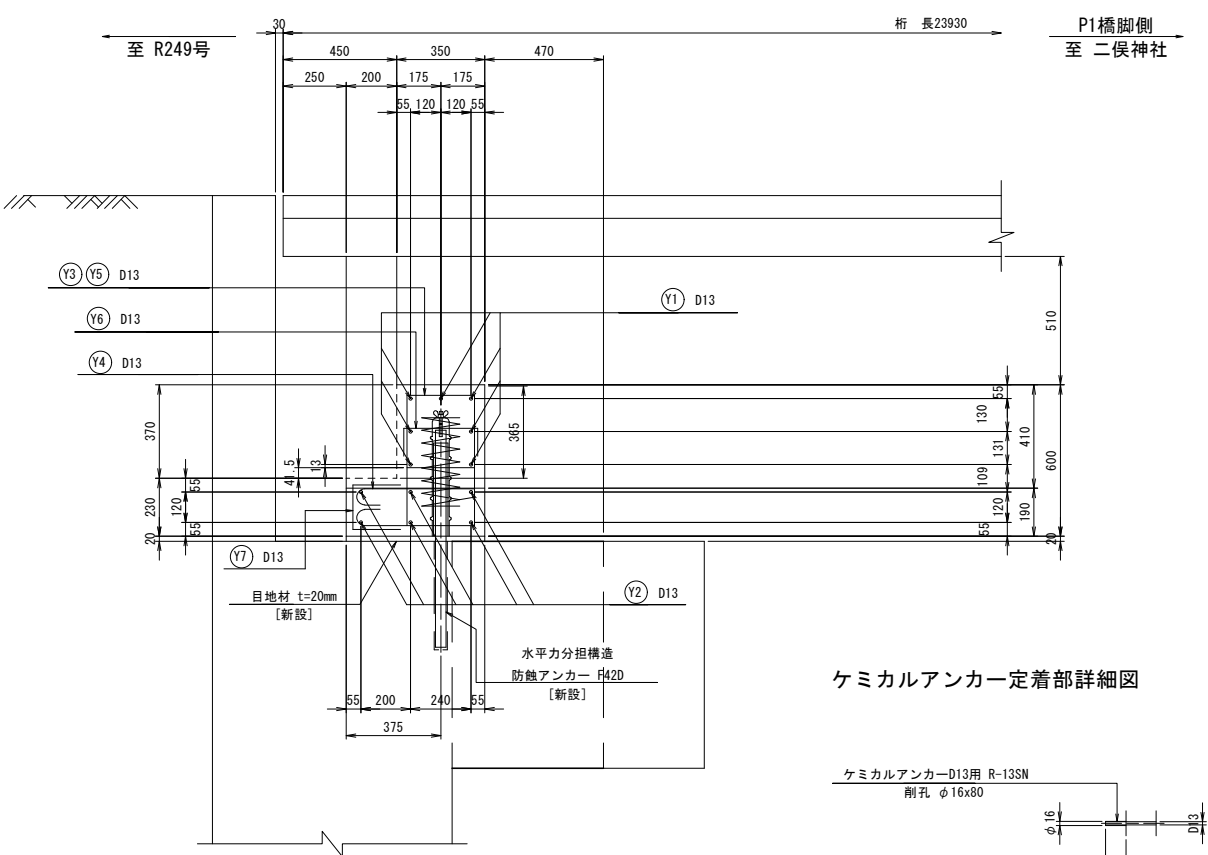
(二) 鳳至川

平面図 (2 - 2)

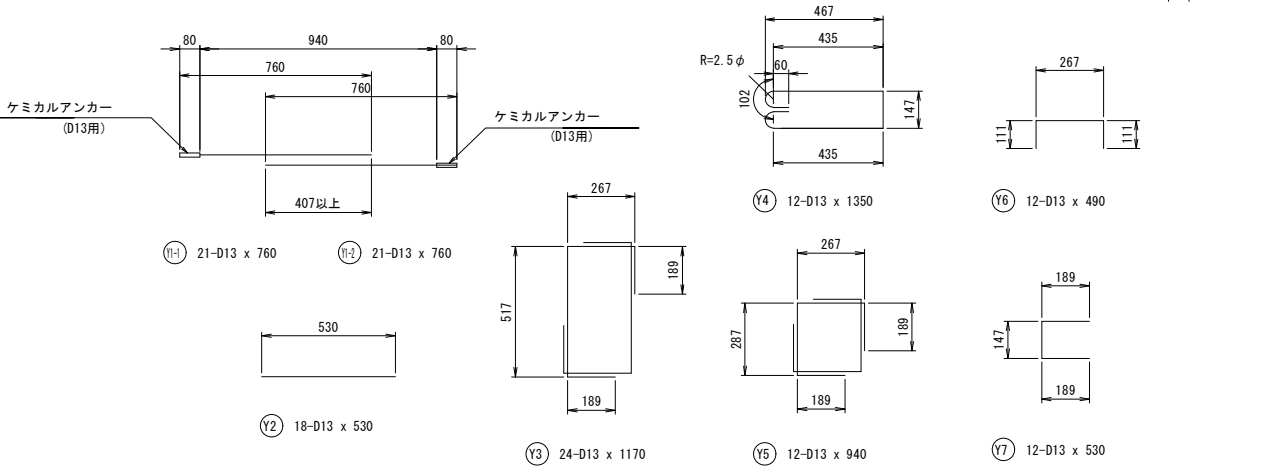
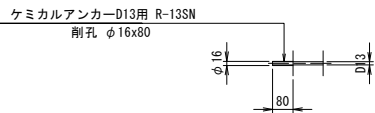
下流側



側面図 (A - A)



ケミカルアンカー定着部詳細図



鉄筋質量表

符 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
(上部工横桁増厚)							
Y1-1	D13	760	21	0.995	0.756	16	—
Y1-2	"	760	21	"	0.756	16	—
Y2	"	530	18	"	0.527	9	—
Y3	"	1170	24	"	1.16	28	□
Y4	"	1350	12	"	1.34	16	□
Y5	"	940	12	"	0.935	11	□
Y6	"	490	12	"	0.488	6	□
Y7	"	530	12	"	0.527	6	□
合 計				D13	108	kg	
総質量					108	kg	
ケミカルアンカー				D13用	42	個	
上部工主桁削孔				φ16, L=80mm/箇所	42	箇所 (水平方向)	

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6次 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 A1橋台補修配筋図 (その2)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	14 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

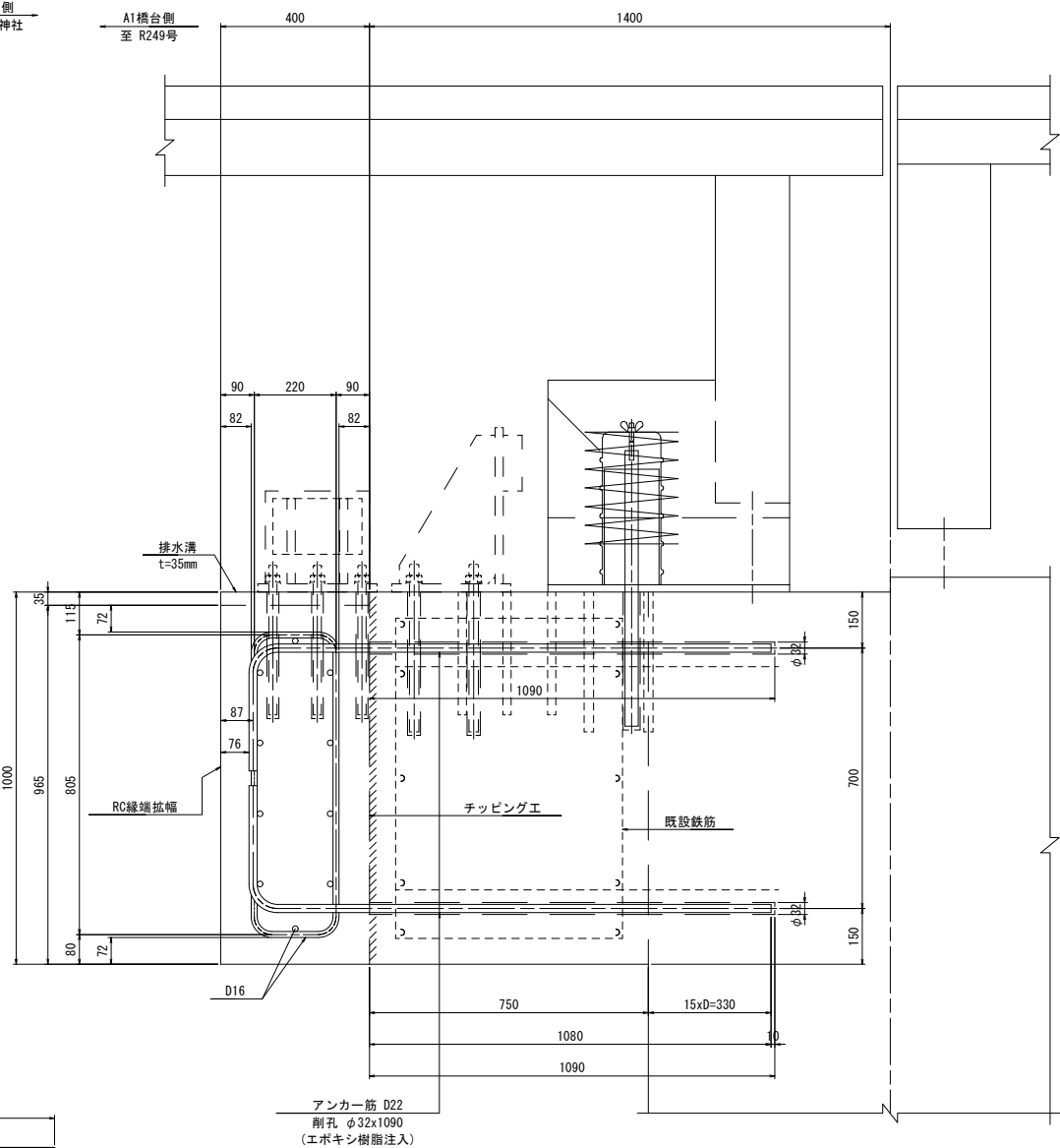
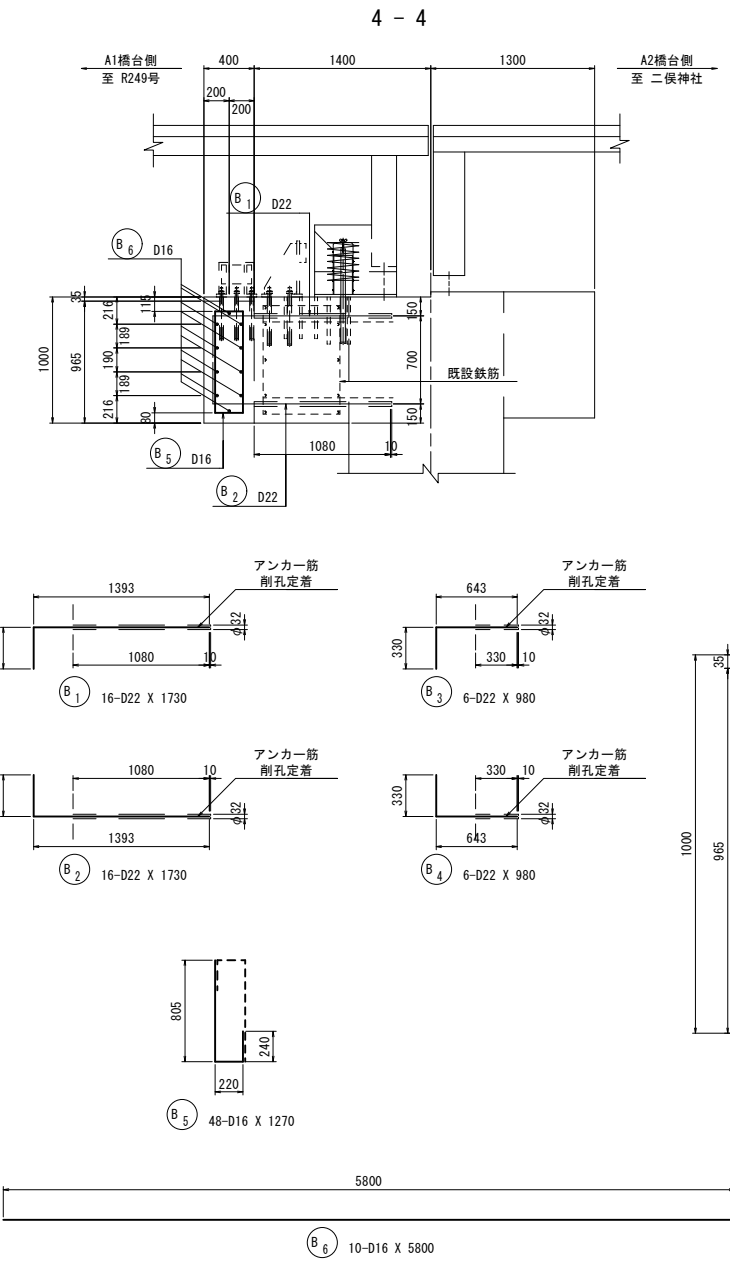
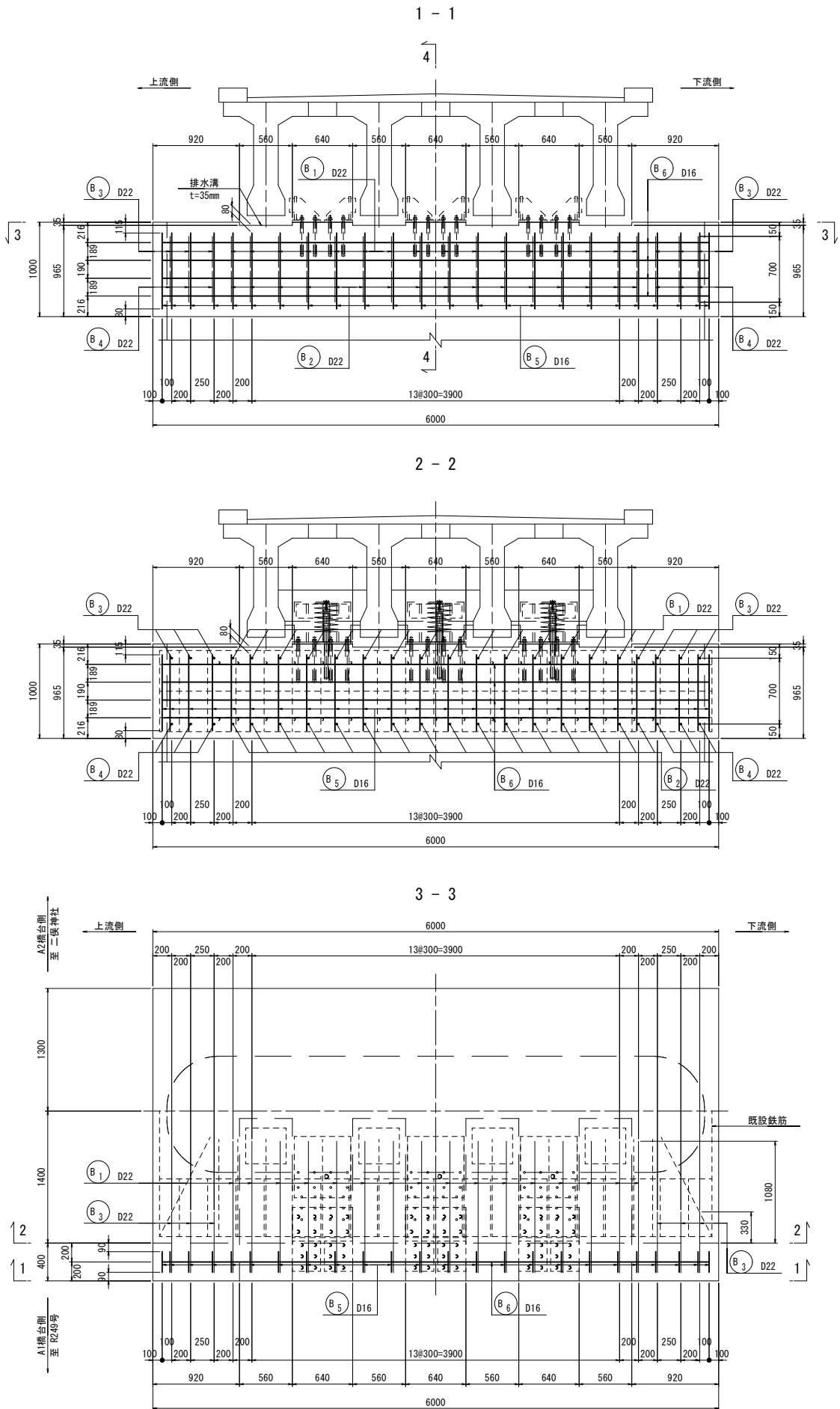
鍛冶屋橋 P1橋脚補修配筋図（その1）

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

(縁端拡幅)

縁端拡幅かぶり詳細図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
(縁端拡幅)							
B ₁	D22	1730	16	3.04	5.26	84	
B ₂	"	1730	16	"	5.26	84	
B ₃	"	980	6	"	2.98	18	
B ₄	"	980	6	"	2.98	18	
B ₅	D16	1270	48	1.56	1.98	95	
B ₆	"	5800	10	"	9.05	91	
							390 kg
合 計 D22				204	kg		
D16				186	kg		
総質量				390	kg		
(既設下部工躯体 削孔箇所数)							
φ32 (D22) , L=1090mm/箇所				32	箇所 (水平方向)		
φ32 (D22) , L=340mm/箇所				12	箇所 (水平方向)		

使用材料一覧表

	縁端拡幅
コンクリート	24-12-25BB (W/C≦55%)
鉄筋	SD345

- 注記)
- 当該図面は、現地測量および既往資料に基づき作成したものである。
 - 施工に際しては、現地測量により、形状寸法・添架管位置を確認後必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - 既設コンクリートと新設コンクリートの打継面はチップングエを行うこと。
 - 既設コンクリートに対する削孔の際には、鉄筋探査等を実施して既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないように注意すること。

令和8年度	
工事名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路線名	市道 二俣1号線
箇所	輪島市二俣町 地先
図名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修配筋図（その1）
縮尺	図示
図面番号	15 / 23 枚の内
輪島市	

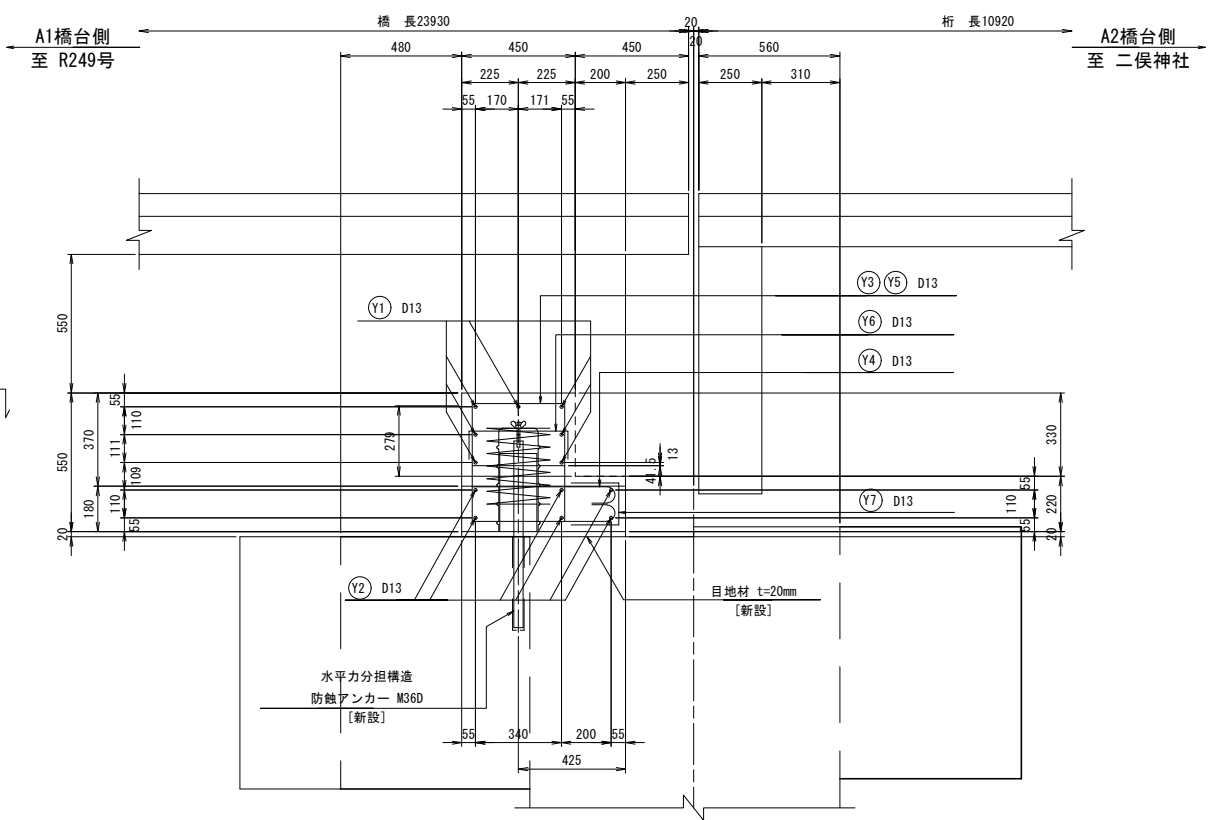
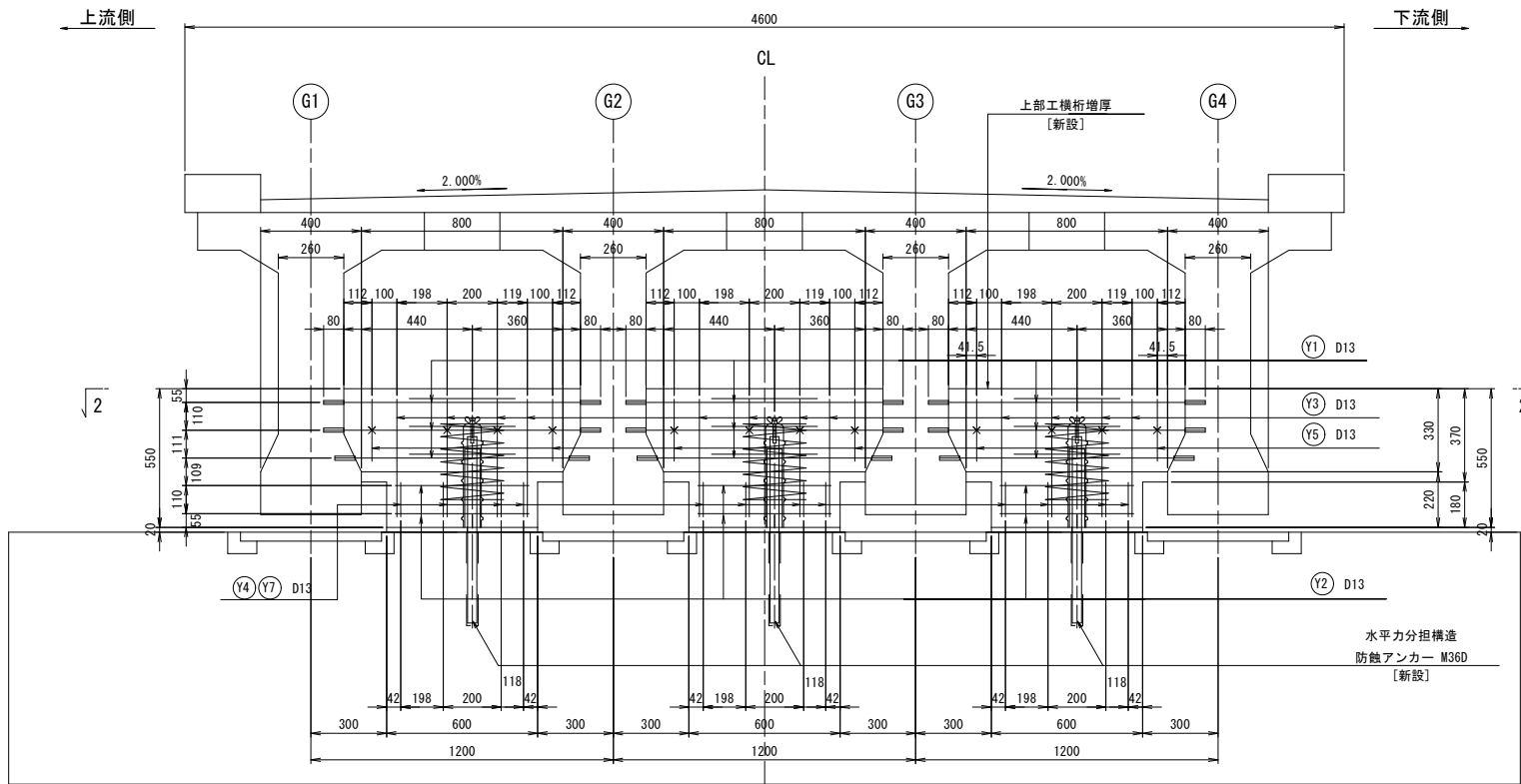
鍛冶屋橋 P1橋脚補修配筋図（その2）

S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)

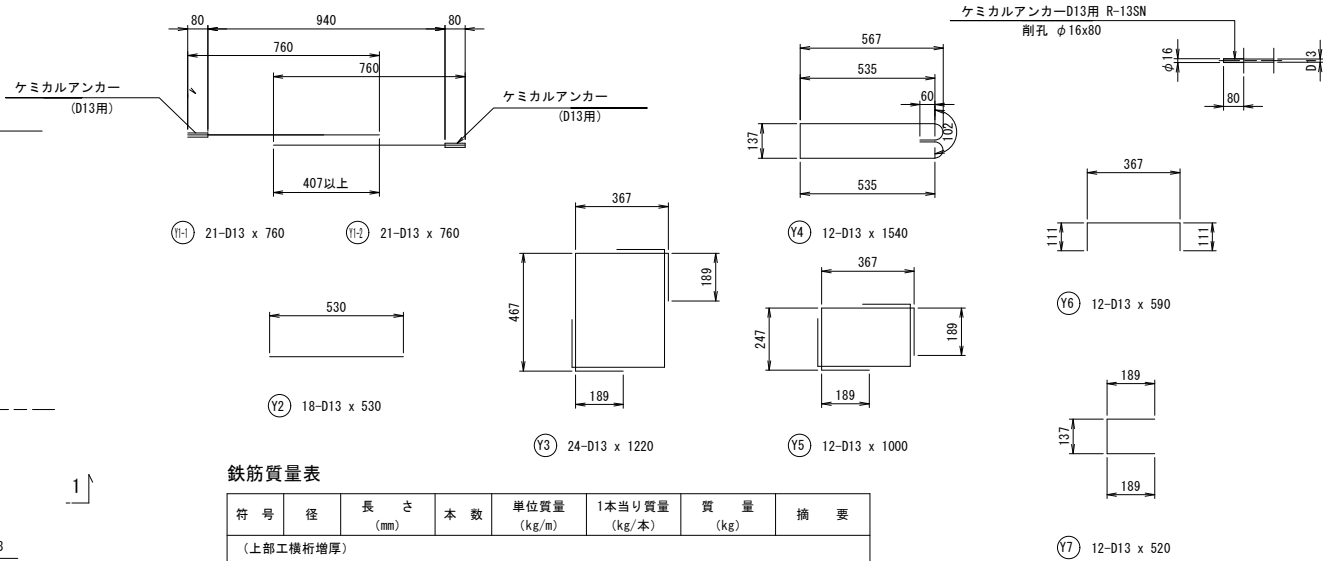
断面図 (1 - 1)

(横桁増厚)

側面図 (A - A)



ケミカルアンカー定着部詳細図



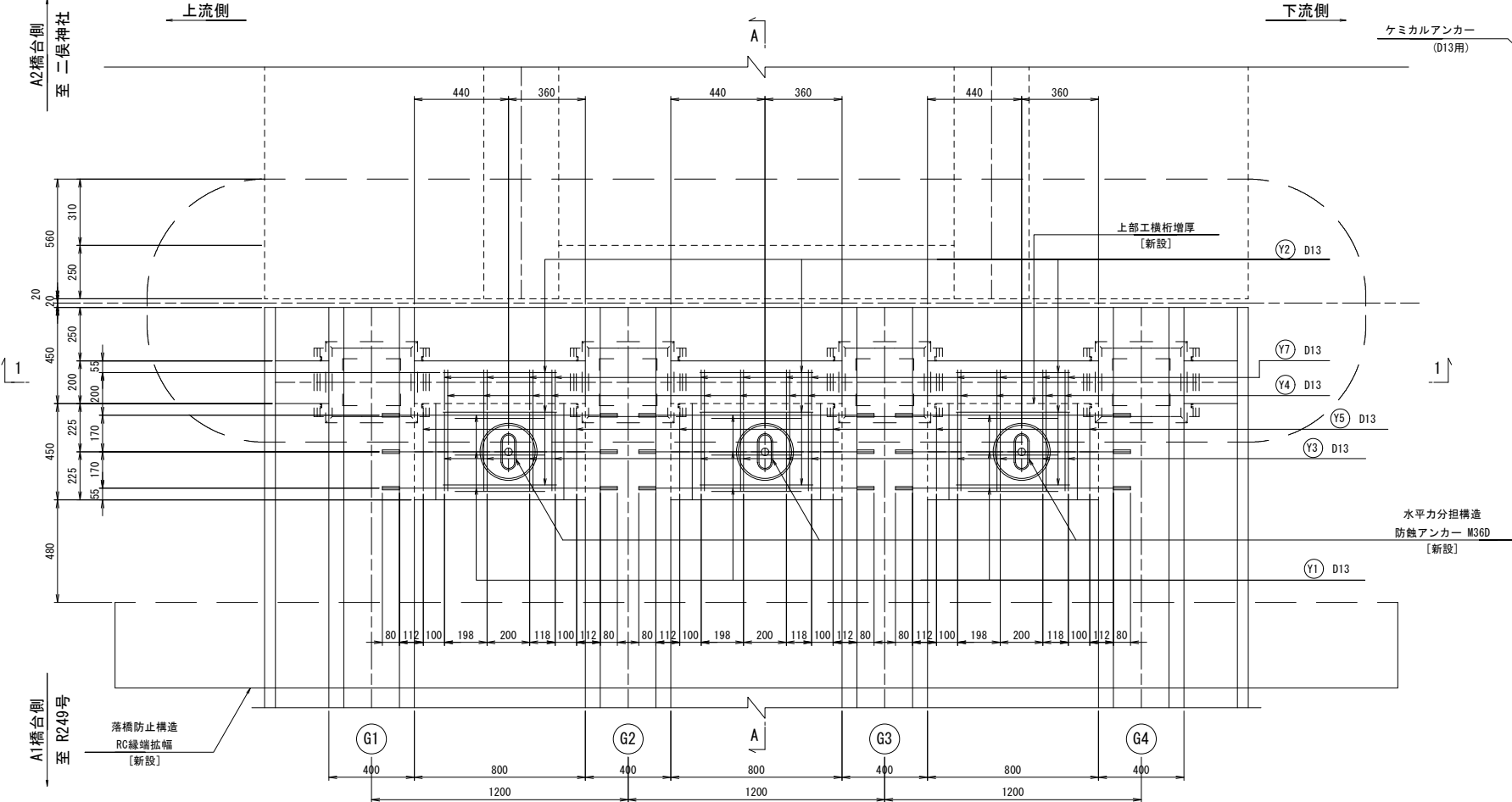
鉄筋質量表

符 号	径	長 さ (mm)	本 数	単 位 質 量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
(上部工横桁増厚)							
Y1-1	D13	760	21	0.995	0.756	16	—
Y1-2	"	760	21	"	0.756	16	—
Y2	"	530	18	"	0.527	9	—
Y3	"	1220	24	"	1.21	29	□
Y4	"	1540	12	"	1.53	18	□
Y5	"	1000	12	"	0.995	12	□
Y6	"	590	12	"	0.587	7	□
Y7	"	520	12	"	0.517	6	□
合 計				D13	113	kg	
総質量					113	kg	
ケミカルアンカー				D13用	42	個	
上部工主桁耐孔				φ 16, L=80mm/箇所	42	箇所 (水平方向)	

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 P1橋脚補修配筋図 (その2)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	16 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

(二) 鳳至川

平面図 (2 - 2)

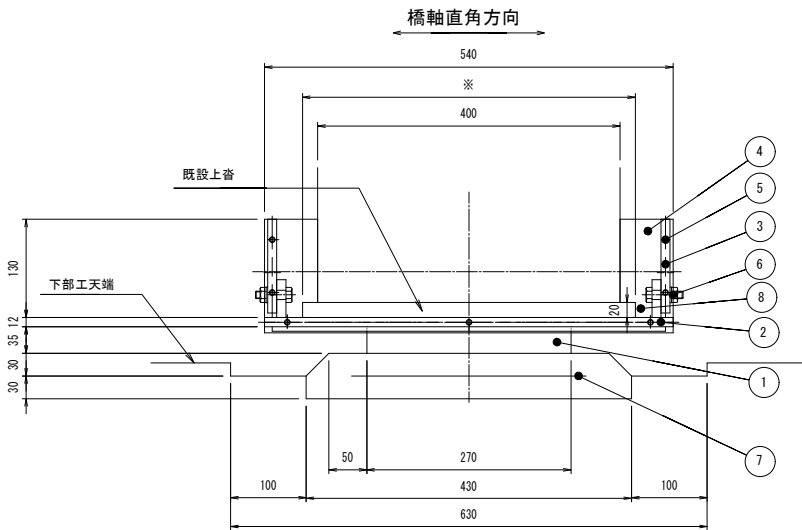


鍛冶屋橋 支承詳細図（その1）

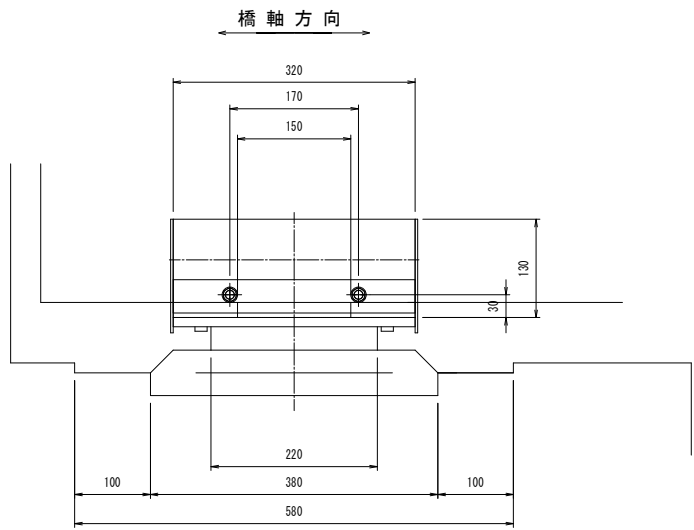
S=1: 5 (A1)
S=1: 10 (A3)

組立図

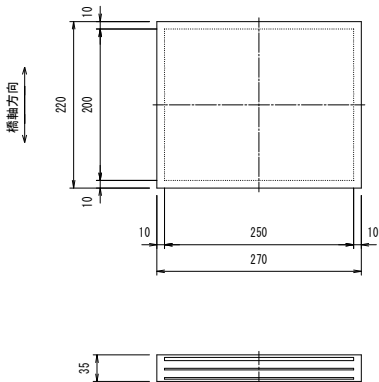
A1 (F)



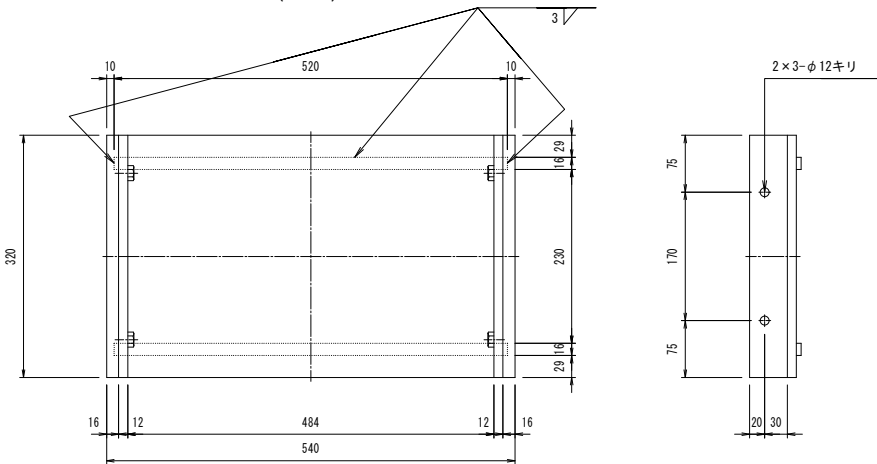
※桁から飛び出した既設上蓋は可動側の既設上蓋の幅と同じになるよう切除する。



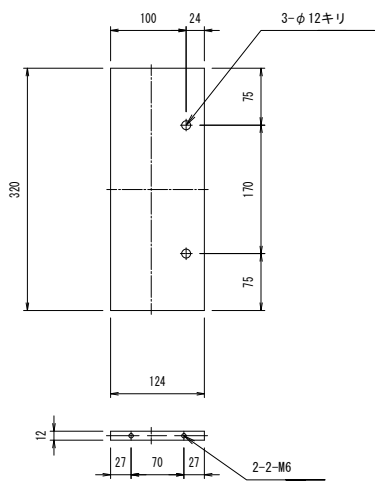
① ゴム支承
(CR+SS400)



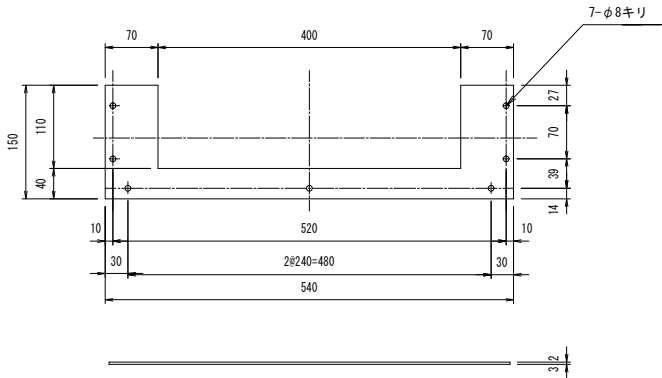
② 取付プレート1
(SS400)



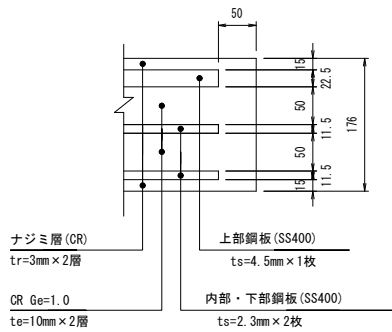
③ 取付プレート2
(SS400)



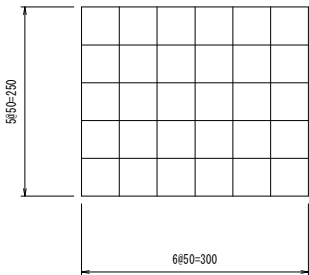
④ 型枠プレート
(SS400)



積層詳細図 S=1/1

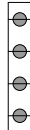


⑦ 補強格子鉄筋
(SD345)



配置図

A1



(F)

P1



(M)

A2



材 料 表（1支承当り）

部番	名 称	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
1	ゴム支承	CR+SS400	1	6.0	CR Ge=1.0
②	取付プレート1	SS400	1	20.1	
③	取付プレート2	SS400	2	7.5	
④	型枠プレート	SS400	2	1.9	平座金付
⑤	六角ボルト	----	14	0.1	
⑥	六角ボルト・ナット	----	4	0.2	平座金付
			全質量		35.8 Kg
部番	名 称	材 質	単位	数 量	備 考
7	補強格子鉄筋	SD345	kg	2.0	D10
8	充填用モルタル	無収縮モルタル	m3	0.004	

※○印は、S G めっき仕様とする。
※質量は、参考重量とする。

⑤ 六角ボルト M6×10 強度区分 4.6又は4.8

平座金 10H

⑥ 六角ボルト M10×40 強度区分 4.6又は4.8

平座金 10H

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 支承詳細図（その1）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	17 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 支承詳細図 (その2)

S=1:5

組立図

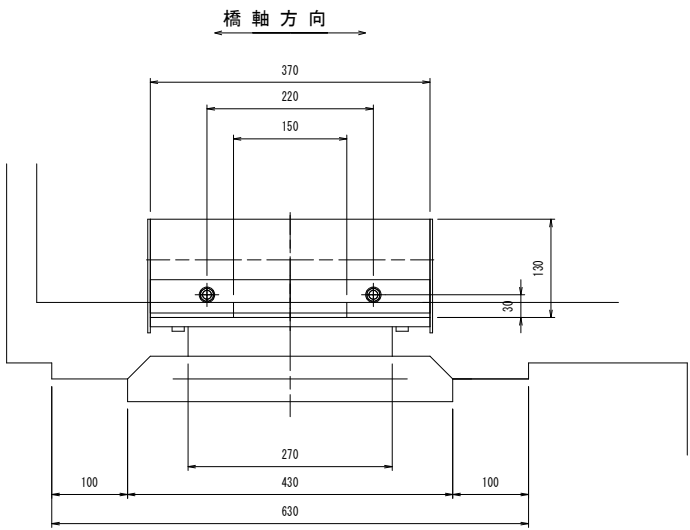
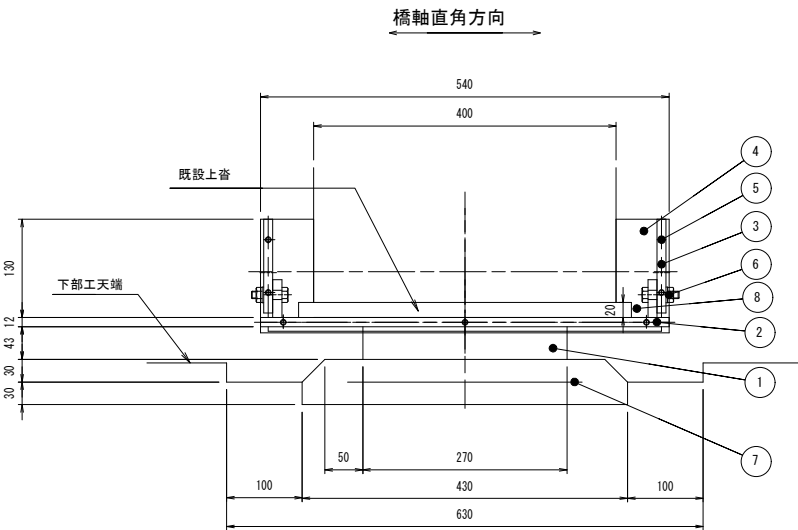
P1 (M)

材 料 表 (1 支承当り)

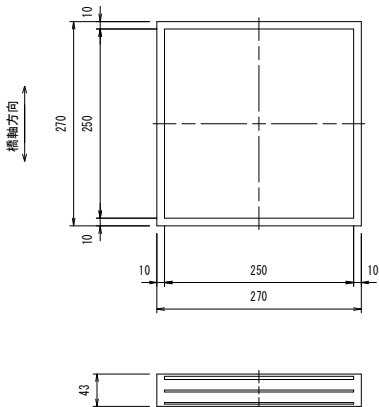
部番	名 称	材 質	個数	質量 (kg)	備 考
1	ゴム支承	CR+SS400	1	8.3	CR Ge=1.0
2	取付プレート1	SS400	1	23.1	
3	取付プレート2	SS400	2	8.6	
4	型枠プレート	SS400	2	1.9	平座金付
5	六角ボルト	-----	14	0.1	
6	六角ボルト・ナット	-----	4	0.2	平座金付
全質量				42.2 Kg	
部番	名 称	材 質	単位	数 量	備 考
7	補強格子鉄筋	SD345	kg	2.4	D10
8	充填用モルタル	無収縮モルタル	m3	0.004	

※○印は、S G めっき仕様とする。
※質量は、参考重量とする。

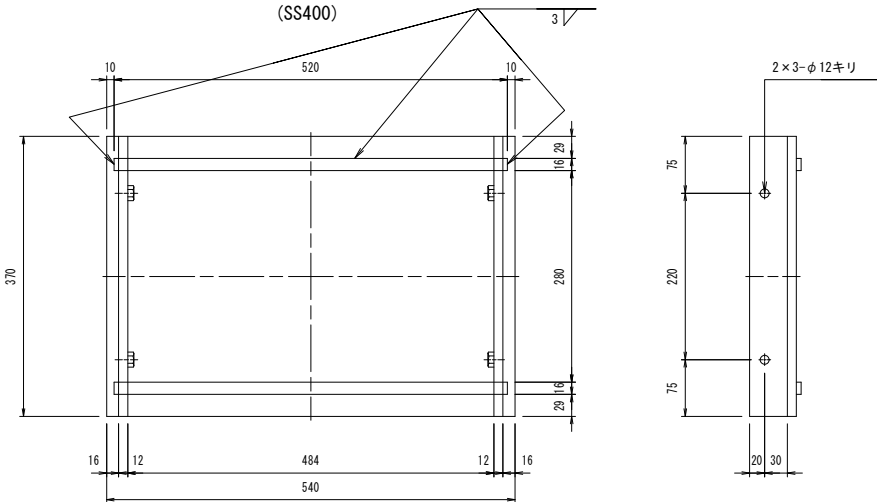
- ⑤ 六角ボルト M6×10 強度区分 4.6又は4.8
平座金 10H
- ⑥ 六角ボルト M10×40 強度区分 4.6又は4.8
平座金 10H



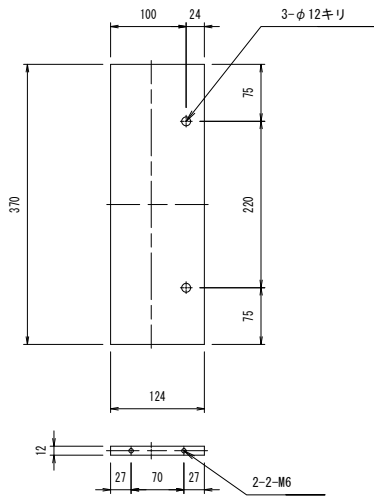
① ゴム支承
(CR+SS400)



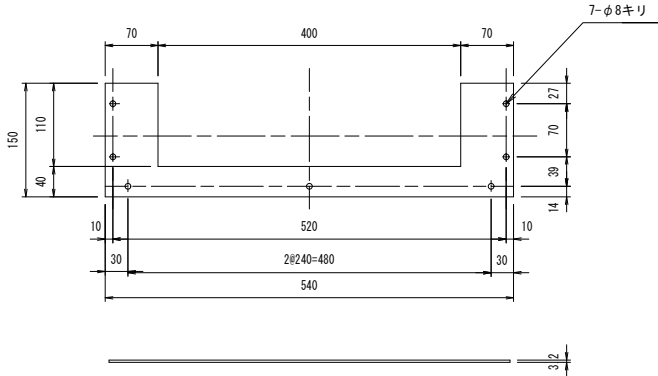
② 取付プレート1
(SS400)



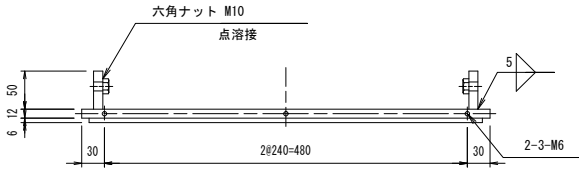
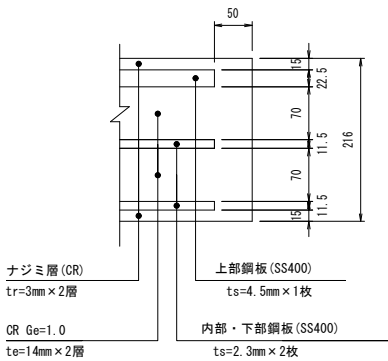
③ 取付プレート2
(SS400)



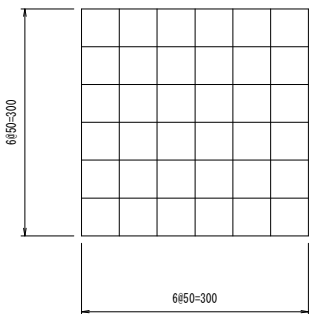
④ 型枠プレート
(SS400)



積層詳細図 S=1/1



⑦ 補強格子鉄筋
(SD345)



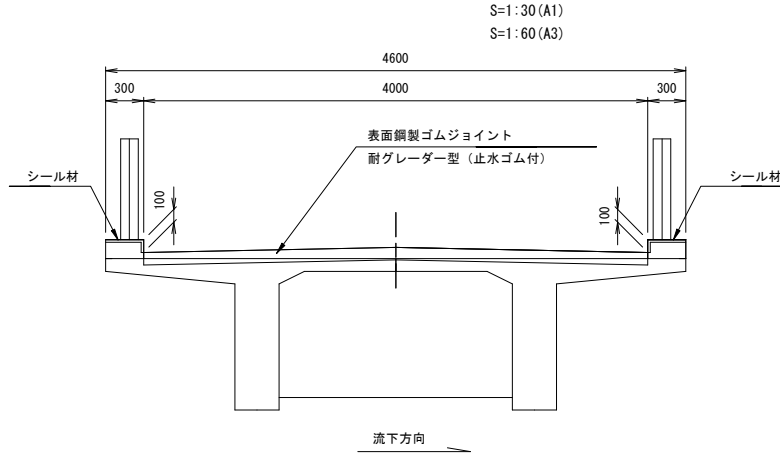
配 置 図



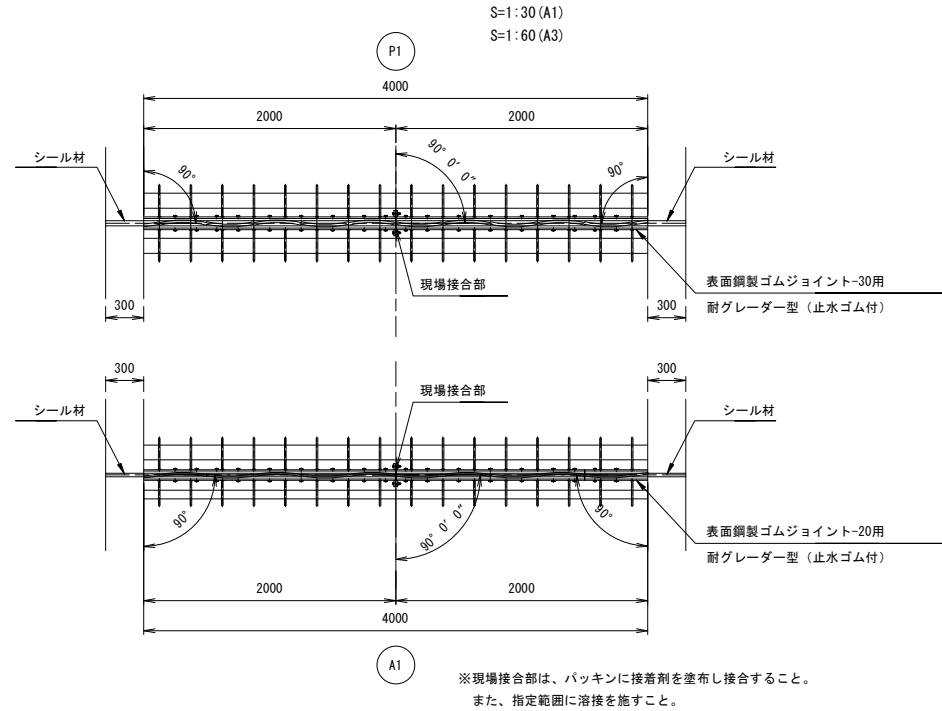
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 支承詳細図 (その2)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	18 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 伸縮装置詳細図（参考図）

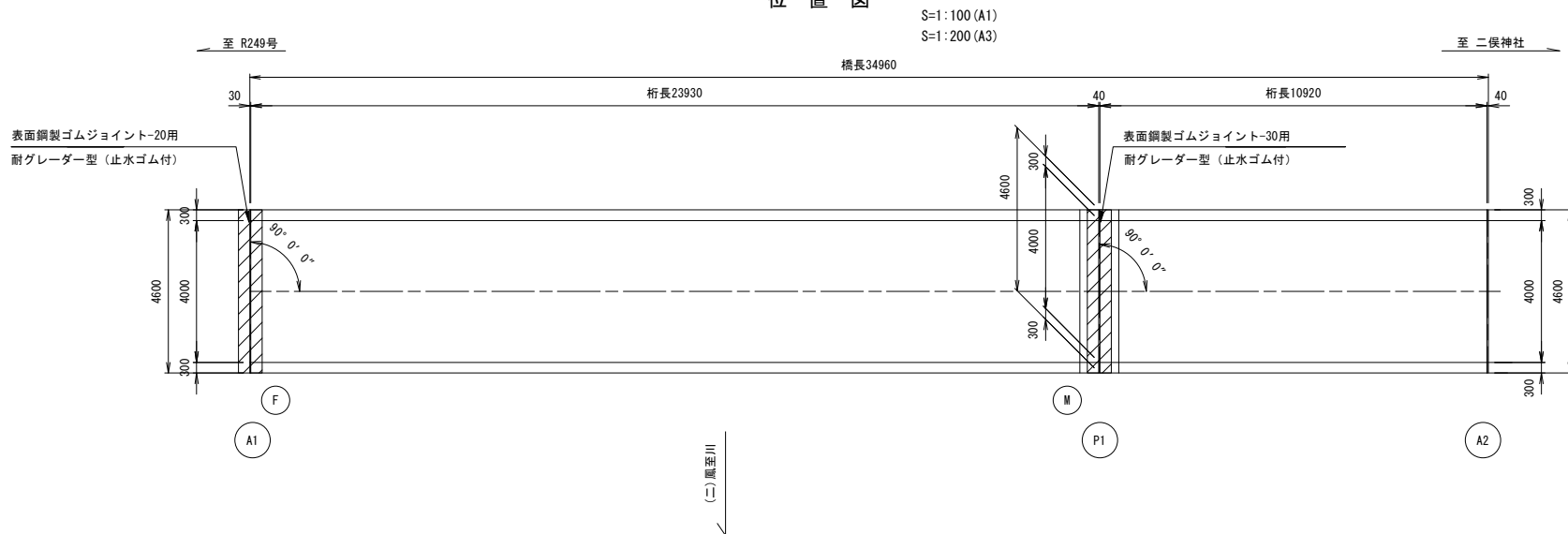
断面図



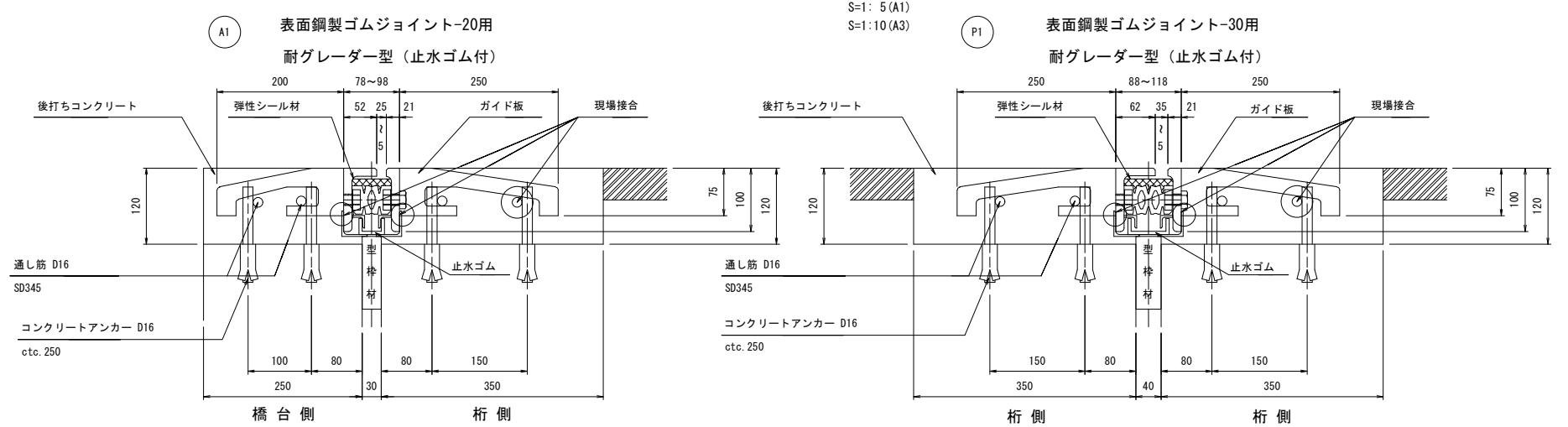
平面図



位置図

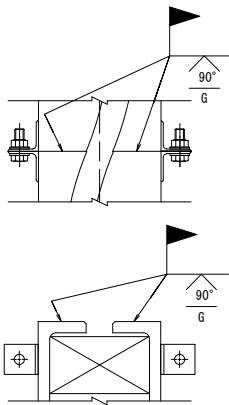


伸縮継手断面図

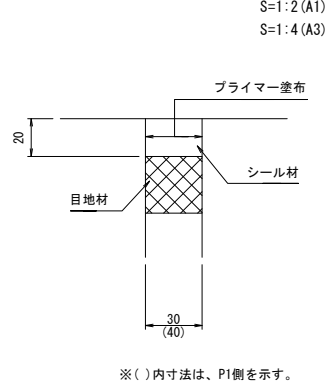


注）ガイド板は車両進行方向に設置する

現場接合部詳細



シーリング充填図



※（ ）内寸法は、P1側を示す。

伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	P1数量	合計数量	備 考
表面鋼製ゴムジョイント-20用	S3450 表面ゴム 弾性シーリング	4.000 m		4.000 m	耐グレーダー型（止水ゴム付）
表面鋼製ゴムジョイント-30用	S3450 表面ゴム 弾性シーリング		4.000 m	4.000 m	耐グレーダー型（止水ゴム付）
シーリング材	シリコン系	0.48 リットル	0.64 リットル	1.12 リットル	
後打コンクリート		0.288 m3	0.336 m3	0.624 m3	超速硬コンクリート
コンクリートアンカー		64 本	64 本	128 本	
通し筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x4000
排水パイプ	ステンレス	1 本	1 本	4 本	20A x 4000
接着剤		1 式		1 式	20用
※			1 式	1 式	30用

注）伸縮継手長さは、現地測量後決定する事。
注）既設伸縮継手の後打ちコンクリートは撤去する事。
注）カッター幅及びはつり深さは、現地確認の上、決定の事。
注）排水パイプは、現地測量のうえ決定する事。現地状況により設置困難な場合は、施主と相談の上設置の有無を決定する事。

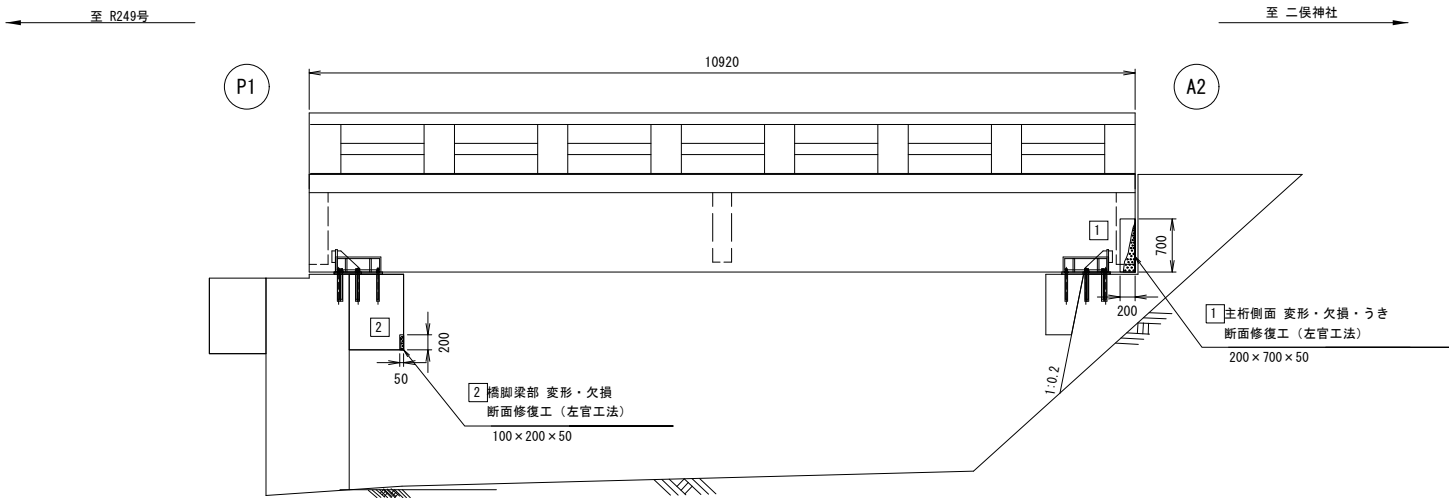
令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 伸縮装置詳細図（参考図）
縮 尺	図 示
図 面 番 号	19 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 断面修復工図

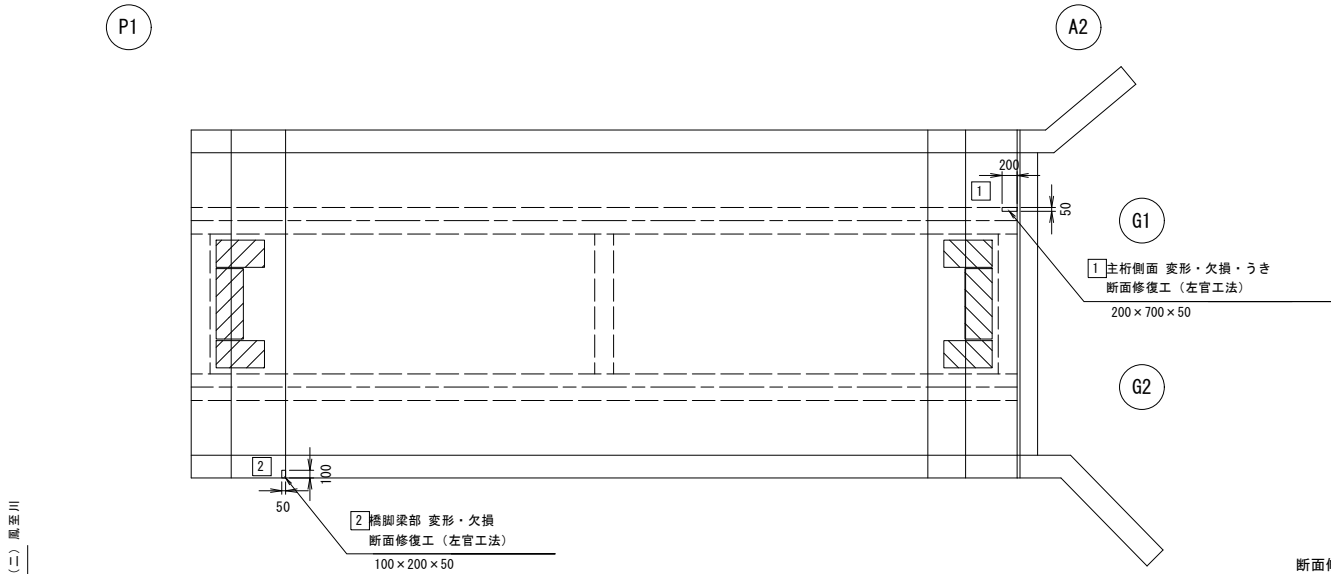
S=1: 50 (A1)
S=1:100 (A3)

凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		腐食	
うき剥離		豆板・空洞	
鉄筋露出		変形欠損	
漏水 滲水		遊離石灰	

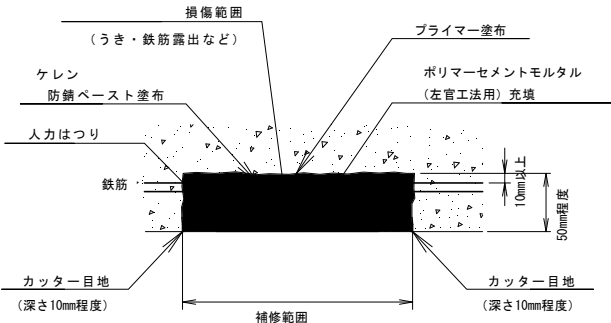
側面図



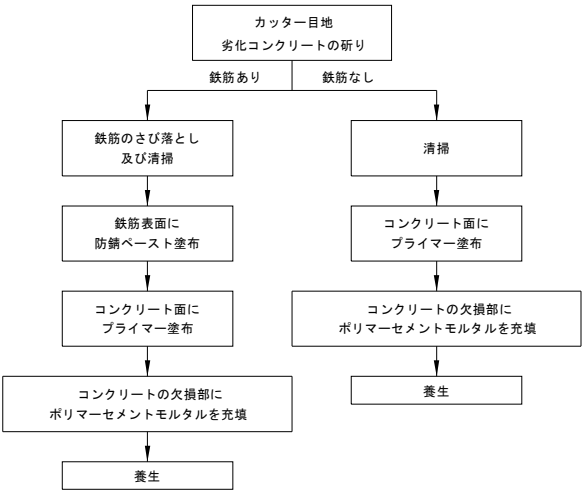
平面図



断面修復工詳細図



断面修復工 施工フロー



断面修復材性能表

項 目		材料の種類	ポリマーセメントモルタル
断面の修復に要する性能	硬化時間		断面修復材の固化時間は1時間以上であること
	断面修復材の外観（塗装無し）	温冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、割れ・剥がれ・膨れのないこと
	硬化収縮性	—	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化にともなう発熱により反りかえりが無いこと
	熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 ⁻⁶ /℃以下であること
	コンクリートとの付着性	湿潤時	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上であること
		耐アルカリ性試験後	
		温冷繰り返し試験後	
力学的性能	塗装との付着性	温冷繰り返し試験後	塗装と断面修復材との付着強度は1.0N/mm ² 以上であること
	圧縮強度	—	母材コンクリートの設計基準強度16N/mm ² 以上であること

※注記

- 断面修復工はうき、剥離・鉄筋露出、変形・欠損箇所を対象に行う。
- 断面修復材には「断面修復材規格表」に示す規格を満足する材料を使用すること。
- 補修範囲は目視及び打音調査の結果によるものであり、内部劣化範囲はさらに広がる場合があるため、現地劣化損傷状況を確認し、施工数量は監督員との協議の上決定すること。
- 冬期（環境温度5℃以下）の施工となる場合は初期凍害を防ぐため、適切な方法で保温養生を行うこと。
- はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないよう注意すること。
- 腐食した鉄筋、鋼材は電動ブラシ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーにて丁寧にさび落としを行い、速やかに防錆材塗布を行うこと。
- 断面修復材は製造会社の施工要領書に従い、計量・練り混ぜを行うこと。また、塗付け面に空隙が生じないよう丁寧にコテで塗り重ね、表面は平坦に仕上げること。
- 研り時及びモルタル充填時はミミ・トロ舟などを用いて発生殻・落下モルタルをすべて回収し、再生資源化施設に搬出処分すること。

断面修復工 集計表

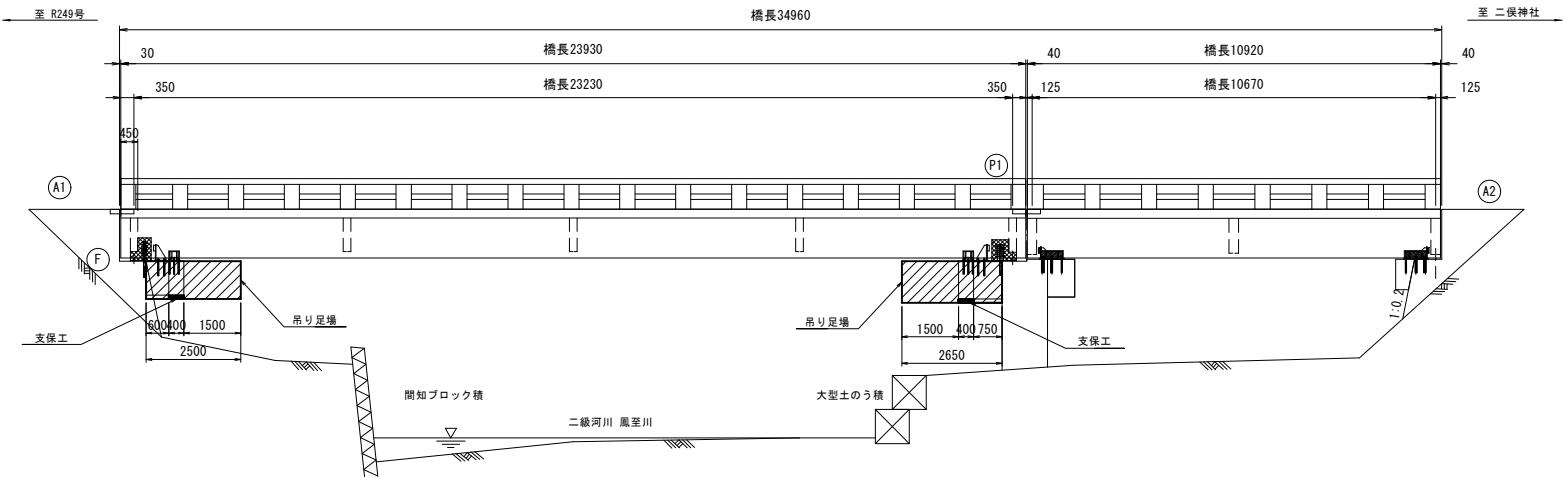
番号	損傷種類	損傷部位	W (m)	L (m)	D (m)	V (m ³)
1	変形・欠損	RCT桁側面角部	0.20	0.70	0.05	0.007
2	変形・欠損	P1橋脚梁角部	0.10	0.20	0.05	0.001
合 計						0.008

令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 断面修復工図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	20 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 仮設足場工計画図（参考図）

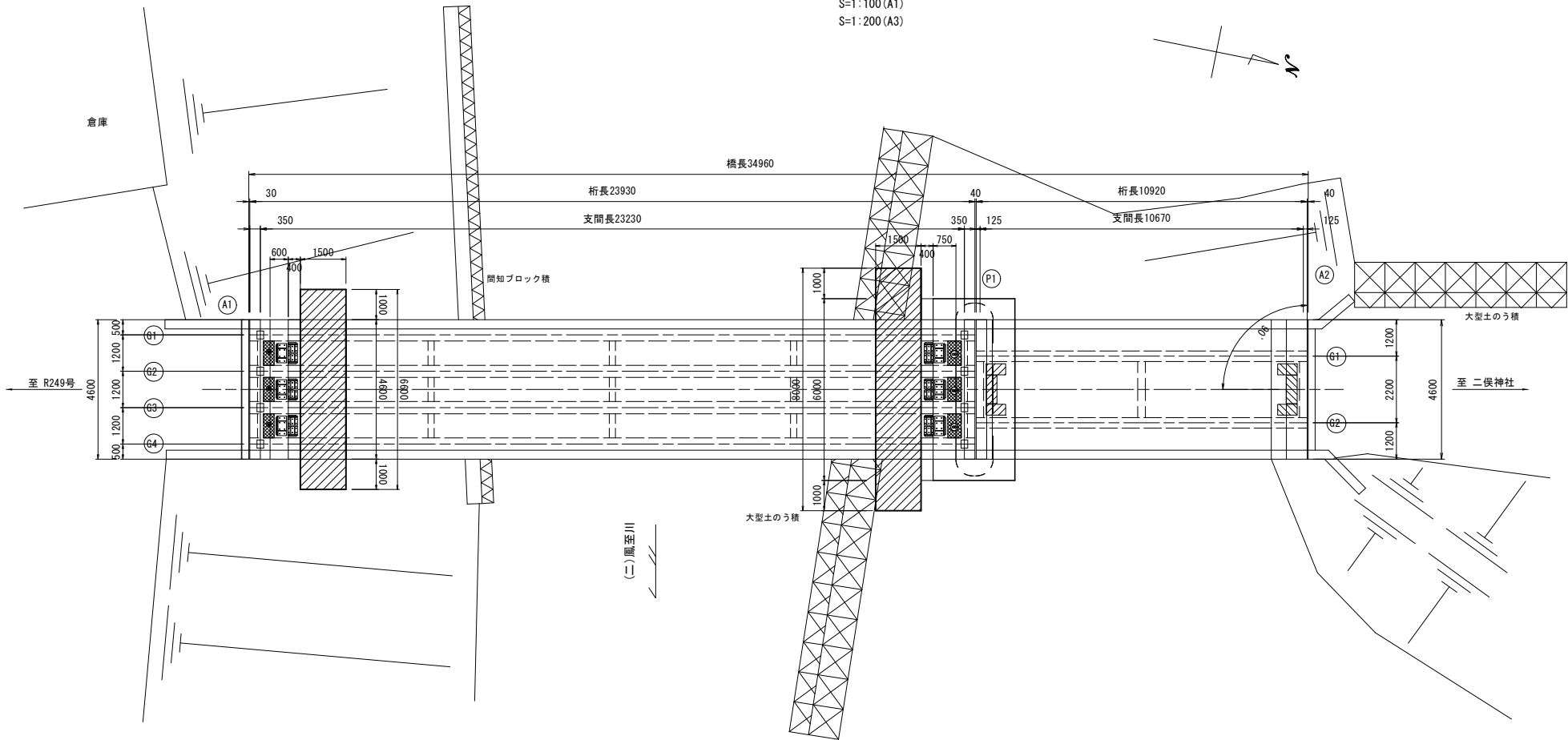
側面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



平面図

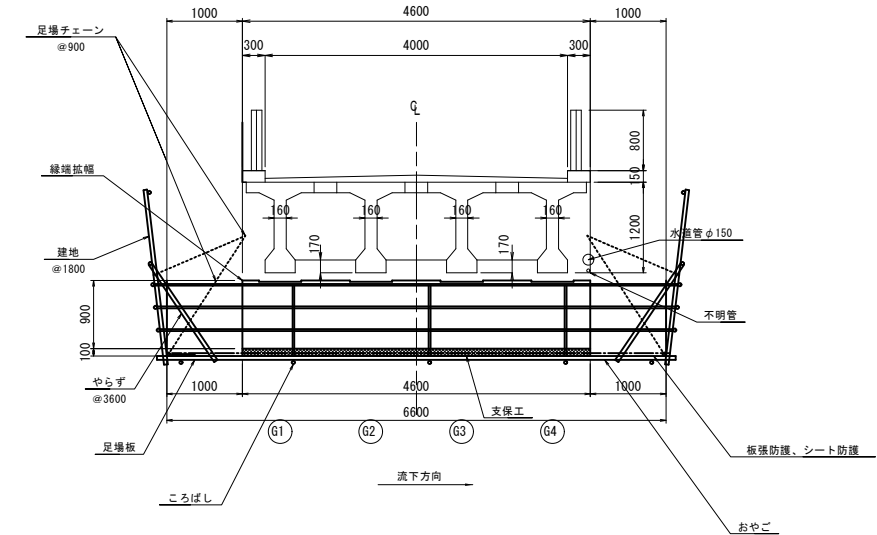
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



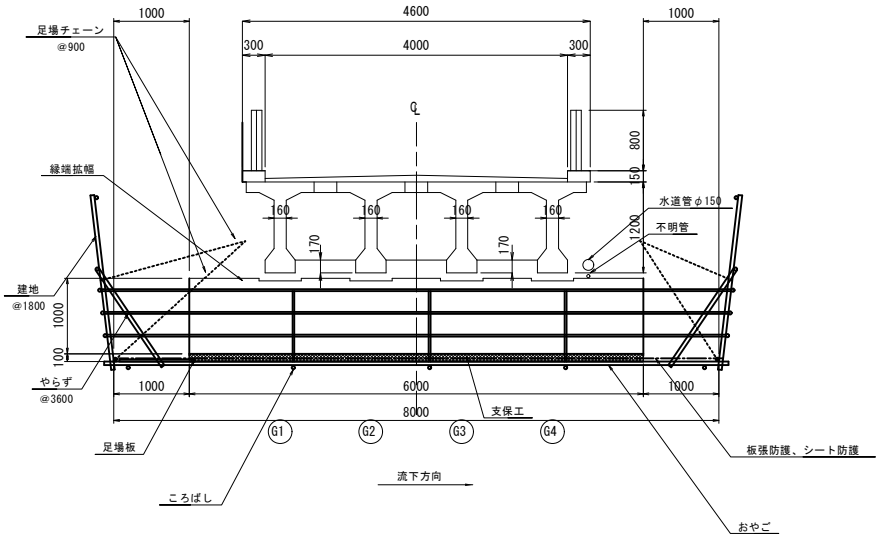
断面図

S=1: 50 (A1)
S=1:100 (A3)

A1橋台側



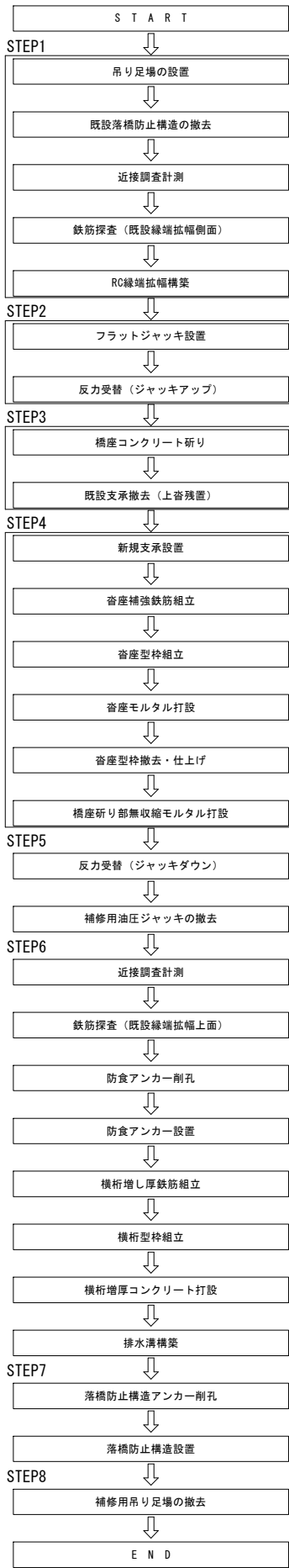
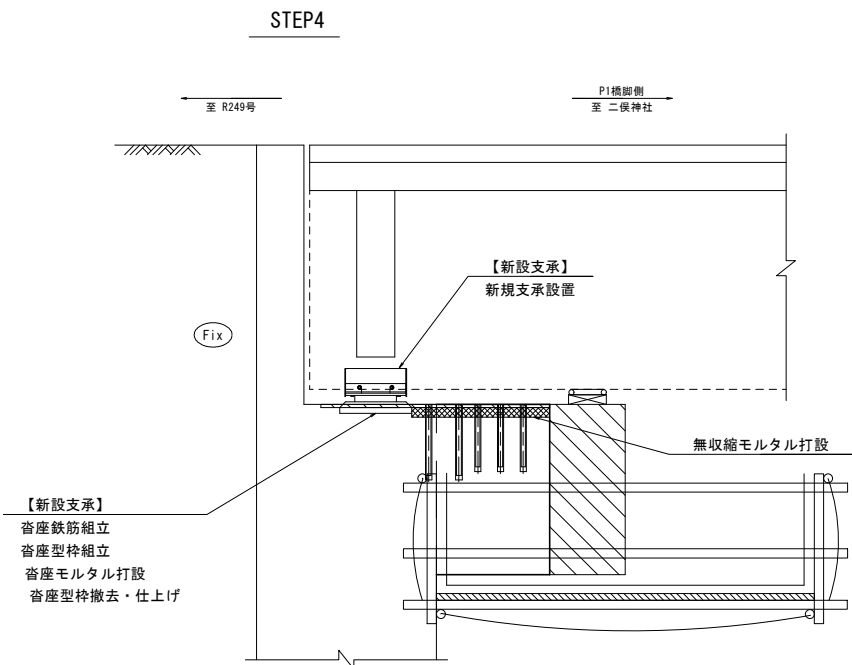
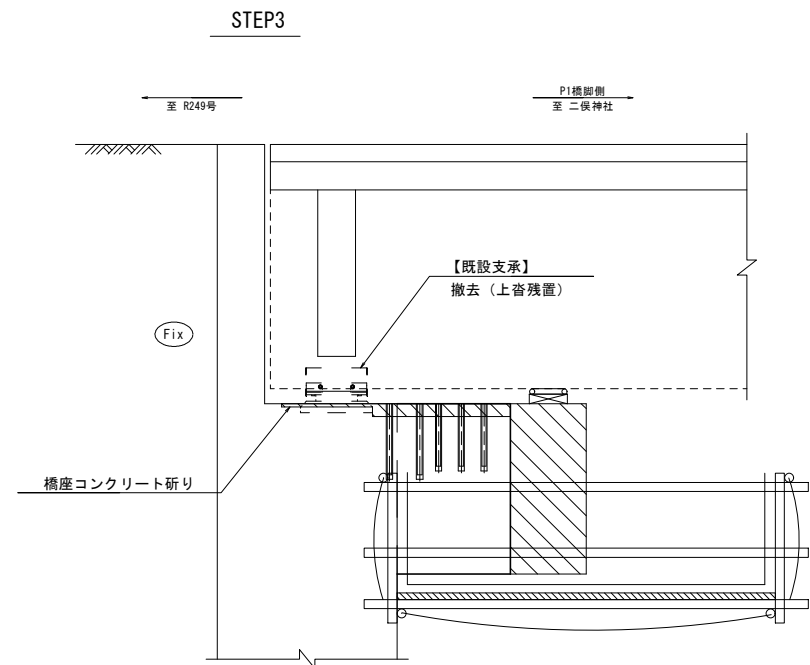
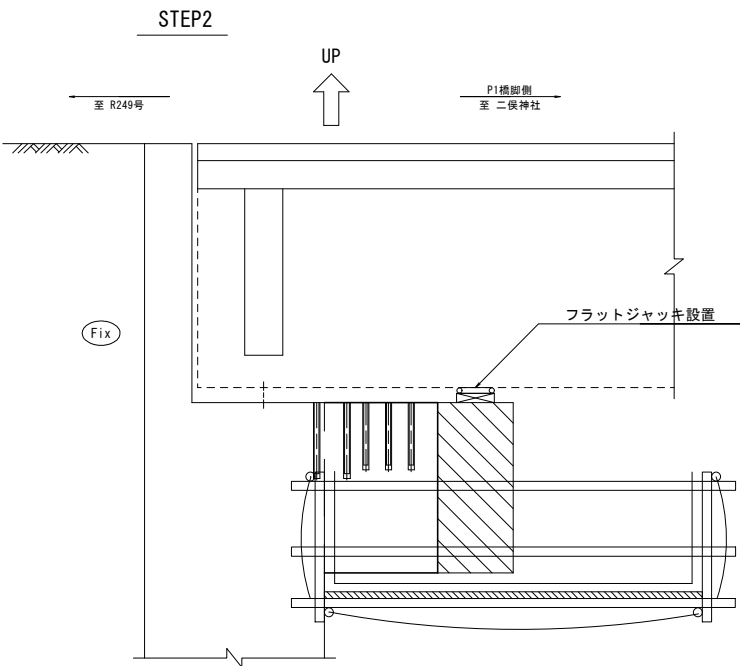
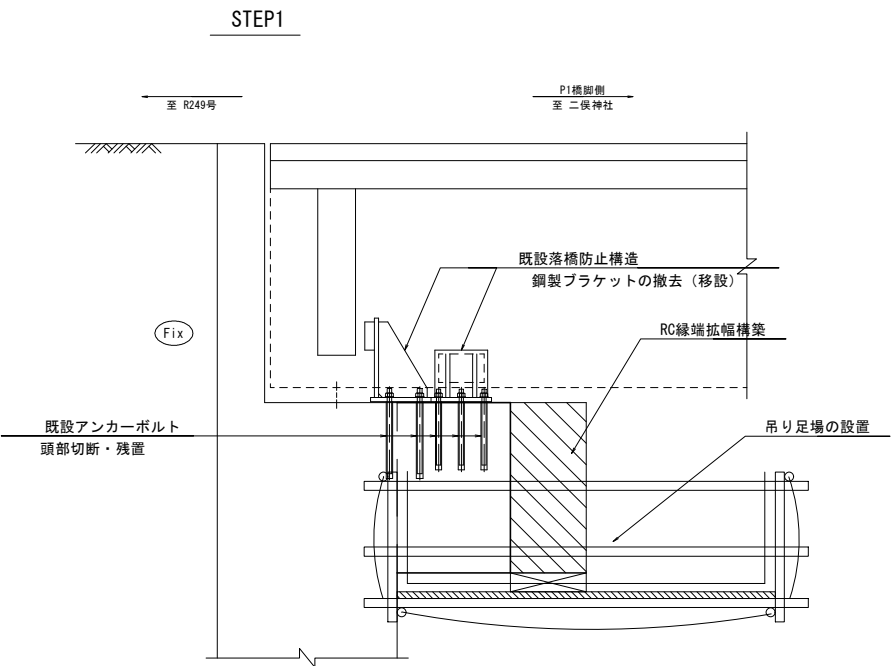
P1橋脚側



令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 仮設足場工計画図（参考図）
縮 尺	図 示
図面番号	21 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 施工程序図(その1)(参考図)

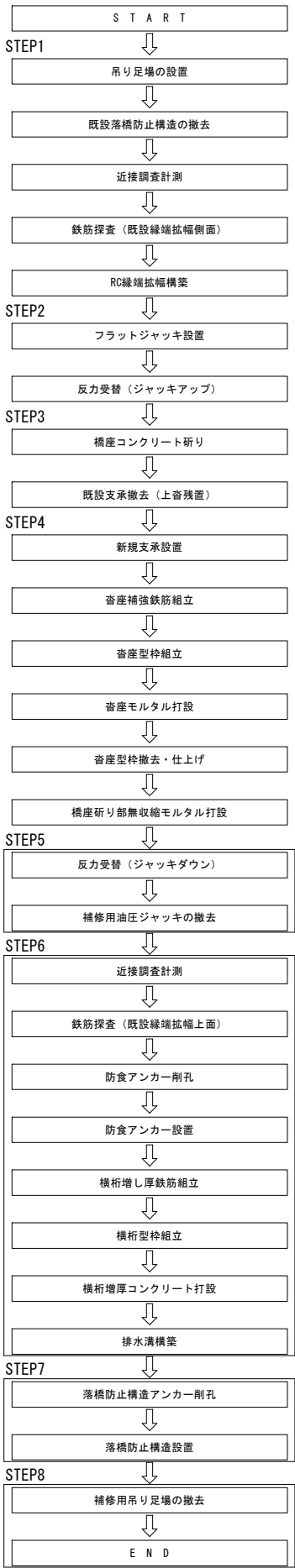
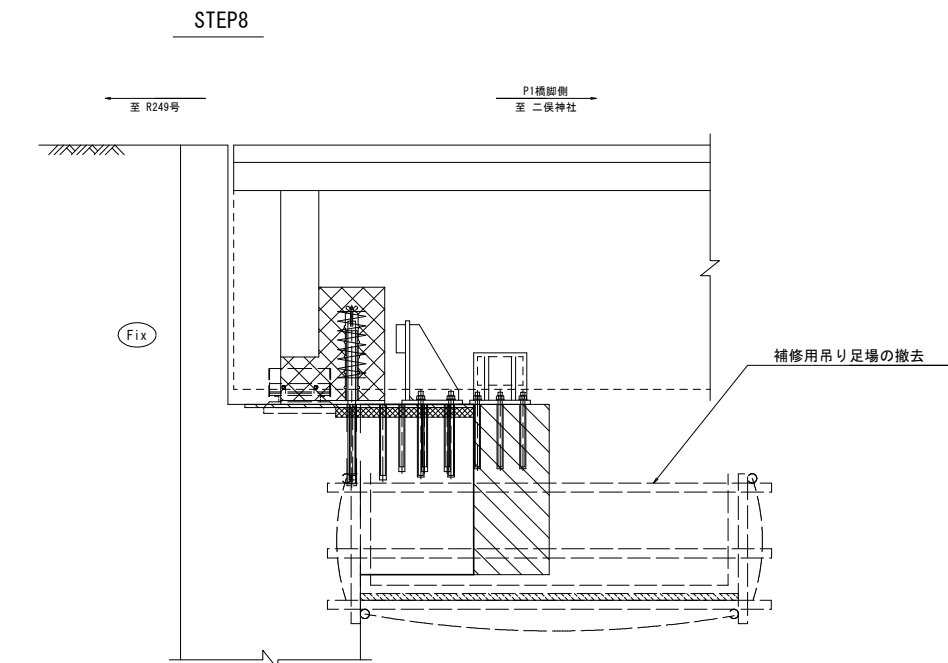
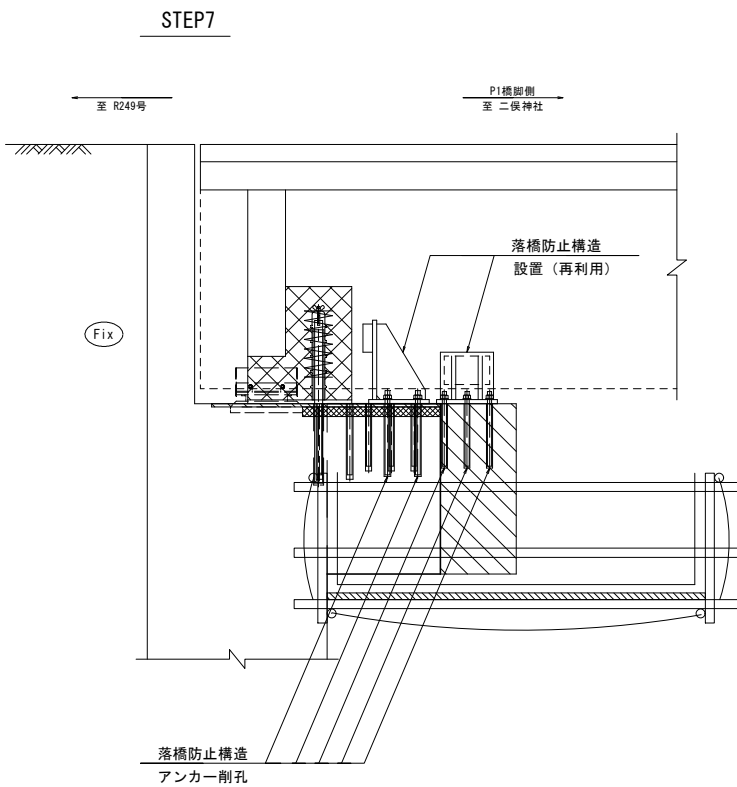
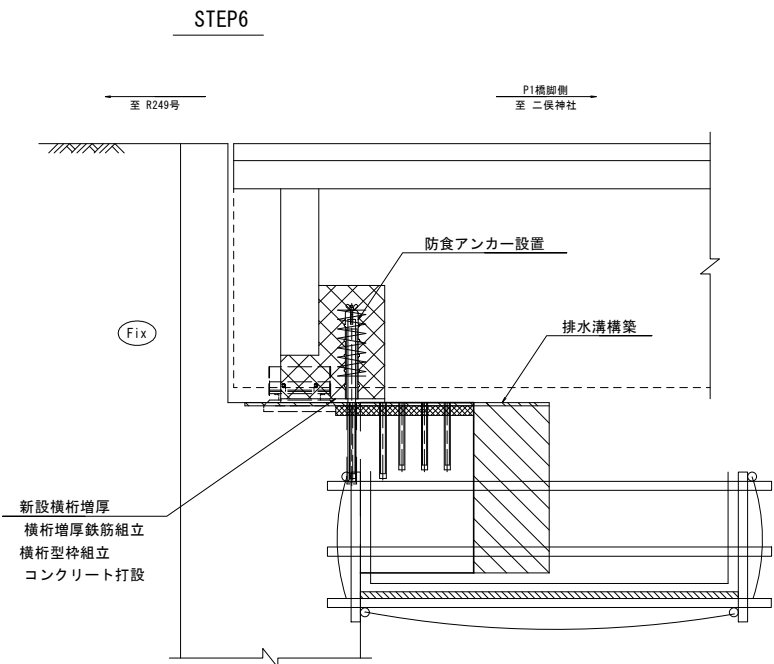
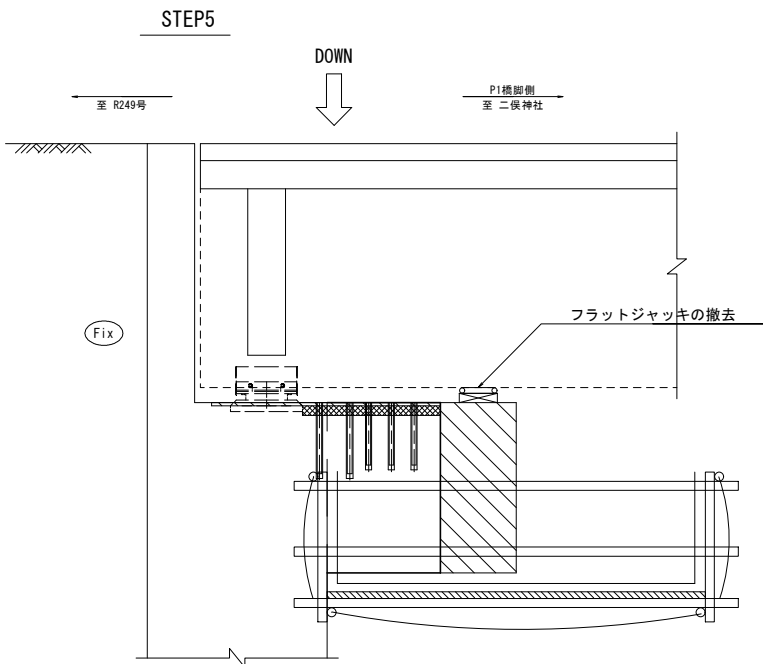
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 施工程序図(その1) (参考図)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	22 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

鍛冶屋橋 施工程序図(その2)(参考図)

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



令和8年度	
工 事 名	令和8年度6災 第10422号 市道二俣1号線 鍛冶屋橋 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 二俣1号線
箇 所	輪島市二俣町 地先
図 名	鍛冶屋橋 施工程序図(その2) (参考図)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	23 / 23 枚 の 内
輪 島 市	